

年報

第49号 令和2年度

No. 49

鳥取県立博物館 年報

Annual Report of the Tottori Prefectural Museum



鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

目 次

■令和2年度の鳥取県立博物館

- 1 総 論…………… 1
- 2 各課の概況…………… 4

■管理運営の概況

- 1 組 織…………… 6
- 2 博物館協議会…………… 7
- 3 予算・決算…………… 9
- 4 利用状況…………… 10

■事業の概要

- 1 調査研究…………… 12
 - (1) 調査研究…………… 12
 - (2) 研究報告等の刊行…………… 12
- 2 資料収集・保管…………… 13
 - (1) 博物館資料保有状況…………… 13
 - (2) 購入(製作)資料…………… 13
 - (3) 寄贈資料…………… 13
 - (4) 採集・拾得等資料…………… 14
 - (5) 保管換資料…………… 14
- 3 展 示…………… 14
 - (1) 常設展示…………… 14
 - (2) 企画展…………… 23
- 4 教育普及活動…………… 65
- 5 博物館交流事業…………… 74
- 6 ボランティア活動…………… 75
- 7 県民との連携・地域への貢献…………… 76
- 8 その他の事業…………… 79
- 9 学芸員の業績…………… 81

◎附録

- 1 沿 革…………… 94
- 2 施設の概要…………… 97
- 3 昭和47年度～令和2年度利用統計…………… 100
- 4 昭和47年度～平成18年度催物展(企画展)開催状況…………… 111
- 5 条例・規則…………… 114

令和2年度の鳥取県立博物館

1 総 論

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染防止対策を行いながら、博物館資料の収集・保存、展示、館内外での普及活動などに取り組んだ。新型コロナの感染拡大に伴い、政府が発令する緊急事態宣言、鳥取県が発令する新型コロナ警報等の状況に応じて、対応を柔軟に変化させながら館運営を行った。

鳥取県新型コロナウイルス感染症対策本部会議での議論により、職員には県外出張の制限、出勤者を減らすための在宅勤務などが求められ、会議や打ち合わせは原則オンラインとなるなど、感染拡大防止のため様々な対策を実施した。館内においては、正面入口に来館者の検温を行うサーマルカメラを設置し、入館・退館時の経路が重複しないよう通行区分帯を設けた。館内各所に手指消毒剤を設置し、マスクの無い方のためミュージアムショップでマスクの販売を行った。

企画展については、平成20年度以降毎年5本ずつ開催しており、コロナ禍においても自然分野1本、歴史・民俗分野1本、美術分野3本を実施した。

歴史・民俗分野の企画展「輝いていた60's—1960年代のスポーツと生活文化—」については、2020東京オリンピック・パラリンピック（TOKYO2020）の公認プログラムとして企画したものであったが、オリンピック・パラリンピックが1年延期になっても、当該企画展は予定どおり開催し、昭和39（1964）年開催の前回大会を振り返り、日本と鳥取県の1960年代の出来事や当時の生活資料を展示紹介した。

企画展「生誕110年岡本太郎—パリから東京へ—」については、岡本太郎と岡本太郎に最も影響を与えたクルト・セリグマンの交流を紹介する展示を予定していたが、新型コロナのため、アメリカで所蔵されているセリグマンの作品借用が困難になり、展示構成を大きく変更して開催したものであった。

県民生活においては、新型コロナ拡大防止のための外出自粛もあり、企画展「輝いていた60's—1960年代のスポーツと生活文化—」及び「ミュージアムとの創造的対話 vol. 3—何が価値を創造するのか？—」の来場者は目標値を下回ったが、「こんにちは変形菌！—とってもふしぎな生きものです。—」、「ザ・フィンランドデザイン展—自然が宿るライフスタイル—」及び「生誕110年岡本太郎—パリから東京へ—」では、目標人数を上回る来場者となった。

広報を強化し企画展の来館者を増やすため、平成28年度からマスコミに参画いただいて実行委員会を組織し企画展を開催している。令和2年度も実行委員会参画の意向をマスコミに照会した結果、3本の企画展を実行委員会方式で開催することができた。広報のためSNS（Facebook・Instagram）を使った情報発信にも取り組んでおり、博物館事業のPRを行った。

新型コロナのため外出自粛されている県民に向けて、インターネットで楽しんでいただけるよう「おうちで自然観察」を25回にわたって発信した。また、当館のデジタルアーカイブシステムの見直しとして、令和3年3月に図書館、公文書館、埋蔵文化財センターと共同で運営管理していく「とっとりデジタルコレクション」を公開した。

これまで、中国河北博物院、韓国江原道国立春川博物館、ロシアアルセニエフ極東歴史博物館と定期的に交流を行ってきたが、令和2年度は新型コロナのため海外渡航の規制もあり、交流事業は全く実施できなかった。

普及活動では、移動博物館・移動美術館などのアウトリーチ事業のほか、館内外で講演会・観察会・各種講座・ワークショップなどを計画していたが、新型コロナの影響で中止となったものも多く、年間の参加者数は例年の約半分の5,700人程度となった。

(1) 組 織

令和7年春に開館を予定している美術館の整備のため、平成29年4月1日に設置されていた「美術館整備準備室」が博物館から独立し、令和2年4月1日、美術館建設予定地に隣接する倉吉未来中心内に「美術館整備局美術館整備課」が新設された。

(2) 資料の収集・調査研究

自然部門では鳥取県産の動物、植物、化石などの標本の寄贈や、学芸員による採集などにより、様々な貴重な資料を収集した。また、仮保管されていた動物遺体などを標本化した。これらの標本の整理や鳥取県の自然史に関する調査研究を実施し、その成果を『鳥取県立博物館研究報告』に発表した。

人文部門では、因幡国八東郡吉川村の地方文書、近現代に鳥取県で発行された絵葉書・パンフレット・ポスターなどを購入した。また、鳥取藩士の子孫である眞田家からは刀剣・書画・古文書など約300点の資料を、企画展「輝いていた60's」で展示紹介したオリンピック東京大会出場資料を含む陸上競技資料を約100点、岸本幸子氏から寄贈を受けた。調査事業では、鳥取県内文化財状況調査として、三朝町中津の総合調査を行った。

美術部門では、企画展に関する調査を行うとともに、鳥取県の美術に関する調査を継続して行い、中島菜刀《芭蕉庵詩仙堂》、辻晉堂《詩人と家族（八木重吉）他》、池本喜巳《近世店屋考シリーズ》などを新たに収集した。

(3) 展 示

企画展5本（自然分野1本、人文分野1本、美術分野3本）を開催し、博物館全体の事業に約10万人の来館者があった。

〈企画展の概要〉

自然分野：アメーバのような姿では回り、ときに小さなキノコのような姿に形を変える不思議な生きもの「変形菌」について、その多様な姿や生態だけでなく、ほかの生きものとのかかわりや理工系の最新技術との接点も取り上げて、変形菌の魅力について紹介した。また国内の変形菌研究の黎明期における、昭和天皇と南方熊楠の研究を紹介した交流などについても紹介した。展示では小さな変形菌を理解しやすいように大型写真や動画を多用し、ガイド役に変形菌の妖精キャラクター（イラスト）を登場させるなどして、ビジュアル的に親しみが湧くように展開した。コロナ禍の中で1万人を超える来館があり、今まで変形菌になじみのなかった方々にも楽しんでいただいた。

人文分野：企画展「輝いていた60's—1960年代のスポーツと生活文化—」では、東京2020・東京でのオリンピック開催を機に、アジア初となった前大会（昭和39・1964年）を振り返り、日本と鳥取県の1960年代の出来事、当時の生活資料を展示紹介した。当館所蔵資料に合わせて、個人蔵の東京オリンピック関係資料、日本有数の昭和家電コレクターである富永潤さん（三重県伊賀市・昭和ハウス館長）のコレクションをあわせて、大型資料の展示やジオラマを製作して、ひと昔前の豊かな時代「昭和」を体感していただいた。新型コロナウイルス感染症による警戒期間であったが、来館者のTwitter投稿によりSNS上で評判となったことや、富永館長のYouTubeでの発信効果もあり、おおむね目標に到達する入館者数があった。

美術分野：美術部門では3つの企画展を開催した。「ザ・フィンランドデザイン展」は令和元年度にNHKプロモーションとともに行った海外出張の際に調査したフィンランドの

タンペレ歴史博物館、コレクション・カッコネン、ヘルシンキ・デザイン・ミュージアムのコレクションを中心に出品作品や資料を選定し、コロナ禍ではあったがそれらを予定通り空輸、当館会場に搬入し展示紹介した。本展は当館で立ち上がった後、北九州市、兵庫県丹波篠山市、東京都への巡回を予定した。「ミュージアムとの創造的対話 03」として開催された「何が価値を創造するのか」においては、ある秘蔵の個人コレクションを展示し、その約 30 年にわたる収集活動の成果を公開することで、1980 年代から 2010 年代にかけての日本の現代美術の歩みの一側面を紹介すると同時に、「コレクション」という集合体をめぐる価値創造のプロセスと現場を検証し、その可能性と課題について考える契機を提供した。「生誕 110 年 岡本太郎 ーパリから東京へ」は、当初「クルト・セリグマンと岡本太郎」のタイトルで全国巡回展として企画されていたが、コロナ禍で海外からの借用が困難になったことを受けて展覧会の枠組みを変え、岡本太郎の絵画作品を軸とする単館開催の企画展として実施した。

(4) 教育普及

普及関係では、県民の生涯学習を支援するため、移動博物館・移動美術館などのアウトリーチ事業のほか、館内外で講演会・観察会・各種講座・ワークショップなどを開催した。ただし、新型コロナウイルス感染状況により、やむなく中止とした講座もあった。

移動博物館・移動美術館・学芸員派遣は、79 回実施し延べ 3,678 人が参加した。また、各種講座や講演会は、年間を通して 68 回開催し、延べ 2,564 人の参加があった。

美術の普及講座では、令和 2 年度も「毎週土曜はアートの日！」と題して、毎週土曜日に美術に関する事業を実施し、アートにふれあう機会を充実させた。また、移動博物館は日吉津村のイオンモール日吉津で、移動美術館は若桜町の若桜郷土文化の里で開催した。

広報に関しては、Facebook を活用して、企画展の告知や普及講座の開催前後に随時情報発信し、ファン層の拡大に努めた。また、各種イベント系 Web ページにも登録して、幅広く情報発信した。Web 以外のメディアについても、対象年代や広報手段について検討し、より効果的な広報を実施するとともに、県民の方へより広く博物館について知っていただくために、ニュースレター「鳥取県立博物館ニュース」を年 2 回配布した。

博物館ホームページで公開していた「博物館収蔵資料データベース」を、鳥取県立図書館、鳥取県立公文書館、鳥取県埋蔵文化財センターとの合同のデジタルアーカイブシステム「とっとりデジタルコレクション」として令和 3 年 3 月に新たに公開した。

(5) 来館者サービス

平成 21 年度から実施している開館時間の延長について、令和 2 年度は二つの企画展「輝いていた 60's—1960 年代のスポーツと生活文化—」（会期：6 月 6 日（土）～7 月 5 日（日））及び「こんにちは変形菌！—とってもふしぎな生きものです。—」（会期：7 月 18 日（土）～8 月 30 日（日））の会期中の土曜日を午後 7 時まで延長し、県民の来館の機会拡大を図った。

カフェコーナーについては、5 年毎に運営事業者を見直しており、令和 3 年度以降の運営事業者を公募した結果、(株) グラン・クリュ食工房による継続運営が決まった。

ミュージアムショップについては、販売する当館オリジナルグッズの開発・作製者を公募したところ、4 者から応募があり 9 種類の新商品が誕生した

2 各課の概況

(1) 総務課

- ・博物館の運営に関して館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である鳥取県立博物館協議会を2回開催した。

(2) 学芸課

●自然担当

- ・企画展「こんにちは変形菌！ とってもふしぎな生きものです。」を7月18日から8月30日まで開催し、普段目にする事の少ないふしぎな生物を身近に感じてもらった。
- ・収蔵資料等の整理事業として、「昆虫標本整理事業」を実施し、その成果を展示や目録で発表した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大が懸念される状況下での試験的な取り組みとして、「おうちで自然観察」と題して家庭内で観察できる自然物を紹介する写真コラムを館のFacebook上で連載し、多方面からの反響をよんだ。
- ・その他、教育普及活動として自然講座や観察会、移動博物館、学芸員派遣等を実施し、調査研究活動として研究成果を『鳥取県立博物館研究報告』等に発表した。

●人文担当

- ・東京2020・東京でのオリンピック開催を機に、アジア初となった前大会（昭和39・1964年）を振り返り、日本と鳥取県の1960年代の出来事、当時の生活資料を展示紹介する企画展「輝いていた60's—1960年代のスポーツと生活文化—」を開催した（会期：令和2年6月6日～7月5日）。
- ・令和元年に博物館が寄託を受けた「安達清風文書」整理・研究事業（3か年計画）の2年目。
- ・藩政資料整備事業（16か年計画）の最終年を迎えた。
- ・収蔵資料保存・修復事業〈刀剣研磨〉を実施した。
- ・「鳥取藩政資料」解説事業〈寺社方日記〉を推進した。
- ・その他、教育普及活動として自然講座や観察会、移動博物館、学芸員派遣等を実施した。

●普及担当

- ・県民の生涯学習や学校教育を支援するために、各種の講座や体験学習会、移動博物館や移動美術館、学芸員派遣等の事業を実施した。
- ・情報発信では、SNSの活用や民間等の運営するWebサイト、情報誌等への情報提供に積極的に取り組んだ。また、普及誌「鳥取県立博物館ニュース」No.30、31、リーフレット「2021.4-2022.3 展覧会・イベントのご案内」を発行した
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度の普及講座35件を中止とした。
- ・鳥取県立図書館、鳥取県立公文書館、鳥取県埋蔵文化財センターと合同のデジタルアーカイブシステム「とっとりデジタルコレクション」を公開した。また、その活用にかかるシンポジウム「地域の情報をデジタルで！～「とっとりデジタルコレクション」の可能性と活用法～」を鳥取県立図書館主催で開催した。

(3) 美術振興課

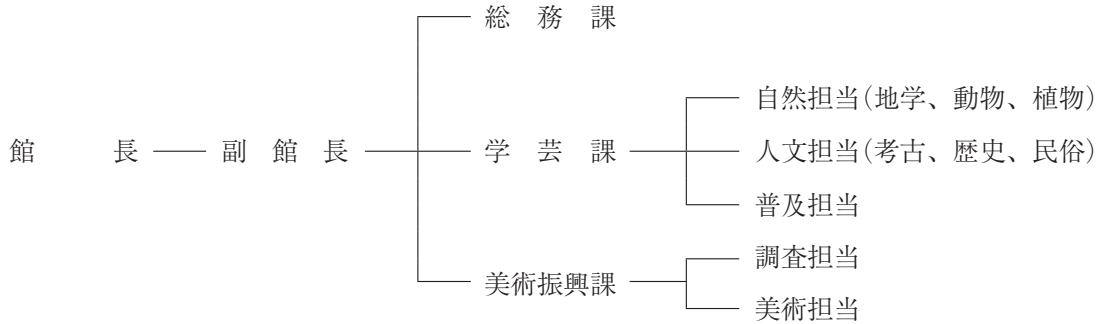
- ・美術部門では3つの企画展を企画・開催した。北欧・フィンランドのデザインを紹介する展覧会と、全国的に評価の高いある個人コレクターの所蔵品を中心に現代美術を紹介する展覧会、そして生誕110年を迎えた日本を代表する美術家・岡本太郎とその関係作家の仕事を紹介する

展覧会を開催し、ファインアートから日常の暮らしの中に生きる工芸まで、幅広い美術・文化を紹介することができた。

- ・ 2階近代美術展示室における夏のテーマ展示では、自然分野の企画展とのコラボ企画として、変形菌やその他の菌類、植物など、極小の存在に触発されて表現する高田光治氏によるインスタレーション展示を行った。第1、第2展示室の自然分野の展示に関連づけ、会場では、乾燥させた変形菌やその他の菌類らがアーティストの手により作品として展示された。作家の気づきやアプローチの在り方により多様な事象が表現の源となることを知らせる場となった。
- ・ 2階近代美術展示室と1階美術展示室では、昨年度から今年度にかけて「美術家大辞典」という連続コレクション展を開催した。大辞典という名のとおり、館蔵する作家を50音順に全て紹介するという長期にわたる企画であり、2024年度に予定されている県立美術館開館に向けて、博物館の美術部門が所蔵するコレクションをあらためて確認すると同時に、展示室内で作家や作品についての情報を来場者から広く募った。
- ・ 1階美術展示室では、鳥取県ミュージアムネットワーク連携事業・共同企画展として「生誕100年記念 杵島隆：不滅のパイオニア精神」と題した展示も行い、当館および米子市美術館が所蔵する杵島隆ほか県内写真家の作品を2期に分けて紹介した。また、同じく連携事業・共同企画展として、米子市美術館を会場に「生誕100年記念 岩宮武二：目前心後」と題し、当館および米子市美術館が所蔵する岩宮武二の写真作品を展示した。
- ・ このほか、年間を通じて毎週土曜日に美術の普及活動を展開する「毎週土曜はアートの日！」を本年度も実施し、ワークショップ、アートセミナー、アートシアター、ギャラリートーク、企画展関連事業等を通して美術に関する教育普及に努めた。また、新しい県立美術館が担う美術ラーニングセンター機能の充実に向けて、バス招待事業を拡充し、県内の11の小学校より延べ662名の児童を博物館に招待し、展覧会を鑑賞していただいた。
- ・ 当館の開館以降長く、近世美術を中心に様々な美術作品を紹介してきた1階美術展示室は、増大する新規収蔵美術資料の保管場所としてやむを得ず2021年3月28日をもって休室とし、以降、当面の間は臨時収蔵庫として活用することとした。

管理運営の概況

1 組 織 (令和3年3月31日現在)



職員名簿 (令和3年3月31日現在)

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
館長	田中規靖	副館長	尾崎信一郎	副館長 (学芸課長兼務)	上山憲二

総務課

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
総務課長	藤原浩	主事	岩谷智恵	会計年度任用職員 (事務)	菊留鈴美
課長補佐	森田佳代	主事	武田はつみ	会計年度任用職員 (事務)	池田貴子
課長補佐	岩成安雄	主事	若松杏奈		

学芸課

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
学芸課長 (本務副館長)	上山憲二	自然担当 主任学芸員	一澤圭	会計年度任用職員 (資料管理専門員)	本庄孝行
自然担当 主幹学芸員	川上靖	自然担当 主任学芸員	田邊佳紀	会計年度任用職員 (昆虫標本専門員)	鶴智之
		山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館専門員 (自然担当併任)	安藤和也	会計年度任用職員 (事務補助)	杉本大典
		山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館学芸員 (自然担当併任)	太田悠造		
		山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館学芸員補 (自然担当併任)	金山恭子		
人文担当 主幹学芸員	福代宏	人文担当 専門員兼学芸員	小山浩和	会計年度任用職員 (史料補修専門員)	濱橋明代
		人文担当 主任学芸員	来見田博基	会計年度任用職員 (史料補修専門員)	齋江仁美
		人文担当 主任学芸員	大嶋陽一	会計年度任用職員 (史料補修専門員)	山根美智代

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
		人文担当 学芸員	山本 隆一朗	会計年度任用職員 (複写機オペレーター)	清水 信生
普及担当 主幹学芸員 (自然担当兼務)	清末 幸久	普及担当 専門員兼学芸員	茶谷 満	会計年度任用職員 (広報・普及専門員)	植村 明美

美術振興課

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
美術振興課 課長	三浦 努	調査担当 専門員	佐藤 真菜	会計年度任用職員 (アーカイヴ 資料整理員)	伊達 文
		調査担当 専門員	外村 文		
		調査担当 学芸員	山田 修平		
		美術担当 主任学芸員	赤井 あずみ		
		美術担当 専門員	山本 亮		
		美術担当 学芸員	友岡 真秀		

2 博物館協議会

鳥取県立博物館協議会は、「鳥取県立博物館協議会に関する条例」に基づき設置され、博物館の運営に関して館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。

委員13名で構成し、全体会のほか、運営・自然・美術及び人文の各専門部会を設けて、適宜開催している。

(1) 協議会開催状況（令和2年度）

全体会（第1回） 令和2年6月18日（書面表決）

議事 ①第1号議案 議長の選出について

②第2号議案 各部会長の選出について

③第3号議案 博物館資料収集基本方針について

報告事項 ①博物館事業の実施状況について（令和元年度第2回協議会以降に係るもの）

②令和2年度博物館・美術館整備局の予算について

③鳥取県立美術館整備の検討状況について

④令和2年度鳥取県教育委員会事務局組織改正の概要について

⑤令和2年度鳥取県「県民立美術館」実現に向けた地域ネットワーク形成支援補助金の審査結果（概要）

全体会（第2回） 令和2年11月13日

報告事項 ①令和元年度博物館事業に係る決算について

②令和2年度博物館事業の実施状況について

③令和3年度博物館事業の事業計画案について

④鳥取県立博物館の博物館資料収集方針について

⑤鳥取県立美術館整備の進捗状況について

全体会（第3回） 全国で新型コロナウイルス感染拡大のため中止

(2)鳥取県立博物館協議会委員名簿（任期 令和2年4月1日～令和4年3月31日）

氏名	団体名及び職名	所属部会	区分	備考	
谷口博繁	元鳥取県立博物館長	運営 議 部 会 長	社会教育		
秋田易子	鳥取市立湖山小学校校長		学校教育		
宮崎百合	鳥取短期大学幼児教育保育学科助教				
山口朝子	鳥取県家庭教育アドバイザー		家庭教育		
鶴崎展巨	鳥取大学農学部教授	自然 部 会 長	学 識 経 験 者		
碓京子	高梁市成羽美術館化石担当学芸員				
矢田貝繁明	大山自然歴史館館長				
岸本覚	鳥取大学地域学部教授	人文 部 会 長			
李素妍	鳥取大学地域学部地域学科国際地域文化コース兼地域学部地域環境学科准教授				
野地恒有	愛知教育大学理事 [教育・学生担当]・副学長・附属図書館長				
石谷孝二	鳥取大学名誉教授	美術 部 会 長			
中尾廣太郎	鳥取洋画家協会会長				
山下真由美	細見美術館学芸員				

※部会順、五十音順。団体名及び職名は、令和2年度当時のもの。

3 予算・決算

(一般会計 現年)

(単位：千円)

事業名	予算額		決算額	決算額の財源内訳					備考			
	当初予算	補正額		流用額	計	国庫	使用料	財産収入		諸収入	債起	繰越金
(博物館費)												
企画展開催費	77,735	△ 200	△ 1,458	76,077		6,939	11,773				56,764	
〔輝いていた60's	17,489	△ 141	△ 1,030	16,318		1,146	6,455				15,073	
こんにちには変形菌！	18,521	△ 48		18,473							12,018	
ざ・フィランランドデザイン展	20,688		△ 428	20,260		5,784					14,295	
ミュージアムとの創造的対話展	6,988			6,988			275				6,713	
生誕110年 岡本太郎展	12,593	△ 11		12,582			5,043				7,539	
垣田堅二郎コレクション展	1,456			1,456		9					1,126	
博物館運営費												
博物館交流事業	90,272	△ 923	1,458	90,807		777	542	1,487			86,957	
自然事業費	1,321			1,321							1,139	
人文事業費	6,173	△ 635		5,538							2,981	
美術事業費	12,268	△ 215		12,053							11,433	
博物館普及事業費	15,730			15,730							12,718	
美術館・博物館等ネットワーク強化推進事業	10,011	△ 844		9,167							7,829	
鳥取県美術品取得基金買戻金	879			879							612	
小計	0	22,327	0	22,327							22,327	
	214,389	19,510	0	233,899		7,716	542	13,260			202,760	

4 令和2年度利用状況

(1) 利用者数

常設展示	企画展	普及活動		研究 相談	小計	許可利用			カフェ・ レストラン	合計
		館内	館外			展示室	講堂 会議室	小計		
32,637	38,453	[261] 2,790	3,191	215	[261] 77,286	13,544	500	14,044	13,934	[261] 105,264

※〔 〕は常設展・企画展におけるギャラリートーク参加者数(内数)であり、記載欄においては外数(常設展又は企画展の入館者数中に含まれる。)

(2) 常設展示入館者数

(単位：人)

月別 開館 日数	幼 児			小中学生			高 校 生			学 生			一 般			合 計			1 日 当 た り の 入 館 者 数	
	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計		
4月 ※12	46	0	46	85	0	85	15	0	15	29	0	29	(44) 160	(0) 64	(44) 224	(44) 335	(0) 64	(44) 399	33	
5月 ※22	69	0	69	46	0	46	10	0	10	12	0	12	(74) 204	(2) 108	(76) 312	(74) 341	(2) 108	(76) 449	20	
6月 28	97	12	109	202	49	251	22	0	22	69	0	69	(2,257) 2,351	(0) 72	(2,257) 2,423	(2,257) 2,741	(0) 133	(2,257) 2,874	103	
7月 29	474	19	493	707	77	784	73	22	95	100	9	109	(2,472) 2,715	(2) 144	(2,474) 2,859	(2,472) 4,069	(2) 271	(2,474) 4,340	150	
8月 30	627	0	627	1,495	0	1,495	137	2	139	225	0	225	(3,995) 4,254	(0) 161	(3,995) 4,415	(3,995) 6,738	(0) 163	(3,995) 6,901	230	
9月 27	78	0	78	334	44	378	8	0	8	62	0	62	(149) 810	(0) 184	(149) 994	(149) 1,292	(0) 228	(149) 1,520	56	
10月 29	108	0	108	165	369	534	16	98	114	37	22	59	(896) 1,119	(64) 249	(960) 1,368	(896) 1,445	(64) 738	(960) 2,183	75	
11月 28	181	108	289	231	465	696	16	0	16	54	0	54	(1,146) 1,389	(1) 194	(1,147) 1,583	(1,146) 1,871	(1) 767	(1,147) 2,638	94	
12月 26	55	0	55	67	217	284	16	44	60	31	0	31	(446) 621	(0) 98	(446) 719	(446) 790	(0) 359	(446) 1,149	44	
1月 25	103	0	103	103	105	208	8	0	8	23	0	23	(137) 324	(2) 184	(139) 508	(137) 561	(2) 289	(139) 850	34	
2月 24	191	29	220	238	54	292	62	8	70	126	0	126	(2,455) 2,559	(4) 120	(2,459) 2,679	(2,455) 3,176	(4) 211	(2,459) 3,387	141	
3月 25	270	0	270	554	11	565	144	0	144	182	0	182	(4,422) 4,608	(3) 178	(4,425) 4,786	(4,422) 5,758	(3) 189	(4,425) 5,947	238	
合計	305	2,299	168	2,467	4,227	1,391	5,618	527	174	701	950	31	981	(18,493) 21,114	(78) 1,756	(18,571) 22,870	(18,493) 29,117	(78) 3,520	(18,571) 32,637	107

※新型コロナウイルス拡大防止のため4月13日から5月6日の間は、常設展示を中止。()は入館料減免者で内数である。

(3) 企画展入館者数

(単位：人)

区分 展覧会名	期間 開館 日数	幼 児			小・中学生			高 校 生			学 生			一 般			合 計			の1 日 当 た り の 入 館 者 数	
		個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計	個人	団体	計		
輝いていた60's -1960年代の スポーツと生活文化-	R2 6.6~ R2.7.5	29	145	0	145	287	62	349	50	36	86	217	0	217	(874) 3,679	(16) 89	(890) 3,768	(874) 4,378	(16) 187	(890) 4,565	157
こんにちは変形菌! とってもふしぎな 生きものです。	R2 7.18~ R2.8.30	44	1,037	37	1,074	2,221	35	2,256	251	24	275	0	5	5	(402) 6,453	(0) 392	(402) 6,845	(402) 9,962	(0) 493	(402) 10,455	238
ザ・フィンラン ドデザイン展~ 自然が宿るライ フスタイル~	R2 10.10~ R2.11.15	36	341	0	341	809	385	1,194	93	107	200	351	22	373	(1,958) 8,488	(6) 294	(1,964) 8,782	(1,958) 10,082	(6) 808	(1,964) 10,890	303
ミュージアムと の創造的対話03 何が価値を創造 するのか	R2 11.28~ R2.12.27	29	48	0	48	62	184	246	35	200	235	0	0	0	(104) 1,414	(0) 45	(104) 1,459	(104) 1,559	(0) 429	(104) 1,988	69
生誕110年 岡本太郎 -パリから東京へ	R3 2.11~ R3.3.21	34	417	0	417	847	92	939	260	55	315	0	0	0	(694) 8,400	(0) 484	(694) 8,884	(694) 9,924	(0) 631	(694) 10,555	310
合 計			1,988	37	2,025	4,226	758	4,984	689	422	1,111	568	27	595	28,434	1,304	29,738	35,905	2,548	38,453	

()は入館料減免者で内数である。

(4) 館外主催展

展覧会名	期間	内容	入館者数	主催者
長くつ下のピッピの世界展	4月5日～4月26日	原画・原稿・ 愛用品等	1,371	新日本海新聞社
第64回鳥取県美術展覧会	9月19日～9月27日	絵画・書道・ 写真等	3,717	鳥取県 (文化政策課)
昭和館巡回特別企画展 くらしにみる昭和の時代鳥取展	10月24日～11月3日	写真・ポス ター・人形等	4,711	昭和館
第18回鳥取県ジュニア美術展覧会 東部地区展	1月15日～1月23日	絵画・書道・ 写真等	2,053	鳥取県 (文化政策課)
鳥取県文化功労賞 受賞記念巡回展	1月23日～1月31日	彫刻・評論・文 化振興・書道	639	鳥取県 (文化政策課)
あいサポートアートとっとり展 東部巡回展	1月27日～1月31日	絵画・書道・ 写真等	584	鳥取県 (障がい福祉課)
第44回鳥取書道連盟展	3月28日～3月31日	書道	469	鳥取書道連盟
合 計			13,544	

事業の概要

1 調査研究

(1) 調査研究

分野	事項
地学	鳥取県の地形地質と化石に関する調査研究
動物	鳥取県の動物相および動物の分類に関する調査研究 鳥取県沿岸の漂着動物に関する調査研究
植物	鳥取県の植物相および植物の分類に関する調査研究
考古	館蔵品の調査研究 鳥取県内の原始・古代の遺跡に関する調査研究
歴史	鳥取県内の石造物調査研究 山陰地方ゆかりの宸筆の研究 鳥取県の貿易陶磁に関する調査研究 鳥取藩政資料およびそのデジタル化に関する調査研究 鳥取県の酒造業に関する調査研究 鳥取県内の現代資料に関する(聞き取り)調査研究 文化財の状況調査(三朝町中津)
民俗	鳥取県内の社寺の棟札に関する調査研究 東京オリンピック関係資料の調査研究
美術	鳥取県に関係した美術資料、作家や作品等に関する調査研究 令和2年度企画展(「ザ・フィンランドデザイン展」「ミュージアムとの創造的対話vol. 3」 「生誕110年 岡本太郎」)、および令和3年度企画展(「受贈記念 垣田堅二郎コレクション展」 「東郷青児と前田寛治、ふたつの道」「小早川秋聲展」)等に関する調査研究
教育普及	教育プログラムの開発に関わる研究

(2) 研究報告等の刊行

刊行物の名称(発行時期)	発行部数	規格
鳥取県立博物館年報 No. 48(令和2年11月)	300部	A 4 108ページ
鳥取県立博物館ニュース No. 30 (令和2年9月)	10,000部	A 4 8ページ
研究報告 No. 58 (令和2年3月)	470部	A 4 94ページ
鳥取県立博物館ニュース No. 31 (令和3年3月)	10,000部	A 4 8ページ

2 資料収集・保管

(1) 博物館資料保有状況

部 門	前年度末 保有点数	本 年 度 中 増 加 点 数					本年度中 減少点数	本年度末 保有点数
		購 入	寄 贈	採 集	保管換	分類換		
地 学	8,040							8,040
動 物	27,077	10	9,032	152				36,271
植 物	55,660	5						55,665
歴 史	54,775	1	564					55,340
近 現 代	7,955	129	191					8,275
民 俗	4,117		3					4,120
考 古	8,292							8,292
美 術	9,771	141	77					9,989
そ の 他	123							123
合 計	175,810	286	9,867	152			0	186,115

(2) 購入(製作)資料

部 門	資 料 名
地 学	なし
動 物	シロエリオオハム剥製・骨格標本計2点、コウベモグラ剥製1点、ヒミズ頭骨標本2点、ニホンジネズミ頭骨標本2点、アブラコウモリ頭骨標本2点、ニホンマムシ骨格標本1点
植 物	変形菌レプリカ5点
歴 史	因幡国八東郡吉川村田中家文書1式
近 現 代	鳥取案内1点、鳥取県関係パンフレット6点、鳥取県関係絵葉書101点、駅弁票(掛け絵含)5点、ゑんしれーじの話1点、湯の郷鳥取案内1点、新日本分県地図[鳥取県]1点、鳥取県観光ポスター2点、鳥取県産業観光米子大博覧会入場券1点、資生堂チェインストア11月号1点、満州電信電話(株)講習生募集ポスター1点、明治32年特許醤油醸造法ニ関スル問答書1点、ポスター「不斷の努力者!!」1点、ポスター「此の一弾!此の一枚!」1点、ポスター「陸軍少年飛行兵」1点、ポスター「越冬同胞援護運動」1点、ポスター「長期戦下」1点、ポスター「陸軍記念日」1点、ポスター「千代田生命興臣奉公保険の備え」1点
民 俗	なし
考 古	なし
美 術	中島菜刀《芭蕉庵詩仙堂》六曲一双屏風2点、辻晉堂《詩人と家族(八木重吉)》他4点、池本喜巳《近世店屋考》写真作品97件・計135点

(3) 寄贈資料

部 門	資 料 名
地 学	八頭町明辺産化石標本20点【整理後に登録予定】、鳥取県産珪藻化石試料21点【登録外資料】
動 物	ネコ科動物の頭骨(一部)1点【登録外資料】、トモエガモ(雌)本剥製1点【登録外資料】、昆虫標本(チョウ類)約4,500点【整理後に登録予定】 (このほか、平成26年度に寄贈された昆虫標本コレクション9,032点の整理が済み、登録した。)
植 物	変形菌標本809点【整理後に登録予定】
歴 史	旧鳥取藩士真田家資料ならびに真田三六収集資料290点、濱橋家文書173点、甲冑(当世具足・具足櫃)1式、猪股登志子家文書97点、漆塗椀(葵紋)1点、日上直当流体術免状1点
近 現 代	オリンピック東京大会・第4回アジア大会出場陸上競技資料111点、木製亜鈴10点、公衆電話機1点、東京オリンピック公式ポスター第2号1点、SPレコード62点、聴取無線電話施設許可書1点、第1期種痘済証1点、補充兵証書1点、鳥取駅入場券1点、鳥取県関係絵葉書2点

民	俗	和傘 1 点、短床犁 1 点、サンヨー電機株式会社製ワードプロセッサ 1 点
考	古	なし
美	術	松井康成《堆線文方壺 銘「道」》1 点、伊谷賢蔵《康子》他油彩・素描類 23 点、山本兼文《帰ってきた青年》他彫刻類 6 点、島田元旦《花鳥図屏風》他近世絵画資料類 11 点、辻晉堂《少女の首》他辻晉堂作品・資料類 33 点、中井金三《薔薇》油彩・キャンバス 1 点、根本幽峨《井手玉川・野路玉川図屏風》2 点

(4) 採集・拾得等資料

部	門	資	料	名
地	学	なし		
動	物	ホヤ類 93 点、昆虫類 59 点		
植	物	なし		

3 展 示

(1) 常設展示

常設展示を構成する資料

(単位：点)

区 分	実物資料・標本	ジオラマ・ 模型・機器	計
自 然	2,210	15	2,225
歴 史・民 俗	820	88	908
美 術	435	0	435
合 計	3,465	103	3,568

■自然展示室 (515㎡)

〈鳥取県の地質〉

- 鳥取県の地質の歴史を岩石・化石標本とパネルで紹介
- 鳥取県の地質地形を模型で紹介

〈鳥取県の“県の石”、日本の“国の石”〉

- 日本地質学会選の鳥取県の“県の石”と、日本鉱物科学会選の日本の“国の石”を展示

〈山陰沖海底産の哺乳類化石〉

- 山陰沖から産出したナウマンゾウやセイウチなどの化石を展示

〈鳥取県の化石〉

- 鳥取市国府町宮下の魚類化石、佐治町辰巳峠の植物・昆虫化石などを展示

〈鳥取砂丘〉

- 鳥取砂丘の地形と形成過程を剥ぎ取り標本、地形模型、映像などで紹介

〈地球の歴史と生物の進化〉

- 各地質時代の古生物をジオラマ7景で紹介
- 古生代、中生代、新生代の化石などを展示

〈鉱物と岩石〉

- 鉱物の分類と特徴・性質を標本とパネルで紹介
- 蛍光を発する鉱物を展示
- 岩石の分類と特徴を標本とパネルで紹介
- 鳥取県にあった鉱山を岩石・鉱物標本とパネルで紹介

〈鳥取砂丘の生物・大山の生物・中国山地の生物〉

- 鳥取砂丘、大山および中国山地に生息する生物について、それぞれ標本・ジオラマとパネルで紹介

〈鳥取県の漂着動物〉

- 鳥取県沿岸に漂着した海洋動物の標本を展示（ダイオウイカ、リュウグウノツカイ、クジラ類、マンボウ類、ウミガメ類など）

〈鳥取県における動物の地理的変異〉

- 鳥取県において地理的分化のみられる動物を標本とパネルで紹介（カワトンボ、フキバツタ、ザトウムシなど）

〈人間活動と野生生物〉

- 鳥取県の外来種問題や環境問題を標本とパネルで紹介

〈鳥取の植物〉

- 鳥取県にみられる植物の押し葉標本と写真を展示

〈オオサンショウウオ・コーナー〉

- 国の特別天然記念物オオサンショウウオ（メス1個体）の飼育展示
- オオサンショウウオの標本展示、およびクイズ・コーナー

〈動物の分類展示〉

- 甲殻類、イカ・タコ類、魚類、両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類を標本とパネルなどで紹介
- ◆野鳥のさえずりをハンズ・オン展示で紹介 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年5月より展示を中止
- 貝類、昆虫類を標本とパネルで紹介
- 当館職員が発見、新種として記載発表した甲虫「ヒョウノセンヒメハナノミ」を標本とパネルで紹介

〈キノコの世界〉

- 菌類をアクリル封入標本、パネルで紹介

〈海藻のなかま〉

- 海藻類をアクリル封入標本とパネルで紹介

〈「みて・さわって・調べよう」コーナー〉

- ◆身近な自然をタッチング剥製やアクリル封入標本を使ったハンズ・オン展示で紹介 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年5月より展示を中止
- 身近な植物コーナーで「オオイヌノフグリ仲間」「クリスマスカラーの植物たち」「ウシにまつわる植物」「いちごのなかま」を紹介

「自然の窓」コーナー

展 示 タ イ ト ル	展 示 期 間
身近でふしぎな生きもの変形菌	令和元年12月21日～令和2年6月22日
海の名脇役 エイ	令和2年6月23日～令和2年10月12日
『三葉虫』、展示中！	令和2年10月13日～令和3年2月11日
チョウの翅が輝く秘密	令和3年2月12日～令和3年9月22日

■歴史・民俗展示室（515㎡）

〈鳥取県のあけぼの〉

- 重要文化財子持勾玉の展示
- 旧石器時代～縄文時代草創期のナイフ形石器・有舌尖頭器などを展示
- 縄文時代の石器・木器・骨角器等、生活の道具の展示

- 智頭枕田遺跡をはじめとする県内出土の縄文土器を時期順に解説展示

〈弥生時代〉

- 稲作文化の伝来を伝える農具、県内出土の弥生土器の展示
- 農耕のまつりに使われた青銅器や土製品の紹介
- 青谷上寺地遺跡出土の木製品・鉄器・土器の展示
- 「弥生の国邑」妻木晩田遺跡の地形模型と、出土土器の展示
- 日本海を介した交流による県内出土品の紹介
- 山陰独特の墓「四隅突出型墳丘墓」とその出土土器の紹介
- ◆土器パズルコーナー ※新型コロナウイルス感染症拡散防止のため撤収

〈古墳時代〉

- 古郡家1号墳等、県内の主要古墳出土資料の展示
- 重要文化財三角縁神獣鏡をはじめとする県内古墳出土銅鏡の紹介
- 鉄刀、鉄鏃、馬具等、様々な古墳副葬品の展示
- 重要文化財伯耆長瀬高浜遺跡出土埴輪など、県内の代表的な埴輪の展示
- 山陰に特徴的な土師器と須恵器の展示
- 様々な玉類や子持勾玉の紹介
- 古墳時代終末期の梶山古墳および横穴墓の出土遺物の展示

〈古代～中世〉

- 因幡・伯耆国府出土資料の展示、古代寺院に関する資料の展示
- 県内の古代寺院出土軒丸瓦、鬼瓦の展示
- 上淀廃寺彩色壁画、山陰型鷗尾の復元レプリカの展示
- 大山寺と三仏寺の紹介
- 三徳山三仏寺投入堂模型の展示
- 東郷庄と「東郷庄下地中分図」の紹介
- 県内の経塚出土の経筒、瓦経などの展示
- 梵鐘（廃網代寺・国英神社）・宝篋印塔の展示
- 鎌倉時代～南北朝期の因幡・伯耆
- 因幡・伯耆の守護大名山名氏の勢力を示す資料の展示

〈近世〉

- 豊臣秀吉による鳥取城攻めの紹介と、山名豊国肖像（複製）、吉川経家文書（複製）など関連資料の展示
- 亀井茲矩書状など、亀井茲矩の事績の紹介
- ◆領地パズルコーナー ※新型コロナウイルス感染症拡散防止のため撤収
- 池田光仲肖像（複製）、領地判物、夫人など、鳥取池田家の解説展示
- 鳥取・米子などの城下町関連資料、城下町絵図と現代地図の重ね合わせ図の展示
- 元禄の国絵図レプリカの展示
- 武士の格式と暮らし、武具やたしなみ（琴、茶）などの展示
- 鳥取を代表する産物である鉄・紙・木綿に関する資料の展示
- 大山寺略絵図など、近世の大山寺に関する展示
- 鳥取藩と竹島との関わりの展示
- 幕末の鳥取藩を示す資料の展示
- 鳥取藩の参勤交代の展示
- 鳥取城の模型、出土瓦など、鳥取城関係の展示

〈近現代〉

- 鳥根県に併合されていた時代の地券、卒業証書などの展示
- 小学読本・教科書など、明治期の教育に関する展示
- 歩兵第四十連隊と日露戦争の関わりに関する展示
- 山陰線の開通など、鳥取県の近代化に関する展示

〈民俗〉

- 復元民家による昔の暮らしの紹介
- ◆ランプ・行灯の明るさ体験
- 鳥取県独自の麒麟獅子舞を装束一式と映像で紹介
- 「かすり」を作る道具の展示と、かすりの製作工程の紹介
- 小豆雑煮、松葉がに、二十世紀梨など鳥取県の食文化の展示
- はこた人形・土天神など、鳥取県の郷土玩具の展示
- サネモリさん・荒神さんとクチナワさん・サイノカミさんなどの民間信仰の解説展示（実物・映像）
- 無形民俗文化財・民俗行事を映像で紹介
- ◆棹ばかりを実際に使ってみる体験コーナー ※新型コロナウイルス感染症拡散防止のため撤収

〈歴史の窓〉

展示タイトル	展示期間
いにしへの祈りの風景	令和2年3月24日(火)～4月12日(日)
新型コロナウイルス感染症拡散防止の観点からの休館	
新収蔵コレクションお披露目展示—鳥取藩のお抱え力士たち—	令和2年5月7日(木)～6月21日(日)
戦国時代の橋と軍事	令和2年6月23日(火)～8月30日(日)
宇倍神社古墳—収蔵庫から発掘した因幡の古墳—	令和2年9月1日(火)～10月25日(日)
川をデザインする 江戸時代の天神川絵図と治水	令和2年10月27日(火)～12月27日(日)
絵葉書で見る鳥取2021—新収蔵資料から—	令和3年1月4日(月)～2月28日(日)
青谷古代山陰道と鹿野戦国クシナ城	令和3年3月2日(火)～5月9日(日)

■美術展示室(260㎡)

- 江戸時代から現代までの鳥取県を代表する近世絵画、日本画、洋画、工芸、版画等を展示。
(○：鳥取県指定保護文化財)

常設展示 ●美術部門コレクション展示

「美術家大辞典 鳥取県立博物館版〈近世以前編〉は行の美術家(上巻)」

展示期間：令和2年5月13日～令和2年6月21日

作品名	作者	所蔵先
東方朔図	土方 稲嶺	鳥取県立博物館 (岸コレクション)
関羽図	土方 稲嶺	鳥取県立博物館 (安富コレクション)
巖上猿之図	土方 稲嶺	鳥取県立博物館 (安富コレクション)

作品名	作者	所蔵先
太公望図	土方 稲嶺	鳥取県立博物館
風雪三顧図	土方 稲嶺	鳥取県立博物館 (安富コレクション)
蓮池遊鯉図	土方 稲嶺	鳥取県立博物館 (安富コレクション)

糸瓜に猫図	土方 稲嶺	鳥取県立博物館 (君野コレクション)
花鳥図	土方 稲嶺	鳥取県立博物館
松に音呼図	土方 稲嶺	鳥取県立博物館
麝香花下悠々之図	土方 稲嶺	鳥取県立博物館 (安富コレクション)
山水花鳥押絵貼屏風	土方 稲嶺	鳥取県立博物館
牡丹孔雀図	土方 稲嶺	鳥取県立博物館
猛虎図	土方 稲嶺	鳥取県立博物館 (安富コレクション)
狗子図	土方 稲嶺	鳥取県立博物館 (安富コレクション)
竹林七賢図 (興国寺書院襖絵)	土方 稲嶺	鳥取県立博物館
東方朔図	土方 稲嶺	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
林和靖之図	土方 稲嶺	鳥取県立博物館

雪中梅華図	土方 稲嶺	鳥取県立博物館 (安富コレクション)
稲嶺廣輔肖像	不詳	鳥取県立博物館 (土方家〔杉浦家〕 伝来資料)
印章Ⅰ「稲嶺」 朱文方印	土方 稲嶺	鳥取県立博物館 (土方家〔杉浦家〕 伝来資料)
印章Ⅱ「廣輔之 印」白文方印	土方 稲嶺	鳥取県立博物館 (土方家〔杉浦家〕 伝来資料)
印章Ⅲ「春在手」 朱文方印	土方 稲嶺	鳥取県立博物館 (土方家〔杉浦家〕 伝来資料)
印章Ⅳ「深林人 不知明月来相照」 白文長方印	土方 稲嶺	鳥取県立博物館 (土方家〔杉浦家〕 伝来資料)
印章Ⅴ「稲林」 白文連印	土方 稲嶺	鳥取県立博物館 (土方家〔杉浦家〕 伝来資料)
伊藤祐胤書状	伊藤 祐胤	鳥取県立博物館 (土方家〔杉浦家〕 伝来資料)
写生帖	土方 稲嶺	鳥取県立博物館 (土方家〔杉浦家〕 伝来資料)
関羽図 (下絵)	土方 稲嶺	鳥取県立博物館 (土方家〔杉浦家〕 伝来資料)

常設展示 ●美術部門コレクション展示

「美術家大辞典 鳥取県立博物館版〈近世以前編〉は行の美術家(下巻)」

展示期間：令和2年6月24日～令和2年8月23日

作品名	作者	所蔵先
刀 銘 伯州住 廣賀作 天文十 年二月吉日	廣賀	鳥取県立博物館
短刀 銘 伯州 住廣賀作 元龜 三年八月日	廣賀	鳥取県立博物館
刀 銘 伯州住 冬廣作 天正二 年八月吉日	冬廣	鳥取県立博物館
刀 銘 因幡住 藤原兼先	日置兼先	鳥取県立博物館
刀 銘 日置藤 原兼次作 慶応 三年正月吉日	日置兼次	鳥取県立博物館
雪中水禽図	春木南湖	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
山水図 (自画賛)	春木南溟	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
山水図・墨蘭図	費晴湖・張秋毅	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
関羽	原在照	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
美人図	細田栄之	鳥取県立博物館 (君野コレクション)
布袋図 (大徳寺 大心賛)	萩之坊乗円	鳥取県立博物館 (君野コレクション)
山水図	船越寛一	鳥取県立博物館 (岸コレクション)
鯉図	文雅堂	鳥取県立博物館 (岸コレクション)

作品名	作者	所蔵先
井手玉川図	橋本秀峰	鳥取県立博物館 (君野コレクション)
牛馬図屏風	橋本秀峰	鳥取県立博物館
因幡伯耆名勝図	橋本秀峰	鳥取県立博物館
温公機知救命図	藤岡神山	鳥取県立博物館 (安富コレクション)
楠公訣児之図 (佐 善元立賛)	藤岡神山	鳥取県立博物館 (安富コレクション)
観瀑山水図	藤岡神山	鳥取県立博物館 (岸コレクション)
黒塗中次	秀次	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
山水図	平野五岳	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
明智光春琵琶湖 騎渡図	平野五岳	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
青緑山水図	藤本鉄石	鳥取県立博物館 (君野コレクション)
菊の図 (自画賛)	東久世通禎	鳥取県立博物館 (安富コレクション)
武者図	熙成	鳥取県立博物館 (安富コレクション)

常設展示 ●美術部門コレクション展示

「美術家大辞典 鳥取県立博物館版〈近世以前編〉ま行以降の美術家」

展示期間：令和2年8月26日～令和2年10月11日

作品名	作者	所蔵先
秋山遊鹿図	前川文嶺	鳥取県立博物館
秋海棠山藤図屏風	円山応震	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
双鹿図	三浦栲良	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
墨菊図	皆川淇園	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
百花図	牧野芝石	鳥取県立博物館 (君野コレクション)
夏景山水図	牧野芝石	鳥取県立博物館 (岸コレクション)
船上山図(自画賛)	牧野芝石	鳥取県立博物館 (安富コレクション)
四季山水貼交屏風	牧野芝石	鳥取県立博物館
赤壁山水図	森寛斎	鳥取県立博物館 (君野コレクション)
香川景樹像(八田知紀賛)	森義章	鳥取県立博物館 (安富コレクション)
野馬図	山本素軒	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
風竹図屏風	与謝蕪村	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)

作品名	作者	所蔵先
松陰正気歌図	山本琴谷	鳥取県立博物館 (安富コレクション)
岩図(自画賛)	森田節斎	鳥取県立博物館 (安富コレクション)
交趾写大亀香合	真清水蔵六	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
青磁鳳凰耳付砵 花入	真清水蔵六(二代)	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
狐図	嶺雲	鳥取県立博物館 (岸コレクション)
対月図	山田道安	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
青華月前蔦図皿 (22点組、うち 2点)	真葛香山(初代)	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
秋景山水図	森本後洞	鳥取県立博物館
三面大黒天図	世峨	鳥取県立博物館
菅原道真像	冷泉為恭	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
出山釈迦図	山崎弁栄	鳥取県立博物館 (安富コレクション)

常設展示 ●鳥取県ミュージアムネットワーク連携事業

鳥取県立博物館・米子市美術館共同企画

「生誕100年記念 杵島隆：不滅のパイオニア精神(前期)」

展示期間：令和2年10月14日～令和2年12月6日

作品名	作者	所蔵先
狎(ちん)	植田正治	米子市美術館蔵
ミワコさんの居る丘	植田正治	米子市美術館蔵
ボクのわたしのお母さん	植田正治	鳥取県立博物館蔵
妻のいる砂丘風景	植田正治	米子市美術館蔵
土門拳と石津良介	植田正治	鳥取県立博物館蔵
文楽人形・老女形	土門拳	米子市美術館蔵
近藤勇と鞍馬天狗 一江東のこどもたち	土門拳	米子市美術館蔵
どしゃ降り	土門拳	米子市美術館蔵
植田正治とポスト	土門拳	米子市美術館蔵
モデルのいる植田正治像	土門拳	米子市美術館蔵
コンポジション-手袋	杵島隆	鳥取県立博物館蔵
かんぴょう	杵島隆	鳥取県立博物館蔵
じゃんけんぼん	杵島隆	鳥取県立博物館蔵
けがをした子供	杵島隆	鳥取県立博物館蔵
女	杵島隆	米子市美術館蔵

作品名	作者	所蔵先
行く人	南孝	米子市美術館蔵
煙草	南孝	米子市美術館蔵
基地にて	南孝	米子市美術館蔵
砂丘ヌード(1)	南孝	米子市美術館蔵
風景	古徳博美	米子市美術館蔵
雪中の幼女	古徳博美	米子市美術館蔵
砂丘	古徳博美	米子市美術館蔵
白い道	井上喜弘	米子市美術館蔵
田園	井上喜弘	米子市美術館蔵
童女	井上喜弘	米子市美術館蔵
黄昏	井上喜弘	米子市美術館蔵
地引き網	井上宏通	米子市美術館蔵
樹	井上宏通	米子市美術館蔵
風景	井上宏通	米子市美術館蔵
こども(2)	奥元次	米子市美術館蔵

神事の司 ー村長さんー	杵島隆	鳥取県立博物館蔵
働く女たち ー地引き網	杵島隆	米子市美術館蔵
市	杵島隆	米子市美術館蔵
できあがり	杵島隆	鳥取県立博物館蔵
昼寝	杵島隆	鳥取県立博物館蔵
或る男	杵島隆	鳥取県立博物館蔵
朝鮮服を着た老女	杵島隆	鳥取県立博物館蔵
老婆像	杵島隆	鳥取県立博物館蔵
掌	杵島隆	鳥取県立博物館蔵
雪融けの樹々	杵島隆	鳥取県立博物館蔵
行者	杵島隆	米子市美術館蔵
かつぎ屋 ーおびえながらー	杵島隆	鳥取県立博物館蔵
腰掛ける老人ー鳥取大火災ー	杵島隆	鳥取県立博物館蔵

隠岐の闘牛	奥 元次	米子市美術館蔵
漁村の娘	奥 元次	米子市美術館蔵
バラスを引く馬	田賀久治	米子市美術館蔵
泥	田賀久治	米子市美術館蔵
見物客	田賀久治	米子市美術館蔵
文楽の舞台裏	田賀久治	米子市美術館蔵
漁師の顔	元谷督太郎	米子市美術館蔵
子育て 授乳	元谷督太郎	米子市美術館蔵
卒業	元谷督太郎	米子市美術館蔵
葬式	元谷督太郎	米子市美術館蔵
合掌	元谷督太郎	米子市美術館蔵

常設展示 ●鳥取県ミュージアムネットワーク連携事業

鳥取県立博物館・米子市美術館共同企画

「生誕100年記念 杵島隆：不滅のパイオニア精神(後期)」

展示期間：令和2年12月9日～令和3年1月31日

作品名	作者	所蔵先
基地の浜	杵島隆	米子市美術館
ジルバ(基地の女)	杵島隆	米子市美術館
ジルバ(基地の女)	杵島隆	米子市美術館
ジルバを踊る	杵島隆	鳥取県立博物館
基地	杵島隆	米子市美術館
基地の女	杵島隆	米子市美術館
わかれ	杵島隆	米子市美術館
恋人たち	杵島隆	米子市美術館
基地に来た娘たち	杵島隆	米子市美術館
モード-2	杵島隆	鳥取県立博物館
モード-1	杵島隆	鳥取県立博物館
モード-5	杵島隆	鳥取県立博物館
『裸像伝説』胎	杵島隆	鳥取県立博物館
『裸像伝説』安息	杵島隆	鳥取県立博物館
『裸像伝説』存在	杵島隆	鳥取県立博物館
『裸像伝説』無垢	杵島隆	鳥取県立博物館
『裸像伝説』大地	杵島隆	鳥取県立博物館
『裸像伝説』丸の内	杵島隆	鳥取県立博物館
『裸像伝説』銀座	杵島隆	鳥取県立博物館

作品名	作者	所蔵先
『裸像伝説』量感	杵島隆	鳥取県立博物館
『裸像伝説』遺棄	杵島隆	鳥取県立博物館
NUDE	杵島隆	鳥取県立博物館
試作 - NUDE	杵島隆	鳥取県立博物館
『裸像伝説』追放	杵島隆	鳥取県立博物館
『裸像伝説』生贖	杵島隆	鳥取県立博物館
『裸像伝説』乳海	杵島隆	鳥取県立博物館
『裸像伝説』指先	杵島隆	鳥取県立博物館
かつぎ屋	杵島隆	米子市美術館
たばこを吸う	杵島隆	米子市美術館
母と子	杵島隆	鳥取県立博物館
老婆像	杵島隆	鳥取県立博物館
かくしていた結婚指輪	杵島隆	鳥取県立博物館
ふき出した汗	杵島隆	鳥取県立博物館
浦の女	杵島隆	鳥取県立博物館
オカカの像	杵島隆	米子市美術館
老婆像	杵島隆	鳥取県立博物館
ある顔	杵島隆	鳥取県立博物館
コマーシャル試作 ー福助足袋ー	杵島隆	鳥取県立博物館

『裸像伝説』 桜田門	杵島隆	鳥取県立博物館
『裸像伝説』 桜田門	杵島隆	鳥取県立博物館
『裸像伝説』 封印	杵島隆	鳥取県立博物館
『裸像伝説』 力	杵島隆	鳥取県立博物館

コマーシャル試作 三菱電機 ミシン	杵島隆	鳥取県立博物館
女優 久我 美子	杵島隆	鳥取県立博物館
女人像	杵島隆	米子市美術館

常設展示 ●美術部門コレクション展示「新収蔵品展」

展示期間：令和3年2月3日～令和3年3月28日

(前期 2月3日- 2月28日 後期 3月2日- 3月28日)

作品名	作者	所蔵先
花鳥図押絵貼屏風 ※前期展示	鳥田 元旦	鳥取県立博物館
烏鷲図屏風 ※後期展示	土方 稲嶺	鳥取県立博物館
牡丹孔雀図	土方 稲嶺	鳥取県立博物館
曲水宴図	沖 一峨	鳥取県立博物館
芭蕉庵詩仙堂 ※前期展示	中島 菜刀	鳥取県立博物館
井手玉川・野路玉川図屏風 ※後期展示	根本 幽峨	鳥取県立博物館
豇豆紅花瓶	河井 寛次郎	鳥取県立博物館 (山本令一郎氏旧蔵)
練上茶碗	河井 寛次郎	鳥取県立博物館 (山本令一郎氏旧蔵)
青葉花食籠	河井 寛次郎	鳥取県立博物館 (山本令一郎氏旧蔵)
堆線文方壺 銘「道」	松井 康成	鳥取県立博物館
詩人と家族年(八木重吉)	辻 晉堂	鳥取県立博物館
マネキネコノマネ	辻 晉堂	鳥取県立博物館
芭蕉	辻 晉堂	鳥取県立博物館
はせお	辻 晉堂	鳥取県立博物館
雨の日(老人)	辻 晉堂	鳥取県立博物館
少女 頭像	辻 晉堂	鳥取県立博物館
天馬	辻 晉堂	鳥取県立博物館

作品名	作者	所蔵先
鳩	辻 晉堂	鳥取県立博物館
目だ時計だマンホールだ	山本 兼文	鳥取県立博物館
茄子女	山本 兼文	鳥取県立博物館
イーブル	香田 勝太	鳥取県立博物館
フランス風景	前田 寛治	鳥取県立博物館
りつの像	安岡 信義	鳥取県立博物館
薔薇	中井 金三	鳥取県立博物館
康子	伊谷 賢蔵	鳥取県立博物館
瑠璃浜	伊谷 賢蔵	鳥取県立博物館
室内婦人像	伊谷 賢蔵	鳥取県立博物館
快晴嶽遠	白髪 一雄	鳥取県立博物館
雛器粟(ひなげし)	伊谷 賢蔵	鳥取県立博物館
桜島	伊谷 賢蔵	鳥取県立博物館
アコンカグア	伊谷 賢蔵	鳥取県立博物館
マチュピチュ	伊谷 賢蔵	鳥取県立博物館
マチュピチュ	伊谷 賢蔵	鳥取県立博物館
鉦山風景(緑)	伊谷 賢蔵	鳥取県立博物館

■近代美術展示室(374㎡)

●美術部門コレクション展示「美術家大辞典 鳥取県立博物館版(近現代編) な行・は行の美術家」

展示期間：令和2年5月9日～令和2年6月28日

作品名	作者	所蔵先
白釉黒流描大鉢	浜田 庄司	鳥取県立博物館
修二会練行生飯(サバ)	長谷川 富三郎	鳥取県立博物館
青釉白十字掛紋打角皿	浜田 庄司	鳥取県立博物館
白釉鉄絵方壺	浜田 庄司	鳥取県立博物館
夏景名城(千代田城)	橋本 興家	鳥取県立博物館

作品名	作者	所蔵先
作品Q	福留 章太	鳥取県立博物館
犠牲 No. 4	ニシオ トミジ	鳥取県立博物館
ニノミヤ君	中ハシ 克シゲ	鳥取県立博物館
アシュラ(光)	フナイ タケヒコ	鳥取県立博物館
DAY DREAM(Z)	藤原 晴彦	鳥取県立博物館

女辯護士	濱田 台兒	鳥取県立博物館
WHY 80-3	野崎 信次郎	鳥取県立博物館
民話のある風景 B	西垣 風江	鳥取県立博物館
腰掛ける裸婦	早川 巍一郎	鳥取県立博物館
浴衣の女	中井 金三	鳥取県立博物館
青年像	浜田 宜伴	鳥取県立博物館
裸婦	林 武	鳥取県立博物館
椅子に座る女	中山 巍	鳥取県立博物館
うづくまる	中間 冊夫	鳥取県立博物館
梅雨時の東郷湖	鍋井 克之	鳥取県立博物館
男の肖像	丹羽 長兵衛	鳥取県立博物館
倅	藤井 禎三郎	鳥取県立博物館
瓦と南瓜	福井 勇	鳥取県立博物館
朝鮮あざみと道子ちゃん	八田 正夫	鳥取県立博物館
船仮粧	船井 美周	鳥取県立博物館
輪廻 -756	ニシオ トミジ	鳥取県立博物館
増幅する 20	福留 章太	鳥取県立博物館

寂(彼方に)	中村 芳雄	鳥取県立博物館
雨滝勝境	白 雲郷	鳥取県立博物館
純銭梅花式茶壺	秦 蔵六(三代)	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
純銭円式茶托	秦 蔵六(三代)	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
郭之義祝賀之図	中住 道雲	鳥取県立博物館
黒味銅小判形茶托	中川 浄益	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
松葉かき	中島 菜刀	鳥取県立博物館
牡丹図	橋本 光風	鳥取県立博物館
青銅牧童床置	秦 蔵六(三代)	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
青銅帛書雁床置	秦 蔵六(三代)	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
雨後稲葉山連峰	林 益堂	鳥取県立博物館
エボシ筥香合	飛来 一閑(十一代)	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
赤繪の壺と向日葵	早川 幾忠	鳥取県立博物館
溪水晩雪図	橋本 獨山	鳥取県立博物館 (君野コレクション)
Untitled	福嶋 敬恭	鳥取県立博物館
ポーズ ※エン トランスホール に展示	長谷川 塊記	鳥取県立博物館

●美術部門テーマ展示 夏休み企画 シリーズ：美術をめぐる場をつくるⅡ

「高田光治 森からの贈りもの」

展示期間：令和2年7月18日～8月30日

作品名	作者	所蔵先
tabibito (粘菌、種子、ミクストメディア他によるインスタレーション)	高田 光治	作家個人

●美術部門コレクション展示「美術家大辞典 鳥取県立博物館版〈近現代編〉ま行以降の美術家」

展示期間：令和3年2月20日～令和3年3月28日

作品名	作者	所蔵先
砂丘	水田 慶仙	鳥取県立博物館
京島原輪違屋	前田 直衛	鳥取県立博物館
童女	持田 卓人	鳥取県立博物館
鶏図	毛利 秋晃	鳥取県立博物館
群鶴飛松図	八百谷 冷泉	鳥取県立博物館
双鯉図	森田 光達	鳥取県立博物館
模古青華橋画鉢	三浦 竹泉(初代)	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
模古青花鳳鶴紋茶鍾(6点組、うち3点)	三浦 竹泉(初代)	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
青磁一葉 香合	三浦 竹泉(二代)	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)

作品名	作者	所蔵先
開拓地	真島 憲二	鳥取県立博物館
武蔵野の春	向井 潤吉	鳥取県立博物館
婦人像	和田 英作	鳥取県立博物館
火鉢(冬の読書)	安岡 信義	鳥取県立博物館
青い岩	松田 晃八	鳥取県立博物館
矩形	山本 兼文	鳥取県立博物館
賀露港	山本 芳智	鳥取県立博物館
九十九里浜	矢野 喜久男	鳥取県立博物館
河口地帯	山本 朔士	鳥取県立博物館

蝙蝠文福寿鉢	三浦 竹軒	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
葛画湯盥	真葛 香山	鳥取県立博物館 (石谷コレクション)
白瓷面取壺	前田 昭博	鳥取県立博物館
まき	吉田 大象	鳥取県立博物館
窓辺	山橋 行雄	鳥取県立博物館
衣ぬう女	森岡 柳蔵	鳥取県立博物館
棟梁の家族	前田 寛治	鳥取県立博物館
静物	前田 寛治	鳥取県立博物館
ランプと古地図	前田 利三	鳥取県立博物館
風景	増田 英一	鳥取県立博物館
モン・プチ	米本 一郎	鳥取県立博物館

一隅（仰むけの人）	山本 恵三	鳥取県立博物館
縁側の子供達	光岡 始	鳥取県立博物館
滞船A	綿貫 恵史	鳥取県立博物館
砂	松尾 多英	鳥取県立博物館
雪白瓷しのぎ大皿（波光）	山下 硯夫	鳥取県立博物館
My Grandmothers/MOEHA	やなぎみわ	鳥取県立博物館
ZONING-S	山口 信郎	鳥取県立博物館
作品 97-5	物部 隆一	鳥取県立博物館
スパイラル ステップス	茗荷 恭介	鳥取県立博物館
響き合うかたち I・II・III	湯村 光	鳥取県立博物館

■エントランスホール展示

作品名	作者	所蔵先
少女	辻 晉堂	鳥取県立博物館
裸形坐像（裸婦坐像）	辻 晉堂	鳥取県立博物館
ポーズ	長谷川塊記	鳥取県立博物館
木樵のからだ	辻 晉堂	鳥取県立博物館

作品名	作者	所蔵先
寒拾	辻 晉堂	鳥取県立博物館
戒五	山本 兼文	鳥取県立博物館
Standing Bed	村岡 三郎	個人
FIGURE IV	清水九兵衛	個人

(2) 企画展

●「輝いていた 60's—1960年代のスポーツと生活文化—」

会 期 令和2年6月6日（土）～7月5日（日）[29日間]

会 場 鳥取県立博物館 第1・2特別展示室

入館者数 4,565人

主 催 鳥取県立博物館

協 力 公益財団法人鳥取県スポーツ協会

入 館 料 一般500円（団体・前売300円）

内 容 東京2020・東京でのオリンピック開催を機に、アジア初となった前大会（昭和39・1964年）を振り返り、日本と鳥取県の1960年代の出来事、当時の生活資料を展示紹介した。当館所蔵資料に合わせて、個人蔵の東京オリンピック関係資料、日本有数の昭和家電コレクターである富永潤さん（三重県伊賀市・昭和ハウス館長）のコレクションをあわせて、大型資料の展示やジオラマを製作して、ひと昔前の豊かな時代「昭和」を体感していただいた。来館者のTwitter投稿によりSNS上で評判となったり、富永館長のYouTubeでの発信効果もあり、会期後半に入場者数が増加したが、新型コロナウイルス感染症による警戒期間の影響で目標入館者数（6,000人）には及ばなかった。

〈関連行事〉

(1) 歴史講座「昭和ハウス・富永館長の昭和レトロ講座（1）」

期 日 6月7日（日）14:00～15:30

会 場 講堂、第二特別展示室

講 師 富永潤氏（昭和ハウス館長・YouTuber）

参加人数 20人

(2) 講演会「鳥取県のオリンピック—陸上競技選手を中心に—」

期 日 6月14日(日) 14:00～15:30

会 場 講堂

講 師 油野利博氏(鳥取大学名誉教授・公益財団法人鳥取県スポーツ協会名誉会長)

参加人数 65人

(3) 講演会「オリンピックがくれたもの」

期 日 6月21日(日) 14:00～15:00

会 場 講堂

講 師 大杖正彦氏(札幌オリンピック出場スキー選手)

参加人数 20人

(4) 歴史講座「60年代の鳥取市街地をぶらり」

期 日 6月28日(日) 14:00～16:00

会 場 鳥取市内

講 師 当館学芸員

参加人数 15人

(5) 歴史講座「昭和ハウス・富永館長の昭和レトロ講座(2)」

期 日 7月5日(日)

会 場 講堂、第二特別展示室

講 師 富永潤氏(昭和ハウス館長・ユーチューバー)

参加人数 25人

〈出品目録〉

第1章 1964

番号	資料名	作成者	作成時代(元号)	所有者
1	東京オリンピック公式ポスター第4号	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年4月	当館
2	東京オリンピック公式ポスター第2号	オリンピック東京大会組織委員会	昭和37年5月	個人蔵
3	東京オリンピック公式ポスター第1号	オリンピック東京大会組織委員会	昭和36年2月	当館
4	東京オリンピック公式ポスター第3号	オリンピック東京大会組織委員会	昭和38年4月	当館
参考1	世界各国オリンピックポスター集	日本書籍出版協会	昭和39年	当館
5	オリンピック大会日程ポスター	清水建設	昭和39年	当館
6	東京オリンピック競技会場 駐車場利用許可証(22種)	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年10月	当館
7	東京オリンピック 開会式公式プログラム	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年10月10日	当館
8	東京オリンピック・オリンピック大賞典障害飛越競技・閉会式公式プログラム	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年10月24日	当館
9	第18回東京オリンピック東京大会 競技別プログラム	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年	当館
10	第18回オリンピック競技大会 開会式 入場券			個人蔵
11	第18回オリンピック競技大会入場券			当館
12	第18回オリンピック競技大会 閉会式 入場券			個人蔵
13	第十八回オリンピック競技大会 入場券目録	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年	当館
14	東京オリンピック 出入整理券	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年10月	当館
15	オリンピック東京大会 通行証	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年	当館

16	オリンピック東京大会 組織委員会名簿	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年9月1日	当館
17	東京オリンピック関係者用ハンドブック	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年	当館
18	オリンピック東京大会組織委員会 手帳	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年	当館
19	オリンピック東京大会 識章バッヂ一覧表	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年	当館
20	第60回IOC報告書(英語版)	オリンピック東京大会組織委員会	昭和38年9月	当館
21	第61回IOC報告書(仏語版)	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年1月	当館
22	オリンピック東京大会 競技日程表	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年9月	当館
23	東京オリンピック 競技参加申込書 記入手引書	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年	当館
24	オリンピック東京大会 国旗取扱要綱	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年8月	当館
25	東京オリンピック 旗のしるべ	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年7月	当館
26	オリンピック東京大会 開閉会式実施要綱	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年	当館
27	東京オリンピック・マラソン・競歩コース図	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年	当館
28	東京オリンピック 施設案内 (TOKYOGAMESFACILITIES)	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年3月	当館
29	東京オリンピック・オリンピック施設(プレスハウス・ プレスセンター)の概要	オリンピック組織委員会・日本住宅 公団・(株)間組	昭和39年	当館
30	第18回オリンピック東京大会 会場管理必携	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年9月	当館
31	オリンピック東京大会 競技会場席割図	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年	当館
32	東京オリンピック選手村会場英文案内図	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年	当館
33	東京オリンピック 競技会場・選手村等内食堂売店等対 策要綱	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年5月	当館
34	東京オリンピック 代々木選手村ガイド(日・英・仏語)	オリンピック東京大会組織実行委員 会選手村本部	昭和39年	当館
35	東京オリンピック 選手村ニュース No.2~10	オリンピック東京大会組織実行委員 会選手村本部	昭和39年9月~10月	当館
36	選手村食券			当館
37	身分証明書			当館
38	鉄道乗車証			当館
39	オリンピック東京大会 バス配車計画表	輸送通信部輸送課(オリンピック東京 大会組織委員会か)	昭和39年6月11日、 9月11日	当館
40	東京オリンピック 競技場行きバス運行図	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年10月	当館
41	オリンピック東京大会 賓客・役員輸送案内	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年9月	当館
42	東京オリンピック 選手輸送(本会場・練習会場)径路 略図	輸送通信部(オリンピック東京大会 組織委員会か)	昭和39年7月3日	当館
43	東京オリンピック 自動車用通行証(明治公園地区)	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年	当館
44	東京オリンピック「開閉会式用明治公園駐車場」地図	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年	当館
45	東京オリンピック 駐車場案内図	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年	当館
46	オリンピック東京大会 駐車場整理員配置計画表	オリンピック東京大会組織委員会警 備交通部	昭和39年9月15日 ~11月5日	当館
47	東京オリンピック開閉会式 東京体育館駐車場利用許可 証	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年	当館
48	東京オリンピック 駐車場(平日)利用許可証(4種一括)	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年10月	当館
49	オリンピック東京大会 組織委員会会報「東京オリンピ ック」	オリンピック東京大会組織委員会	昭和36年3月~ 39年12月	当館
50	日本文化紹介用パンフレット (TOKYOINVITES...)	オリンピック東京大会組織委員会	昭和37年3月	当館
51	XVIII OLYMPIAD OFFICIAL BULLETIN	The Organising Committee for the Games of the XVIII Olympiad	昭和37年~39年	当館
52	東京オリンピック 競技解説 (TOKYO1964)	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年	当館
53	第18回オリンピック東京大会 記録全集, 1964 (Volume I~IV)(4冊一括)	オリンピック東京大会組織委員会	昭和39年	当館
54	オリンピック東京大会 運営のあらまし	オリンピック東京大会組織委員会	昭和40年1月	当館
55	オリンピック東京大会組織委員会 Sayonara Party 招待状	オリンピック東京大会組織委員会 会長 安川第五郎	昭和39年10月15日	当館
56	オリンピア (OLYMPIA) No.26	日本体育協会 東京オリンピック選 手強化対策本部	昭和39年11月1日	当館

57	東京オリンピック競技用品カタログ WELCOM TOKYO1964	JAPAN SPORTING GOODS ASSOCIATION	昭和 39 年	当館
58	解説・政府の窓（東京オリンピックあと五〇〇日）	総理府	昭和 38 年 6 月 15 日	当館
59	オリンピック国民運動推進連絡会議の各部会の運動基本 計画	オリンピック国民運動推進連絡会議	昭和 38 年 12 月 10 日	当館
60	防衛庁発行 東京オリンピック競技会場地図	防衛庁	昭和 39 年 9 月 1 日	当館
61	警察の窓(第二巻第八号)「オリンピック東京大会と警察」	警察庁長官官房総務課	昭和 39 年 9 月 15 日	当館
62	オリンピック東京大会における交通対策実施計画書	オリンピック東京大会組織委員会 警視庁	昭和 39 年	当館
63	オリンピック東京大会組織委員会警備交通部長 山本光 利寄稿「東京オリンピックで無事故の金メダルを」	オリンピック東京大会組織委員会 警備交通部長 山本光利	昭和 39 年	当館
64	オリンピック東京大会 聖火リレーと選手輸送路のお知らせ	警視庁	昭和 39 年	当館
65	警視庁交通部作成「オリンピック東京大会時における交通 情勢ならびに交通対策の概要」	警視庁交通部	昭和 39 年 8 月	当館
66	秋の交通安全運動案内「オリンピック！世界にしめそう 正しい交通」	警視庁・東京交通安全協会	昭和 39 年 9 月 15 日 ～ 24 日	当館
67	オリンピック東京大会 交通規制のお知らせ	警視庁	昭和 39 年 10 月 10 日 ～ 24 日	当館
68	内閣調査室発行「オリンピック外人選手・役員らの日本の 印象」	内閣調査室	昭和 39 年 10 月 19 日	当館
69	内閣調査室発行「新聞・放送 論調速報」(第十八回オリ ンピック競技大会をめぐって)	内閣調査室	昭和 39 年 10 月 19 日	当館
70	東京オリンピック大会関係機関 電話番号簿	日本電信電話公社東京電気通信局	昭和 39 年 8 月 1 日	当館
71	オリンピック東京大会 会場案内地図 (日本語版) (2 部一括)	オリンピック東京大会組織委員会 (発行) ブリジストンタイヤ株式会 社 (提供)	昭和 39 年 8 月	当館
72	オリンピック東京大会 会場案内地図 (外国人向)	オリンピック東京大会組織委員会 (発行) ブリジストンタイヤ株式会 社 (提供)	昭和 39 年 8 月	当館
73	東京オリンピックを見るために - 競技時計の見方・読 み方 -	SEIKO	昭和 39 年	当館
74	オリンピック東京大会陸上競技公式ストップウォッチ			個人蔵
75	IBM とオリンピック (日本語版)	I B M	昭和 39 年	当館
76	IBM とオリンピック (英語版) IBM AT THE XVIII OLYMPIC GAMES	I B M	昭和 39 年	当館
77	日本通運・東京オリンピック関係荷物 輸送用荷札 (3 種)	日本通運	昭和 39 年	当館
78	オリンピックのしおり タクシー乗務員の手帖	(社) 東京旅客自動車指導委員会	昭和 39 年 8 月 1 日	当館
79	雑誌「NHK」(東京オリンピック特集号)	(財) NHK サービスセンター	昭和 39 年 9 月 1 日	当館
80	ThisWeekinTokyo No.1, No.2	ThisWeek in Tokyo.Co 編集 TONOSUKEOHTA	昭和 38 年～39 年	当館
81	ThisWeekinTokyoOLYMPICGUIDE	ThisWeekinTokyo.Co	昭和 39 年	当館
82	全国地方銀行協会発行 オリンピックシリーズ「聖火」 No.16	全国地方銀行協会	昭和 38 年 11 月	当館
83	第一銀行作製 オリンピックの栞 (箱付)	第一銀行	昭和 39 年	当館
84	東京銀行発行 東京オリンピックガイド ROADTOTOKYO	東京銀行	昭和 39 年	当館
85	外国人向け東京オリンピック競技会場地図 MinolutaMap	M i n o l t a	昭和 39 年	当館
86	三菱銀行発行「東京の新道路図・都内 23 区全域 (昭和 39 年 3 月末現在)」	三菱銀行	昭和 39 年	当館
87	首都道路協議会発行 オリンピックマップ	首都道路協議会	昭和 39 年	当館
88	オリンピック東京大会 聖火リレー参加記念章		昭和 39 年	当館
89	第 18 回オリンピック東京大会聖火宿泊記念手拭い	赤碓町	昭和 39 年	個人蔵
90	聖火ランナー用ユニフォーム (ランニング)	ミズノ	昭和 39 年	個人蔵
91	聖火ランナー用ユニフォーム (パンツ)		昭和 39 年	個人蔵
92	聖火トーチ	日軽柳	昭和 39 年	三朝町 役場
93	オリンピック東京大会 参加記念バッヂ	オリンピック東京大会組織委員会	昭和 39 年	当館

94	東京オリンピック 記念バッヂ		昭和 39 年頃	当館
95	東京オリンピック記念 1000 円銀貨		昭和 39 年	当館
96	東京オリンピック記念 100 円銀貨		昭和 39 年	当館
97	東京都作成 東京オリンピック記念職型壁飾り (ペナント)	東京都	昭和 39 年	当館
98	オリンピック賛歌ソノシート			個人蔵
99	キングダーブック『とうきょうオリンピック』			個人蔵
100	幼児の生活指導 ひかりのくに ことはオリンピック			個人蔵
101	東京国際スポーツ大会 記念切手	郵政省	昭和 38 年 10 月 11 日	当館
102	オリンピック東京大会 募金切手 (馬術)	郵政省	昭和 38 年 11 月 11 日	当館
103	オリンピック東京大会 募金切手 (カヌー)	郵政省	昭和 39 年 6 月 23 日	当館
104	東京オリンピック記念 切手寄付品シール・シート		昭和 39 年	当館
参考 2	開催国の記念切手一覧	日本書籍出版協会	昭和 39 年	当館
105	陸上競技など東京オリンピック記念切手			個人蔵
106	東京オリンピック 募金シール	(財) 東京オリンピック資金財団		当館
107	煙草オリンピマス (10 本入)	日本専売公社		当館
108	オリンピック記念たばこパッケージ (ピース 10 本入)			個人蔵
109	大和銀行作製 オリンピックポスター仕様ラベルマッチ箱 (ケース付)	大和銀行	昭和 39 年	当館
110	大韓民国 東京オリンピック参観記念ライター	MaruMan	昭和 39 年	当館
111	オリンピック記念ワッペン			個人蔵
112	第 18 回オリンピック競技大会記念組合せ郵便切手(5 種)			当館
113	オリンピック東京大会記念メダル (金・銀・銅) プラスチックケース入り			当館
114	オリンピック東京大会記念メダル (銅) プラスチックケース入り			当館
115	オリンピック東京大会記念絵葉書 (5 種)			当館
116	ブラジル・ミナス・ゼラエス州知事 ジョゼ・マガリャン・エス・ピント氏の東京オリンピック開催に対する祝辞	ブラジル・ミナス・ゼラエス州知事 ジョゼ・マガリャン・エス・ピント	昭和 39 年 10 月	当館
117	チェコスロバキア・オリンピック委員会発行 CZECHOSLOVAKIA AND THE OLYMPIC GAMES IN TOKYO	チェコスロバキア・オリンピック委員会	昭和 39 年	当館
118	Czecho slovakia GEOGRAPHY	日本チェコスロバキア協会事務局	昭和 39 年 9 月 12 日	当館
119	日本チェコスロバキア協会報 「日本チェコスロバキア」 第 23 号 (東京オリンピックに百三十人の代表団来日)	日本チェコスロバキア協会事務局	昭和 39 年 9 月 12 日	当館
120	東京オリンピック出場 チェコスロバキア選手 写真	チェコスロバキア・オリンピック委員会	昭和 39 年	当館
121	チェコスロバキア製 東京オリンピック記念 壁飾り		昭和 39 年	当館
122	オリンピック東京大会芸術展示ポスター	オリンピック東京大会組織委員会	昭和 39 年 10 月	当館
123	オリンピック東京大会芸術展示 プログラム	オリンピック東京大会組織委員会	昭和 39 年 10 月	当館
124	ソノシート			当館
125	写真集「日本」	富士写真フイルム株式会社	昭和 39 年	当館
126	オリンピック東京大会開会式写真	富士写真フイルム株式会社	昭和 39 年 11 月	当館
127	オリンピック東京大会合唱曲集			当館
128	ファイル			当館
129	オリンピック東京大会参加記念章			当館
130	リボン「式典」			当館
131	オリンピック東京大会職章バッジ			個人蔵
132	オリンピック東京大会参加記念メダル			個人蔵
133	オリンピック東京大会ピンバッジ			個人蔵
134	オリンピック東京大会ベルトバックル			個人蔵
135	オリンピック東京大会ピンバッジ			個人蔵
136	トーチホルダー型ランプ			当館
137	オリンピック東京大会突破記念の盾			当館
138	寄せ書き「祈必勝」			当館

139	寄せ書き「必勝」			当館
140	五輪に寄せ書き「祝岸本幸ちゃん東京オリンピック日本代表選手必勝」			当館
141	寄せ書き「為東京オリンピック岸本幸子選手祈健斗」			当館
142	応援旗「TOKYO1964 岸本幸子サマ。先輩頑張れ！鳥取西校陸上部一同」			当館
143	色紙「西高の後輩はご活躍を祈ってます」			当館
144	激励作文（美和小学校）			当館
145	寄せ書きアルバム（激励作文付き）			当館
146	激励作文（江山中学校）			当館
147	色紙（寄せ書き）			当館
148	色紙「斗志満々」			当館
149	色紙「大なる…」			当館
150	色紙「根性」			当館
151	絵（着地姿）五輪代表選手岸本幸子			当館
152	電報			当館
153	オリンピック東京大会日本代表選手団名簿			当館
154	オリンピック東京大会日本代表選手団名簿			当館
155	第18回東京オリンピック日本代表選手 公式ユニフォーム（プレザー）			当館
156	第18回東京オリンピック日本代表選手 公式ユニフォーム（プレザー）の箱			当館
157	第18回東京オリンピック日本代表選手 陸上競技競技服（ノースリーブ）			当館
158	第18回東京オリンピック日本代表選手 陸上競技ナンバーカード（ゼッケン）			当館
159	第18回東京オリンピック日本代表選手 公式トレーニングユニフォーム（上下）			当館
160	第18回東京オリンピック日本代表選手 陸上競技用スパイク（ランスパーク）			当館
161	第48回全日本選手権靴袋			当館
162	陸上競技用スパイク（プーマ製）			当館
163	陸上競技用スパイク（イマイ製）			当館
164	サイン帳			当館
165	東京オリンピック公式ポスター第2号絵葉書（裏面サイン付き）			当館
166	色紙（日の丸・五輪に寄せ書き）			当館
167	国際親善陸上競技姫路大会プログラム			当館
168	国際交歓陸上競技大会岡山大会プログラム			当館
169	国際交歓陸上競技静岡大会プログラム			当館
170	国際交歓陸上競技静岡大会メダル			当館
171	オリンピック団体見学要領			当館
172	東京オリンピック感想文レポートの下書き。			当館
173	オリンピックを見るために（付会場への案内図）			当館
174	第十八回オリンピック競技大会公式報告書			個人蔵
175	第18回オリンピック競技大会東京都報告書			個人蔵
176	TOKYOOLYMPICSOFFICIALSOUVENIR1964（オフィシャルスーベニア）	（株）電通東京オリンピックス作成委員会	昭和39年9月15日	個人蔵
177	64東京オリンピック			当館
178	増刊アサヒグラフ東京オリンピック			個人蔵
179	『東京オリンピック 文学者の見た世紀の祭典』			個人蔵
180	64オリンピック東京大会速報1～5（毎日新聞社）			個人蔵
181	THEGOLDCOLLECTIONTOKYOOLYMPIAD1964（黛敏郎）			個人蔵
182	記録映画「東京オリンピック」プログラム	東宝株式会社事業部出版課	昭和40年3月10日	当館

183	映画 TOKYOOLYMPIAD1964 (東京オリンピック) 市川崑監督作品			個人蔵
-----	--	--	--	-----

第2章 鳥取県のオリンピック

184	第17回オリンピックローマ大会代表選手式典用制服(ブレザー、スラックス)		昭和35年	鳥取県立境高等学校
185	陸上競技ユニフォーム		昭和35年か	鳥取県立境高等学校
186	第19回オリンピックメキシコシティ大会記念メダル		昭和43年	個人蔵
187	第19回オリンピックメキシコシティ大会記念銀貨		昭和43年	個人蔵
188	日本国旗章(大会バッジ)		昭和43年	個人蔵
189	第19回オリンピックメキシコシティ大会出場記念金盃		昭和43年	個人蔵
190	陸上競技ユニフォーム		昭和43年	個人蔵
191	代表選手トレーニングウェア		昭和43年	個人蔵
192	札幌オリンピック公式ポスター第2号		昭和47年	個人蔵
193	札幌オリンピック公式ポスター第2号		昭和47年	個人蔵
194	感謝状		昭和47年6月10日	個人蔵
195	札幌オリンピック記念ネクタイピン		昭和47年	個人蔵
196	日本国旗章(大会バッジ)		昭和47年	個人蔵
197	イギリスチーム国旗章(大会バッジ)		昭和47年	個人蔵
198	第23回オリンピックロサンゼルス大会陸上競技用やり			鳥取市教育委員会
199	第23回オリンピックロサンゼルス大会陸上競技シューズ			鳥取市教育委員会
200	第23回オリンピックロサンゼルス大会代表選手トレーニングウェア			鳥取市教育委員会
201	第23回オリンピックロサンゼルス大会陸上競技代表選手ユニフォーム(上下)			鳥取市教育委員会
202	ナンバーカード(ゼッケン)			鳥取市教育委員会
203	第23回オリンピックロサンゼルス大会代表選手式典用制服			鳥取市教育委員会
204	第23回オリンピックロサンゼルス大会記念皿			鳥取市教育委員会
205	第25回オリンピックバルセロナ大会代表選手陸上競技(マラソン)ユニフォーム(ナンバーカード付)			八頭町教育委員会
206	第25回オリンピックバルセロナ大会代表選手陸上競技(マラソン)シューズ			八頭町教育委員会
207	第25回オリンピックバルセロナ大会代表選手陸上競技トレーニングウェア			八頭町教育委員会
208	第25回オリンピックバルセロナ大会代表選手渡航用制服(ジャケット、ズボン、ポロシャツ、ズボン)			八頭町教育委員会
209	第25回オリンピックバルセロナ大会代表選手渡航用バッグ(リュックタイプ)			八頭町教育委員会
210	第25回オリンピックバルセロナ大会代表選手陸上競技(マラソン)ユニフォーム(ナンバーカード付)			個人蔵
211	第25回オリンピックバルセロナ大会代表選手陸上競技(マラソン)シューズ			個人蔵

212	第25回オリンピックバルセロナ大会代表選手式典用制服			個人蔵
213	山下佐知子選手使用ダッフルバッグ			個人蔵
214	2006年トリノ大会日本代表選手公式ウェア			
215	2006年トリノ大会日本代表選手公式オーバーコート			
216	2010年バンクーバー大会日本代表選手公式オーバーコート			
217	小林竜一選手グローブ			鳥取県立布勢総合運動公園保管
218	小林竜一選手ソックス			鳥取県立布勢総合運動公園保管
219	第26回オリンピックアトランタ大会日本代表選手公式ユニフォーム			個人蔵
220	第26回オリンピックアトランタ大会日本代表選手式典用制服(ブレザー)			個人蔵
221	第28回オリンピックアテネ大会日本代表選手公式ユニフォーム			個人蔵
222	第28回オリンピックアテネ大会日本代表選手公式トレーニングウェア			個人蔵
223	第28回オリンピックアテネ大会日本代表選手式典用制服(ジャケット)			個人蔵
224	第27回オリンピックシドニー大会日本代表選手自転車競技ユニフォーム			鳥取市歴史博物館
225	第27回オリンピックシドニー大会日本代表選手自転車競技ユニフォーム(ウィンドブレーカー上下)			鳥取市歴史博物館
226	第27回オリンピックシドニー大会日本代表選手自転車競技スポーツバッグ			鳥取市歴史博物館
227	第27回オリンピックシドニー大会日本代表選手自転車競技ヘルメット			鳥取市歴史博物館
228	第29回オリンピック北京大会開会式入場行進ウェア(和田見里美選手着用)			鳥取県立布勢総合運動公園保管
229	第29回オリンピック北京大会渡航用ジャケット・シャツ・スラックス(山本隆弘選手着用)			鳥取県立布勢総合運動公園保管
230	第29回オリンピック北京大会出場山本隆弘選手ユニフォーム			鳥取県立布勢総合運動公園保管
231	第29回オリンピック北京大会出場山本隆弘選手シューズ			鳥取県立布勢総合運動公園保管
232	第29回オリンピック北京大会出場山本隆弘選手サインボール			鳥取県立布勢総合運動公園保管
233	第30回オリンピックロンドン大会出場佐藤雅子選手愛用スティック			鳥取県立布勢総合運動公園保管

234	第30回オリンピックロンドン大会出場佐藤雅子選手サインボール			鳥取県立布勢総合運動公園保管
-----	--------------------------------	--	--	----------------

第3章 昭和モダン建築

	鳥取県内の建築を写真で紹介	藤本竜也氏（前鳥取県文化財保護審議委員）監修		
--	---------------	------------------------	--	--

第4章 その頃、鳥取県では

235	オリンパスオートアイ	オリンパス		当館
236	アルコズーム 8S	アルコ写真工業		当館
237	三協ムビマツト	三協精機		当館
238	キャノンフレックス RP	キャノンカメラ		当館
239	キャノネット	キャノンカメラ		当館
240	オリンパスペン EE	オリンパス		当館
241	ペンタックス S3	旭光学工業		当館
242	ニコマート	日本光学		当館
243	フジカ 35 オートM	富士写真フィルム		当館
244	ペンタックス SV（シルバー）	旭光学工業		当館
245	ペンタックス SV（ブラック）	旭光学工業		当館
246	ミノルタ SR-7	千代田光学精工		当館
247	フジカドライブ	富士写真フィルム		当館
248	オリンパスペン F	オリンパス		当館
249	キャノンデミ（ブラック）	キャノンカメラ		当館
250	キャノンデミ（ブルー）	キャノンカメラ		当館
251	キャノンダイヤル 35	キャノンカメラ		当館
252	オリンパスペン D 2	オリンパス		当館
253	ペンタックス SP	旭光学工業		当館
254	ペンタックス SPF	旭光学工業		当館
255	トプコンユニ	東京光学		当館
256	オリンパスペン D 3	オリンパス		当館
257	キャノンベリックス QL	キャノンカメラ		当館
258	オリンパスペン FT	オリンパス		当館
259	オリンパスペン FT（ブラック）	オリンパス		当館
260	ミノルタ SRT101	千代田光学精工		当館
261	コニカ C 35	小西六写真工業		当館
262	ヤシカエレクトロ 35 G T	ヤシカ		当館
263	ペンタックス SL	旭光学工業		当館
264	ニコノス II	日本光学		当館

第5章 わたしの 60年代

265	ダイハツミゼット			昭和ハウス
266	スバル 360			智頭石油
267	テレビ受像機（TVK- II 型）	東大無線	昭和 27 年頃	昭和ハウス
268	トリネスコープ方式テレビ受像機	三菱		昭和ハウス
269	観音開きコンソール型テレビ受像機	ナショナル（フィリップス）		昭和ハウス
270	日立製カラーテレビ受像機	日立	昭和 35 年	昭和ハウス

271	ナショナル製テレビ受像機 (T-1447)	ナショナル	昭和 33 年	昭和 ハウス
272	商店向電気冷蔵庫 (NR-840)	ナショナル	昭和 33 年	昭和 ハウス
273	洗濯機攪拌式 (TYPE103)	ナショナル	昭和 28 年頃	昭和 ハウス
274	洗濯機噴流式	サンヨー		昭和 ハウス
275	洗濯機噴流式	三菱		昭和 ハウス
276	ラジオ	東芝		昭和 ハウス
277	ラジオ	ナショナル		昭和 ハウス
278	ラジオ	ナショナル		昭和 ハウス
279	ラジカセ			昭和 ハウス
280	ジャー			昭和 ハウス
281	魔法瓶ポット (VA1900)	象印	昭和 40 年代か	昭和 ハウス
282	魔法瓶ポット (VNA1300)	象印	昭和 40 年代か	昭和 ハウス
283	電気やかん (PL-601)	ナショナル		昭和 ハウス
284	ゆで卵器 (BC-301)	東芝		昭和 ハウス
285	二頭式扇風機 (FSW2564)	富士電機		昭和 ハウス
286	扇風機	ナショナル		昭和 ハウス
287	丹頂型公衆電話ボックス			昭和 ハウス
288	たばこ自動販売機			昭和 ハウス
289	トーストサンド自動販売機			昭和 ハウス
290	カップフード自動販売機			昭和 ハウス
291	カップヌードル自動販売機 (初期型)			昭和 ハウス
292	かき氷自動販売機			昭和 ハウス
293	コカコーラ瓶自動販売機 (吊るしタイプ)			昭和 ハウス
294	明治ソーダ缶ジュース自動販売機			昭和 ハウス
295	ムーバー (遊具) バス			昭和 ハウス
296	ムーバー (遊具) フネ			昭和 ハウス
297	ムーバー (遊具) 白鳥			昭和 ハウス
298	ムーバー (遊具) 気球			昭和 ハウス
299	ムーバー (遊具) スポーツカー			昭和 ハウス
300	ムーバー (遊具) パンダ			昭和 ハウス
301	ムーバー (遊具) カンガルー			昭和 ハウス

302	ムーバー（遊具）車			昭和 ハウス
303	ムーバー（遊具）電車			昭和 ハウス
304	ムーバー（遊具）シマウマ			昭和 ハウス
305	ムーバー（遊具）ペリカン			昭和 ハウス
306	三波春夫「百年音頭」	テイチクレコード	昭和39年4月	当館
307	鈴木正夫「貝殻節」喜久丸「三朝小唄」	日本ビクター	昭和39年	当館
308	千昌夫「星影のワルツ」	ミノルフォン	昭和41年3月	当館
309	水前寺清子「いつでも君は」	クラウンレコード	昭和42年10月	当館
310	友竹正則「巨人の星」石川進「天才バカボン」	キングレコード	昭和42年	当館
311	ピンキーとキラーズ「恋の季節」	クラウンレコード	昭和43年	当館
312	ザ・ジェノバ「サハリンの灯は消えず」	クラウンレコード	昭和43年	当館
313	ザ・テンプターズ「神様お願い」	フィリップスレコード	昭和43年3月	当館
314	ザ・ロビンフッズ「落第生バンザイ」	コロムビアレコード	昭和43年3月	当館
315	ザ・ワイルドワンズ「バラの恋人」	東芝音楽工業株式会社	昭和43年4月	当館
316	矢吹健「あなたのブルース」	テイチク株	昭和43年5月	当館
317	水前寺清子「三百六十五歩のマーチ」ワン、ツー、パンチ	クラウンレコード	昭和38年11月	当館
318	中山千夏「あなたの心に」	ビクターレコード	昭和44年	当館
319	佐良直美「いいじゃないの幸せならば」	ビクターレコード	昭和44年	当館
320	テレビ漫画「悟空の大冒険」から①悟空がやってくる②悟空の大冒険マーチ③悟空が好き好き	コロムビアレコード 虫プロダクション	昭和42年3月	当館
321	津山洋子「新宿そだち／愛情の街」	ミノルフォン	昭和42年	当館
322	ミュージカル・ヒットメロディー「おお美しき朝」ほか	ビクターレコード	昭和39年	当館
323	バーブ佐竹「女心の唄／白い太陽」	キングレコード	昭和39年	当館
324	ザ・ベンチャーズ「霧の8マイル／二人の銀座」	リバティ	昭和41年	当館
325	森進一「港町ブルース」	ビクターレコード	昭和44年	当館
326	水前寺清子「どうどうどっこの唄／かざりある身の」	クラウンレコード	昭和42年8月	当館
327	梓みちよ「こんにちは赤ちゃん」	キングレコード	昭和38年	当館
328	松尾和子「お座敷小唄／マヒナのさのさ」	ビクターレコード	昭和39年	当館
329	佳川ヨコ「激情／銀座のマリア」	ビクターレコード	昭和42年	当館
330	荒木一郎「空に星があるように」	ビクターレコード	昭和41年	当館
331	コロちゃんデラックス「月の砂漠／夢のお馬車／りんごのひとりごと／かなりや」	コロムビアレコード	昭和41年10月	当館
332	三沢あけみ・和田弘とマヒナスターズ「島のブルース」ほか、伊藤アイコ「さいはての慕情」	ビクターレコード	昭和38年	当館
333	橋幸夫「恋をするなら／孤独のブルース」	ビクターレコード	昭和39年	当館
334	ドリフターズ「ドリフターズのおわらい新幹線」	小学館	昭和39年か	当館
335	船越英二・山本富士子出演「女妖」			当館
336	石原裕次郎・芦川いずみ出演「あじさいの歌」			当館
337	橋幸夫「磯ぶし源太」			当館
338	植木等「サラリーマンどんと節」・「気楽な稼業と来たもんだ」			当館
339	植木等「スーダラ節」・「わかっちゃいるけどやめられねえ」			当館
340	本郷功次郎「釈迦」			当館
341	市川雷蔵「妖僧」・若尾文子「越前竹人形」			当館
342	船越英二 他「大怪獣ガメラ」			当館
343	勝新太郎「酔いどれ博士」			当館
344	年賀チラシ			当館
345	週刊読売スポーツ（表紙：長嶋茂雄）		昭和39年	当館
346	週刊読売スポーツ（表紙：王貞治）		昭和39年	当館

347	少年サンデー（表紙：長嶋、王選手）		昭和41年6月5日発行	当館
348	とびだすえほん「巨人の星 No.1」		昭和44年	当館
349	こいでのごろく「巨人の星」		昭和44年	当館
350	講談社のテレビ絵本「ウルトラQ ガラモンのしゅうげきのまき」		昭和42年7月25日発行	当館
351	とびだすえほん「ウルトラ大行進」		昭和43年	当館
352	とびだすえほん「怪獣オンパレード」		昭和45年	当館
353	サンデーコミックス「ジャングル大帝」		昭和41年	当館
354	小コミックス「パーマン」		昭和42年	当館
355	月刊漫画ガロ		昭和42～43年	当館
356	こいでのごろく「ウメ星デンカ」		昭和43年以降	当館
357	こいでのごろく「ひみつのアッコちゃん」		昭和43年以降	当館
358	とびだすえほん「天才バカボン」		昭和46年	当館
359	とびだすえほん「アタック No1 ライバルをたおせ」		昭和46年8月20日発行	当館
360	うごく音の出るえほん「シルバー仮面ジャイアント」		昭和46年～47年	当館
361	うごく音の出るえほん「ミラーマン」		昭和46年～47年	当館
362	紙芝居「仮面ライダー怪人大しゅうげき」		昭和46年以降	当館
363	十二支合（最新十二支合わせ）			当館
参考3	だっこちゃん復元2001年（参考）			当館
364	ジャイアントロボめがね、お面			当館
365	拳銃のおもちゃ			当館
366	おはじき			当館
367	ニッチング2			当館
368	舟木一夫島山みどり七夕祭短冊			当館
369	飛行機・ゴム動力式 2点			当館
370	飛行機 板材			当館
371	飛行機 プラ			当館
372	戦車 シルバーエアクラフトタンク			当館
373	戦車 M47 シルバータンク			当館
374	ブリキのおもちゃ「ジャンボジェットでんしゃまわり」 「機関車」 「ファイアーチーフ」 「汽車」 「金魚」 「亀」 「猿」 「かえる」 「猫」 「にわとり」 「せみ」 「くま」 「ふくろう」			当館

県民参加型企画「わたしの60年代」

	東京オリンピック写真帖、オープンリール型テーブルコーダーほか			磯江克人さん蔵
	聖火リレーオリンピック写真（県庁前）			北村敏幸さん蔵
	朝日新聞縮刷版（東京オリンピック版）			中尾晃信さん蔵
	自動二輪で日本一周した際の写真帖と羽織			田中作治さん蔵

	万博公式ガイドブック			清末幸久さん蔵
	ナショナル電気オルガン			濱橋明代さん蔵
	ペコちゃん人形			田村由美子さん蔵
	ペコちゃん（2体）			藤田信良さん蔵
	少年サンデー、明星			遠藤浩明さん蔵
	農家暦、農協とっとり、代用教員の書類、昭和廿九年家庭重寶、出資証書			竹内誠さん蔵
	ラジオ			植村明美さん蔵
	ミシン			村上一正さん蔵
	アイロン			福代宏さん蔵
	オリンピック記念切手			大嶋陽一さん蔵
	修学旅行で買った土産と100円札の思い出のほか、当時集めていたものいろいろ…			清水信生さん蔵

●「こんにちは変形菌！ とってもふしぎな生きものです。」

会 期 令和2年7月18日（土）～8月30日（日）[44日間]

会 場 鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室

入館者数 10,455人

主 催 変形菌展実行委員会（鳥取県立博物館、山陰中央テレビジョン放送株式会社）

協 催 国立科学博物館、宮内庁、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、南方熊楠記念館、南方熊楠顕彰館、和歌山県立自然博物館、相模原市博物館、鳥取大学、北海道大学、東北大学、大山チャンネル、日本変形菌研究会

協 賛 日本通運株式会社・株式会社モリックスジャパン・三和商事株式会社・株式会社吉備総合電設株式会社鳥取県情報センター

入 館 料 一般700円（団体・前売・大学生・70歳以上500円）

※次の方は無料：高校生以下、学校教育活動での引率者、障がいのある方・難病の方・要介護者等及びその介護者

内 容 変形菌は動物でも植物でもなく、「菌」という字がつくが菌類（カビやキノコ）や細菌でもない。大きくはアメーバの仲間で、アメーバ状の姿（変形体）からキノコのような姿（子実体）に変身する、ふしぎな生きものである。本企画展では、ふしぎな生きものである変形菌をより多くの人に知ってもらうため、さまざまな標本や模型をはじめ、大型写真や生態映像をふんだんに取り入れて、変形菌が形を変えていく様子や食べたり食べられたりする様子などを紹介した。理解を助けるため、変形菌をモチーフにした妖精のキャラクターをガイド役として補助的な解説も行った。また、南方熊楠や昭和天皇などによる昭和初期の変形菌研究のようすや、近年の理工学分野への利用なども紹介し、幅広く変形菌について学んでいただいた。

〈展 示〉

1 こんにちは変形菌

変形菌ジオラマ、意外に身近な変形菌（鳥取県産の変形菌標本）、変形菌の体のつくり、変形菌の一生、変形菌の大まかな分類と代表する種、生きた変形体、食物網や生態系の中の変形菌など

2 日本の変形菌研究の始まり

南方熊楠や昭和天皇の研究に関する資料や標本、人々と変形菌を近づけた書物、水木しげる著『猫楠』など

3 かしこい変形菌

変形菌が迷路を解く動画、巨大迷路体験、変形菌が描く交通ネットワーク、変形菌の心を持つロボットなど

4 変形菌で楽しむ

変形菌フィギュア、変形菌曼荼羅、変形菌が登場する漫画、変形菌の擬人化イラストなど

展示点数 378点

〈関連行事〉

(1) 野外観察会「ふしぎな生きもの変形菌観察会」

日 時 6月21日(日) 10:00～15:00

会 場 鳥取県立博物館会議室

講 師 高橋和成氏、原紺勇氏（日本変形菌研究会会員）

参加人数 13人

(2) 講演会「ときめく変形菌」講師：高野丈氏（自然写真家）

「単細胞の賢さを探る」講師：中垣俊之氏（北海道大学教授）

日 時 7月25日(土) 13:00～15:40

会 場 鳥取県立博物館講堂

参加人数 125名（満席：新型コロナウイルス感染拡大防止のため入場制限）

(3) ワークショップ「リアル変形菌フィギュアをつくろう」 ※毎週土曜日はアートの日と連携

日 時 8月1日(土) 10:00～12:00、14:00～16:00（2回実施）

会 場 鳥取県立博物館会議室

講 師 今村知世子氏（日本変形菌研究会会員）

参加人数 計34名

(4) 講演会 トークライブ「世界は変形菌でいっぱいだ フシギでカワイイ変形菌のお話」

日 時 8月2日(日)

会 場 鳥取県立博物館講堂

講 師 増井真那氏（変形菌研究歴13年の大学1年生）

参加人数 100名

●「ザ・フィンランドデザイン展 ～自然が宿るライフスタイル～」

会 期 令和2年10月10日(土)～11月15日(日) [36日間]

※休館日：10月26日(月) 開館日数36日間

会 場 鳥取県立博物館 第1・2特別展示室

入館者数 10,890人

主 催 鳥取県立博物館、NHK 鳥取放送局、NHK エンタープライズ中国

特別協力	HAM ヘルシンキ市立美術館
後援	フィンランド大使館
協力	フィンエアー、フィンエアーカーゴ
協賛	株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社、鳥取県情報センター、株式会社日本通運、株式会社モリックスジャパン
企画協力	S2
制作協力	NHK プロモーション
入館料	一般 1000 円（団体 800 円）
	※次の方は無料：大学生以下、学校教育活動での引率者、障がいのある方・難病の方・要介護者等及びその介護者、70 歳以上
内 容	フィンランド同様に自然豊かで優れた手仕事の残る鳥取県で、四季の変化の激しい自然環境と共存するフィンランドの人々の豊かな生活思想と、温かみと洗練さを兼ね備えたそのデザインの世界に触れていただくため、山陰では珍しいデザインの企画展、しかも北欧という日本人にとって憧れの地の文化に触れられる機会を提供した。潜在的なデザイン愛好層を刺激して来場者増を実現し、博物館のリピーター育成につなげることも企図した。展示内容は、200 年にわたりフィンランドという国を支えた染織、およびガラス工芸の分野の名品を中心に、彩りに溢れ、創造性に満ちた各種のデザイン・プロダクトおよび絵画類 263 点と、31 点の関係資料で構成した。出品作品は、令和元年度に NHK プロモーションとともに行った海外出張の際に調査したフィンランドのタンペレ歴史博物館、コレクション・カッコネン、ヘルシンキ・デザイン・ミュージアムのコレクションを中心に選定し、コロナ禍の中ではあったが作品を予定通り空輸、当館会場に搬入し展示した。

〈関連行事〉

(1) 記念レクチャー「フィンランドデザインの魅力」

日 時 10 月 10 日（土）14：00～15：30
 会 場 鳥取県立博物館講堂
 講 師 迫村裕子氏（企画協力会社 S2 代表）
 参加人数 43 人

(2) 記念講演&ワークショップ「フィンランドの文化に触れる」

講 師 アンナ＝マリア・ウィルヤネン氏（フィンランドセンター所長）
 進行・通訳 迫村裕子氏（企画協力会社 S2 代表）

講演「フィンランドの女性たちのライフスタイル」

日 時 10 月 17 日（土）10：30～12：00
 会 場 鳥取県立博物館講堂
 参加人数 62 人

ワークショップ「編み物をしながら、フィンランド流おうち時間を体験」

日 時 10 月 17 日（土）14：00～16：00
 会 場 鳥取県立博物館会議室
 参加人数 20 人

(3) スペシャルアートシアター「かもめ食堂」

日 時 10月24日(土) 14:00～15:50
会 場 鳥取県立博物館講堂
参加人数 140人

(4) ギャラリートーク (担当学芸員による展示解説)

日 時 10月31日(土) 14:00～15:00
会 場 企画展会場
参加人数 48人

(5) ワークショップ「挑戦！私もテキスタイルデザイナー」

日 時 11月7日(土) 14:00～16:30
会 場 企画展会場、鳥取県立博物館会議室
講 師 ワークショップづくり隊、三浦努(当館美術振興課長)
参加人数 15人

(6) アートセミナー「この展覧会を準備するなかで考えたこと ～デザインの根底にあるものから文化施設のあり方まで」

日 時 11月14日(土) 14:00～15:30
会 場 鳥取県立博物館講堂
講 師 三浦努(当館美術振興課長)
参加人数 29人

〈出品目録〉

No.	製品名・作品名	デザイナー・作家名	制作年	素材・技法名	製造者名	所蔵先
1	ヘルシンキ400年記念ポスター	グンナル・フォルストロム	1950	リトグラフ	フレンケリン印刷所	ヘルシンキ市立博物館
2	フィンランドツーリスト協会のポスター「コリ国立公園にて」	オラヴィ・ヴェブサライネン	1948	リトグラフ	テイルグマン社	ヘルシンキ市立博物館
3	フィンランドツーリスト協会のポスター「冬-夏」	エルッキ・ホルツタ	1948	リトグラフ	フィンランド文学協会出版	ヘルシンキ市立博物館
4	観光用ポスター	ペルーオロフ・ニュストロム	1959	リトグラフ	テイルグマン社	ヘルシンキ市立博物館

No.	製品名・作品名	デザイナー・作家名	制作年	素材・技法名	Collection / Credit line	資料画像所蔵先
—	風景	フレッド・ルネベリ	1960's	デジタルイメージ3点	The Finnish Museum of Photography	フィンランド国立写真美術館
P-01	ロマンスの地	ヘルゲ・メテル＝ボスグストロム	1950s	ポスター	© Helger Methers-Borgström & Come to Finland Publishing	
P-02	美しきサイマー！	パウル・ソーデルストロム、ヨーラン・エンゲルンド	1939	ポスター	© Paul Söderström, Göran Englund & Come to Finland	

P-03	ヘラジカ	エリック・ブルーン	1950s	ポスター	© Erik Bruun & Come to Finland Publishing	
P-04	サーモンフライト	エリック・ブルーン	1958	ポスター	© Erik Bruun & Come to Finland Publishing	
P-05	サイマー (湖)	ヴィルヨ・ピエティネン	1930's	インクジェットプリント	The Finnish Museum of Photography	フィンランド国立写真美術館
P-06	マーニンカ (フィンランド)	オッツォ・ピエティネン	1938	インクジェットプリント	The Finnish Museum of Photography	フィンランド国立写真美術館
P-07	古い松の木	ペル・ウロフ・ヤンソン	1950-1969	インクジェットプリント	The Finnish Museum of Photography ©Per Olov Jansson	フィンランド国立写真美術館
P-08	霜	ペル・ウロフ・ヤンソン		インクジェットプリント	The Finnish Museum of Photography ©Per Olov Jansson	フィンランド国立写真美術館
P-09	3つの柱	ペル・ウロフ・ヤンソン		インクジェットプリント	The Finnish Museum of Photography ©Per Olov Jansson	フィンランド国立写真美術館
P-10	ウフトウア, カレリア	ペル・ウロフ・ヤンソン	1942	インクジェットプリント	The Finnish Museum of Photography ©Per Olov Jansson	フィンランド国立写真美術館
P-11	トーベ・ヤンソン、ブレットシャー島で泳ぐ (ベッリングゲ、フィンランド) I	ペル・ウロフ・ヤンソン	1945-46	インクジェットプリント	HAM Helsinki Art Museum ©Per Olov Jansson	ヘルシンキ市立美術館
P-12	トーベ・ヤンソン、ブレットシャー島で泳ぐ (ベッリングゲ、フィンランド) II	ペル・ウロフ・ヤンソン	1945-46	インクジェットプリント	HAM Helsinki Art Museum ©Per Olov Jansson	ヘルシンキ市立美術館
P-13	トーベ・ヤンソン、ブレットシャー島で泳ぐ (ベッリングゲ、フィンランド) III	ペル・ウロフ・ヤンソン	1945-46	インクジェットプリント	HAM Helsinki Art Museum ©Per Olov Jansson	ヘルシンキ市立美術館
P-14	ハンマルステン・ヤンソン、ベッリングゲ群島プリンシャーにて	ペル・ウロフ・ヤンソン	c. 1969	インクジェットプリント	HAM Helsinki Art Museum ©Per Olov Jansson	ヘルシンキ市立美術館
P-15	コリ (フィンランド)	エルッキ・レイマ	1945-1955	インクジェットプリント	The Finnish Museum of Photography	フィンランド国立写真美術館
P-16	コリ (フィンランド)	ピエティネン	1945-1950	インクジェットプリント	The Finnish Museum of Photography	フィンランド国立写真美術館
P-17	コリ (フィンランド)	撮影者不詳	1945-1950	インクジェットプリント	The Finnish Museum of Photography	フィンランド国立写真美術館
P-18	コリ (フィンランド)	ヘイッキ T. レームスト	1950's	インクジェットプリント	The Finnish Museum of Photography	フィンランド国立写真美術館
P-19	ブンカハルユ (フィンランド)	撮影者不詳	1940-1959	インクジェットプリント	The Finnish Museum of Photography	フィンランド国立写真美術館

P-20	ブンカハルユ (フィンランド)	フレッド・ルネベリ		インクジェットプリント	The Finnish Museum of Photography	フィンランド国立写真美術館
P-21	ブンカハルユ (フィンランド)	ヘインリヒ・イフランド	1930's	インクジェットプリント	The Finnish Museum of Photography	フィンランド国立写真美術館

第1章 オーガニックなイメージ

No.	製品名・作品名	デザイナー・作家名	制作年	素材・技法名	製造者名	所蔵先
5	スツール 60	アルヴァ・アアルト	1940s	木 (白樺)	木工家具・建築設備社 (トゥルク)	アルヴァ・アアルト財団 Alvar Aalto Design Collection, Alvar Aalto Museum
6	41 アームチェア パイミオ	アルヴァ・アアルト	1940sと推測	木 (白樺) 合板	木工家具・建築設備社 (トゥルク)	アルヴァ・アアルト財団 Alvar Aalto Design Collection, Alvar Aalto Museum
7	キャンチレバーチェア 31 (現:42 アームチェア) /パイミオサナトリウム竣工時のオリジナル製品	アルヴァ・アアルト	1931	木 (白樺) 合板	木工家具・建築設備社 (トゥルク)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
8	「サヴォイ」花瓶と鋳型	アルヴァ・アアルト		ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
9	「サヴォイ」花瓶	アルヴァ・アアルト	1936	ガラス	カルフラガラス製作所	コレクション・カッコネン
10	鳥	タピオ・ヴィルッカラ		ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
11	悪魔のゆりかご	ティモ・サルパネヴァ	1951	ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
12	悪魔の拳 (悪魔のかくはん器)	ティモ・サルパネヴァ	1951	ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
13	地衣類	タピオ・ヴィルッカラ	1950-64	ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
13	地衣類	タピオ・ヴィルッカラ	1950-64	ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
13	地衣類	タピオ・ヴィルッカラ	1950-64	ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
14	ラッピ (ラップランド)	カイ・フランク	1948	綿 レーヨン	ヘルシンキ・アート・ダイワークス社	フィンランド・デザイン・ミュージアム
15	ドムス チェア	イルマリ・タピオヴァーラ	1946	木 (白樺) 合板	ケラヴァ木工	フィンランド・デザイン・ミュージアム
16	明るい秋の日	サム・ヴァンニ	1949	油彩 キャンヴァス		ヘルシンキ市立美術館 The Katriina Salmela-Hasan and David Hasan Collection
17	森の景色	サム・ヴァンニ	1954	リトグラフ		ヘルシンキ市立美術館
18	風景 (木)	アハティ・ラヴォネン	1956	油彩 キャンヴァス		個人蔵
19	屋根裏倉庫	ウント・ブサ	1957	油彩 キャンヴァス		ヘルシンキ市立美術館 The Katarina and Leonard Bäcksbacka Collection
20	「ティンバー (木材)」テーブルクロス	ドラ・ユング	1956	麻 (ダマスク織)	タンペッラ社	フィンランド・デザイン・ミュージアム

No.	製品名・作品名	デザイナー・作家名	制作年	素材・技法名	Collection / Credit line	資料画像所蔵先
P-22	カルフラガラス製作所のためのデザインコンペティション資料 (「サヴォイ」花瓶)	アルヴァ・アアルト	1932	原画: グアッシュ 紙	Rauno Träskelin / Design Museum	フィンランド・デザイン・ミュージアム / Photo:Rauno Träskelin
—	サイマー (湖) ※部分	エイノ・マキネン	1950's	インクジェットプリント	The Finnish Museum of Photography	フィンランド国立写真美術館

—	アルヴァ・アアルトのバ ビリオン（ニューヨーク 万博オーロラウォール） ※部分	エツラ・ストレル	1939	インクジェット プリント	The Finnish Museum of Photography	フィンランド国立写真美 術館
---	--	----------	------	-----------------	---	-------------------

第2章 機能的なフォルム

No.	製品名・作品名	デザイナー・作家名	制作年	素材・技法名	製造者名	所蔵先
21	「ボルゲブリック」ボウル（グリーン）	アイノ・アアルト	1932	ガラス	カルフラガラス製作所	コレクション・カッコネン
21	「ボルゲブリック」カップ（グリーン）	アイノ・アアルト	1932	ガラス	カルフラガラス製作所	コレクション・カッコネン
21	「ボルゲブリック」花瓶（ブラウン）	アイノ・アアルト	1932	ガラス	カルフラガラス製作所	コレクション・カッコネン
21	「ボルゲブリック」ボトル（ブラウン）	アイノ・アアルト	1932	ガラス	カルフラガラス製作所	コレクション・カッコネン
21	「ボルゲブリック」蓋つきボウル（クリア）	アイノ・アアルト	1932	ガラス	カルフラガラス製作所	コレクション・カッコネン
21	「ボルゲブリック」グラス（ブルー）	アイノ・アアルト	1932	ガラス	カルフラガラス製作所	コレクション・カッコネン
21	「ボルゲブリック」ジャー（ブルー）	アイノ・アアルト	1932	ガラス	カルフラガラス製作所	コレクション・カッコネン
22	ピッチャー 1618	サーラ・ホベア	1954	ガラス	ヌータヤルヴィガラス製作所	フィンランド・デザイン・ミュージアム
23	グラス 1718	サーラ・ホベア	1954	ガラス	ヌータヤルヴィガラス製作所	フィンランド・デザイン・ミュージアム
23	グラス 1718	サーラ・ホベア	1954	ガラス	ヌータヤルヴィガラス製作所	フィンランド・デザイン・ミュージアム
23	グラス 1718	サーラ・ホベア	1954	ガラス	ヌータヤルヴィガラス製作所	フィンランド・デザイン・ミュージアム
24	表紙デザイン（アルッキ テヘティ 9-10/1952）		1952	雑誌		個人蔵
25	表紙デザイン（フォーム・ マガジン 1/1948）	タピオ・ヴィルッカラ	1948	雑誌		個人蔵
26	「AH」蓋つきボウル	クルト・エクホルム	1935	陶器（ファイア ンス焼）	アラビア製陶所	フィンランド・デザイン・ミュージアム
26	「AH」角ボウル	クルト・エクホルム	1935	陶器（ファイア ンス焼）	アラビア製陶所	フィンランド・デザイン・ミュージアム
26	「AH」角ボウル	クルト・エクホルム	1935	陶器（ファイア ンス焼）	アラビア製陶所	フィンランド・デザイン・ミュージアム
26	「AH」ディナープレート	クルト・エクホルム	1935	陶器（ファイア ンス焼）	アラビア製陶所	フィンランド・デザイン・ミュージアム
26	「AH」スーププレート	クルト・エクホルム	1935	陶器（ファイア ンス焼）	アラビア製陶所	フィンランド・デザイン・ミュージアム
27	「BA キルタ」クリーマ ー（イエロー）	カイ・フランク	1952-75	陶器（ファイア ンス焼）	アラビア製陶所	ヘルシンキ市立博物館
27	「BA キルタ」シュガー ボウル（イエロー）	カイ・フランク	1952-75	陶器（ファイア ンス焼）	アラビア製陶所	ヘルシンキ市立博物館
27	「BA キルタ」ボウル（ホ ワイト）	カイ・フランク	1952-75	陶器（ファイア ンス焼）	アラビア製陶所	ヘルシンキ市立博物館
27	「BA キルタ」ピッチャー （ホワイト）	カイ・フランク	1952-75	陶器（ファイア ンス焼）	アラビア製陶所	ヘルシンキ市立博物館
27	「BA キルタ」ボウル（ブ ラック）	カイ・フランク	1952-	陶器（ファイア ンス焼）	アラビア製陶所	ヘルシンキ市立博物館
27	「BA キルタ」カップ & ソーサー（イエロー）	カイ・フランク	1952-75	陶器（ファイア ンス焼）	アラビア製陶所	ヘルシンキ市立博物館
27	「BA キルタ」ボウル（グ リーン）	カイ・フランク	1952-75	陶器（ファイア ンス焼）	アラビア製陶所	ヘルシンキ市立博物館
28	アラビア製陶所「キルタ」 製品ポスター		1954	リトグラフ	ヴァルツィラ グループ社	ヘルシンキ市立博物館

29	アラビア製陶所製品ポスター		1954	リトグラフ	ヴァルツィラグループ社	ヘルシンキ市立博物館
30	ヌータヤルヴィガラス製作所製品ポスター		1954	リトグラフ	ヴァルツィラグループ社	ヘルシンキ市立博物館
31	ヌータヤルヴィガラス製作所製品ポスター		1954	リトグラフ	ヴァルツィラグループ社	ヘルシンキ市立博物館
32	メイポール	ナニー・スタイル	1956	ガラス	リーヒマエンラシ社	コレクション・カッコネン
33	メイポール	ナニー・スタイル	1956	ガラス	リーヒマエンラシ社	コレクション・カッコネン
34	メロン	ナニー・スタイル	1960	ガラス	リーヒマエンラシ社	コレクション・カッコネン
35	マイター (司教冠)	ナニー・スタイル	1955-1959	ガラス	リーヒマエンラシ社	コレクション・カッコネン
36	「線の遊び」 ナブキン	ドラ・ユング	1957	麻 (ダマスク織)	タンペッラ社	タンペレ市立歴史博物館
37	「線の遊び」のためのドロイング	ドラ・ユング	1957	紙 インク	タンペッラ社	タンペレ市立歴史博物館
38	「線の遊び」 テーブルクロス、モデル 578	ドラ・ユング	1957-1974	麻 (ダマスク織)	タンペッラ社	タンペレ市立歴史博物館

No.	製品名・作品名	デザイナー・作家名	制作年	素材・技法名	Collection / Credit line	資料画像所蔵先
P-23	ヘルシンキアートホールで開催したオルナモ主催の展覧会ポスター「暮らしのための美」	ホルゲル・エルケレンツ	1949		Dialab, Helsinki / Design Museum	フィンランド・デザイン・ミュージアム / Photo:Dialab, Helsinki
P-24	カルフラ-イッタラ・ガラス製作所の製品	オッツォ・ピエティネン	1957	インクジェットプリント	The Finnish Museum of Photography	フィンランド国立写真美術館

第3章 モダニズムのアイコン

No.	製品名・作品名	デザイナー・作家名	制作年	素材・技法名	製造者名	所蔵先
39	杏茸	タピオ・ヴィルッカラ	1946	ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
40	バラの花びら	グンネル・ニューマン	1948	ガラス	ヌータヤルヴィガラス製作所	コレクション・カッコネン
41	花瓶「オランダカイウ」	グンネル・ニューマン	1946	ガラス	リーヒマエンラシ社	コレクション・カッコネン
42	蘭	ティモ・サルパネヴァ	1953	ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
43	花瓶	タピオ・ヴィルッカラ	1947-1959	ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
43	花瓶	タピオ・ヴィルッカラ	1947-1959	ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
44	竹	タピオ・ヴィルッカラ	1952	ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
44	竹	タピオ・ヴィルッカラ	1952	ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
45	葉	タピオ・ヴィルッカラ	1957	ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
46	ボウル	タピオ・ヴィルッカラ	1957	ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
47	東京	タピオ・ヴィルッカラ	1953 / 1954	ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
47	東京	タピオ・ヴィルッカラ	1953 / 1954	ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
48	鳥の木	ヘレナ・トゥネル	1953	ガラス	リーヒマエンラシ社	コレクション・カッコネン
49	卵の殻	グンネル・ニューマン	1956	ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
50	座る鳥	ティモ・サルパネヴァ	1954	ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン

51	眠る鳥	ティモ・サルパネヴァ	1957	ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
52	鮎	カイ・フランク	1954	ガラス	ヌータヤルヴィガラス製作所	コレクション・カッコネン
53	カエルの池	カイ・フランク	1953	ガラス	ヌータヤルヴィガラス製作所	コレクション・カッコネン
54	プレート（魚）	グンネル・ニューマン	1937	ガラス	カルフラガラス製作所	コレクション・カッコネン
55	テーブルクロス（大きな魚）	ドラ・ユング	1970	麻（ダマスク織）	タンペッラ社	タンペレ市立歴史博物館
56	不滅（孔雀）	ドラ・ユング	1946	麻	ドラ・ユング・テキスタイル	フィンランド・デザイン・ミュージアム
57	子連れのアヒル	ドラ・ユング	1955	麻	ドラ・ユング・テキスタイル	フィンランド・デザイン・ミュージアム
58	ビーズバード（シャクシギ）	ビルゲル・カイピアイネン	c.1960	金属、ビーズ	アラビア製陶所	スコープ
59	ビーズバード（シャクシギ）	ビルゲル・カイピアイネン	1960s	金属、ビーズ	アラビア製陶所	スコープ
60	イソシギ	タピオ・ヴィルッカラ	1975	アルミニウム、ガラス	クルタケスクス社	コレクション・カッコネン
60	イソシギ	タピオ・ヴィルッカラ	1975	ブロンズ、ガラス	クルタケスクス社	コレクション・カッコネン
60	イソシギ	タピオ・ヴィルッカラ	1975	アルミニウム、ガラス	クルタケスクス社	コレクション・カッコネン
61	プレート（ヴァイオレット）	ビルゲル・カイピアイネン		陶器	アラビア製陶所	コレクション・カッコネン
62	プレート（花）	ビルゲル・カイピアイネン		陶器		ヘルシンキ市立美術館
63	プレート（洋梨）	ビルゲル・カイピアイネン	1970's	陶器	アラビア製陶所	コレクション・カッコネン
64	アラビア製陶所ポスター	タピオ・ヴィルッカラ	1952	リトグラフ		コレクション・カッコネン
65	陶板「ガラスの中の3羽の鳥」	ルート・ブリュック	c. 1953	陶	アラビア製陶所	コレクション・カッコネン
66	彫像（かもめ）	ミハエル・シルキン	1956	陶	アラビア製陶所	ヘルシンキ市立博物館
67	彫像（横たわる山猫）	ミハエル・シルキン		陶		ヘルシンキ市立美術館
68	花瓶	フリードル・ホルツァー＝シャルバリ	1950s	磁器（ライス・ポーセリン）	アラビア製陶所	ヘルシンキ市立博物館
69	花瓶	フリードル・ホルツァー＝シャルバリ	1950-1974	磁器（ライス・ポーセリン）	アラビア製陶所	ヘルシンキ市立博物館
70	ボウル	フリードル・ホルツァー＝シャルバリ	c. 1950	磁器（ライス・ポーセリン）	アラビア製陶所	ヘルシンキ市立博物館
71	プレート（レッド）	フリードル・ホルツァー＝シャルバリ	1950's	陶器		ヘルシンキ市立美術館
72	プレート（ブルー）	フリードル・ホルツァー＝シャルバリ	1950's	陶器		ヘルシンキ市立美術館
73	プレート（ブルー）	フリードル・ホルツァー＝シャルバリ	1950's	陶器		ヘルシンキ市立美術館
74	ボウル	フリードル・ホルツァー＝シャルバリ	1950s	磁器	アラビア製陶所	ヘルシンキ市立博物館
75	テーブルクロス（葉）、モデル 872	ドラ・ユング	1938-1959	麻（ダマスク織）	タンペッラ社	タンペレ市立歴史博物館
76	葉	トイニ・ムオナ	1950s	陶		ヘルシンキ市立美術館
76	葉	トイニ・ムオナ	1950s	陶		ヘルシンキ市立美術館
76	葉	トイニ・ムオナ	1950s	陶		ヘルシンキ市立美術館
77	楓の葉	トイニ・ムオナ	1950s	陶		ヘルシンキ市立美術館
78	葦	トイニ・ムオナ	1950s	陶		ヘルシンキ市立美術館
79	プレート	トイニ・ムオナ	1940-1950's	陶器	アラビア製陶所	コレクション・カッコネン

80	花瓶	トイニ・ムオナ	1956	炆器		ヘルシンキ市立博物館
81	花瓶	トイニ・ムオナ	1940-1950s	炆器	アラビア製陶所	コレクション・カッコネン
82	花瓶	トイニ・ムオナ	1940-1950s	炆器	アラビア製陶所	コレクション・カッコネン
83	花瓶	トイニ・ムオナ	1940-1950s	炆器	アラビア製陶所	コレクション・カッコネン
84	花瓶	トイニ・ムオナ	1940-1950s	炆器	アラビア製陶所	コレクション・カッコネン
85	ボトル	キュッリッキ・サルメンハーラ	1954	陶器	アラビア製陶所	コレクション・カッコネン
86	ボトル	キュッリッキ・サルメンハーラ	1954	陶器	アラビア製陶所	コレクション・カッコネン
87	ボトル	キュッリッキ・サルメンハーラ	1954	陶器	アラビア製陶所	コレクション・カッコネン
88	ラグ (青いストライプ)	ウフラ=ベアタ・シンベリ=アールストロム	1965	麻 ウール (リュイユ織)		ヘルシンキ市立美術館
89	ラグ (孤独)	ウフラ=ベアタ・シンベリ=アールストロム	1972	麻 ウール (リュイユ織)		ヘルシンキ市立美術館
90	無題 (青い雲)	ルート・ブリュック	1967	陶 (ファイアンズ焼)		ヘルシンキ市立美術館
91	無題 (老いた木)	ルート・ブリュック	1967	陶		ヘルシンキ市立美術館
92	無題 (ヘルシンキ市庁舎陶レリーフ「陽の当たる街」のための習作)	ルート・ブリュック	1975	陶		ヘルシンキ市立美術館
93	氷山 (プリズム)	ナニー・ステイル	1961	ガラス	リーヒマエンラシ社	コレクション・カッコネン
94	氷山	タピオ・ヴィルッカラ	1951	ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
95	パーダル湖の氷	タピオ・ヴィルッカラ	1962	ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
96	「ウルティマ・トゥーレ (世界の果て)」ガラス	タピオ・ヴィルッカラ	1969	ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
96	「ウルティマ・トゥーレ (世界の果て)」ガラス	タピオ・ヴィルッカラ	1969	ガラス	イッタラガラス製作所	コレクション・カッコネン
97	「フィンランディア」叢氷	ティモ・サルパネヴァ	1964	ガラス		ヘルシンキ市立美術館
98	凍ったグラス	ライラ・カルトゥネン	1950s	ウール	ヴェッテルホフ工房	フィンランド・デザイン・ミュージアム
99	氷河の境目	トゥーリッキ・ピエティラ	1965	銅版画		ヘルシンキ市立美術館

No.	製品名・作品名	デザイナー・作家名	制作年	素材・技法名	Collection / Credit line	資料画像所蔵先
—	デザイン・フォトグラフィ	オッツォ&マッティ・ピエティネン	1950-55	デジタルイメージ 21点	The Finnish Museum of Photography	フィンランド国立写真美術館
P-25	コリ (フィンランド)	ヨルマ・ハイユ		インクジェットプリント	The Finnish Museum of Photography	フィンランド国立写真美術館

第4章 絵画のように

No.	製品名・作品名	デザイナー・作家名	制作年	素材・技法名	製造者名	所蔵先
100	葉っぱの束 (バケツ)	エヴァ・タイミ	1937	綿 プリント	ヘルシンキ・アート・ダイワークス社	フィンランド・デザイン・ミュージアム
101	プトキノトコ	カイ・フランク	1944	綿 プリント	ヘルシンキ・アート・ダイワークス社	フィンランド・デザイン・ミュージアム
102	『オミン・カシン (私の手で)』1/1952		1952	雑誌		個人蔵
103	『オミン・カシン (私の手で)』2/1947		1947	雑誌		個人蔵

104	「フィリグラ」コーヒ ーセット	ライヤ・ウオシッキネン	1971 - 1975	陶器 (ファイ アンス焼)	ヴァルツイラ グループ社/ アラビア製陶 所	ヘルシンキ市立博物館
105	タイミ (芽) (サンプル)	アイニ・ヴァーリ	1961	プリント	フィンレイソ ン社	タンペレ市立歴史博物館
106	ペイテクレトキ (更紗) (サンプル)	アイニ・ヴァーリ	1964	プリント	フィンレイソ ン社	タンペレ市立歴史博物館
107	タッキクレトキ (更紗) (サンプル)	アイニ・ヴァーリ	1960	プリント	フィンレイソ ン社	タンペレ市立歴史博物館
108	メルセレッテ (サンプル)	アイニ・ヴァーリ	1964	プリント	フィンレイソ ン社	タンペレ市立歴史博物館
109	ガーデン (サンプル)	アイニ・ヴァーリ	1960- 1961	プリント	フィンレイソ ン社	タンペレ市立歴史博物館
110	エプロン	アイニ・ヴァーリ	1960's	綿 プリント	フィンレイソ ン社	タンペレ市立歴史博物館
111	夏 (サンプル)	アイニ・ヴァーリ	1978	プリント	タンペッラ社	タンペレ市立歴史博物館
112	タオル	アイニ・ヴァーリ	1960	タオル地 プリ ント	フィンレイソ ン社	タンペレ市立歴史博物館
113	コリンナ (サンプル)	アイニ・ヴァーリ	1956	プリント	フィンレイソ ン社	タンペレ市立歴史博物館
114	ランドリーバッグ	アイニ・ヴァーリ	1960's	綿 プリント	フィンレイソ ン社	タンペレ市立歴史博物館
115	パストラリー	エステリ・トムラ	1965	陶器 (ファイ アンス焼)	アラビア製陶 所	ヘルシンキ市立美術館
116	パストラリー	エステリ・トムラ	1965	陶器 (ファイ アンス焼)	アラビア製陶 所	ヘルシンキ市立美術館
117	「パラティーシ」ピッチ ャー	ビルゲル・カイピアイネン	1969- 1974	陶器 (ファイ アンス焼)	アラビア製陶 所	ヘルシンキ市立博物館
117	「パラティーシ」プレ ート	ビルゲル・カイピアイネン	1969- 1974	陶器 (ファイ アンス焼)	アラビア製陶 所	ヘルシンキ市立博物館
117	「パラティーシ」ボウル	ビルゲル・カイピアイネン	1969- 1974	陶器 (ファイ アンス焼)	アラビア製陶 所	ヘルシンキ市立博物館
117	「パラティーシ」ジャー	ビルゲル・カイピアイネン	1969- 1974	陶器 (ファイ アンス焼)	アラビア製陶 所	ヘルシンキ市立博物館
118	タオル (カラ (魚))	アウネ・ラウッカネン	1960's	麻 プリント	タンペッラ社	タンペレ市立歴史博物館
119	タオル (コッキ (シェフ))	エヴァ・タイミ	1960's	麻 プリント	タンペッラ社	タンペレ市立歴史博物館
120	卵入れ	カーリナ・アホ	1950	陶器 (ファイ アンス焼)	アラビア製陶 所	フィンランド・デザイン・ ミュージアム
121	カッティングボード (魚)	カーリナ・アホ (デザイン)、 ライヤ・ウオシッキネン (絵 付け)	1953	陶器 (ファイ アンス焼)	アラビア製陶 所	フィンランド・デザイン・ ミュージアム
122	プレート (ザリガニ)	カイ・フランク (デザイン)、 アンヤ・ユーリッカラ (絵 付け)	1951	陶器 (ファイ アンス焼)	アラビア製陶 所	フィンランド・デザイン・ ミュージアム
122	プレート (ザリガニ)	カイ・フランク (デザイン)、 アンヤ・ユーリッカラ (絵 付け)	1951	陶器 (ファイ アンス焼)	アラビア製陶 所	フィンランド・デザイン・ ミュージアム
123	「100本のバラ」テーブ ルクロス	ドラ・ユング	1962- 1983	麻 (ダマスク織)	タンペッラ社	タンペレ市立歴史博物館
124	「100本のバラ」ナブキン、 モデル 593	ドラ・ユング	1962- 1983	麻 (ダマスク織)	タンペッラ社	タンペレ市立歴史博物館
125	ナブキンのたたみ方		1970	ガイドブック	タンペッラ社	タンペレ市立歴史博物館
126	「100本のバラ」のための スケッチ	ドラ・ユング	1961	鉛筆 紙		タンペレ市立歴史博物館
127	「カレンデウラ (キンセ ンカ)」テキスタイル・ サンプル、モデル 486	ドラ・ユング	1965- 1974	麻、綿 (ダマ スク織)	タンペッラ社	タンペレ市立歴史博物館
127	「カールナ (樹皮)」テキ スタイル・サンプル、モ デル 597	ドラ・ユング	1965- 1974	麻 (ダマスク織)	タンペッラ社	タンペレ市立歴史博物館

127	「シラカット (ニシン)」 テキスタイル・サンプル、 モデル 895	ドラ・ユング	1970- 1978	麻 (ダマスク織)	タンペッラ社	タンペレ市立歴史博物館
127	「フェスティヴォ」テキ スタイル・サンプル、モ デル 888	ドラ・ユング	1965- 1978	麻 (ダマスク織)	タンペッラ社	タンペレ市立歴史博物館
127	「ヴァルム (ポピー)」テ キスタイル・サンプル、 モデル 553	ドラ・ユング	1970- 1978	麻 (ダマスク織)	タンペッラ社	タンペレ市立歴史博物館
127	「イソトウカラトウ (大 きな魚)」テキスタイル・ サンプル、モデル 894	ドラ・ユング	1970- 1976	麻 (ダマスク織)	タンペッラ社	タンペレ市立歴史博物館
127	「ベルホネン (蝶)」テキ スタイル・サンプル、モ デル 416	ドラ・ユング	1972- 1977	麻、綿 (ダマス ク織)	タンペッラ社	タンペレ市立歴史博物館
127	「オメナ (りんご)」テキ スタイル・サンプル、モ デル 893	ドラ・ユング	1970- 1974	麻 (ダマスク織)	タンペッラ社	タンペレ市立歴史博物館
127	「アネモネ」テキスタ イル・サンプル、モデル 885	ドラ・ユング	1962- 1977	麻 (ダマスク織)	タンペッラ社	タンペレ市立歴史博物館
127	「カラバルヴィ (魚の群 れ)」テキスタイル・サ ンプル、モデル 417	ドラ・ユング	1971- 1979	麻、綿 (ダマス ク織)	タンペッラ社	タンペレ市立歴史博物館
128	「セイタ」テーブルクロ ス、ナプキン、102	ルート・ブリュック	1960's	綿 染	フィンレイソ ン社	タンペレ市立歴史博物館
128	「セイタ」テーブルクロ ス、ナプキン、102	ルート・ブリュック	1960's	綿 染	フィンレイソ ン社	タンペレ市立歴史博物館
129	「セイタ」ハンカチ、 F553S	ルート・ブリュック	1960-79	綿 染	フィンレイソ ン社	タンペレ市立歴史博物館
130	「セイタ」布サンプル、 PMK パターンブック	ルート・ブリュック	1960-79	綿 染	フィンレイソ ン社	タンペレ市立歴史博物館
131	「セイタ」ナプキン	ルート・ブリュック	1960-79	綿 染	フィンレイソ ン社	タンペレ市立歴史博物館
132	花	マルアッタ・メッツォヴァ ーラ	1962	綿 プリント	タンペッラ社	フィンランド・デザイン・ ミュージアム
133	ラグ (アサリ)	マルアッタ・メッツォヴァ ーラ	1962	麻 ウール (リ ュイユ織)	フィンリュア 社	フィンランド・デザイン・ ミュージアム
134	「アンビエンテ」	ティモ・サルパネヴァ	1965/66	綿 プリント	タンペッラ社 ラピンニエ メン工場	タンペレ市立歴史博物館
134	「アンビエンテ」	ティモ・サルパネヴァ	1965/66	綿 プリント	タンペッラ社 ラピンニエ メン工場	タンペレ市立歴史博物館
134	「アンビエンテ」	ティモ・サルパネヴァ	1965/66	綿 プリント	タンペッラ社 ラピンニエ メン工場	タンペレ市立歴史博物館
134	「アンビエンテ」	ティモ・サルパネヴァ	1965/66	綿 プリント	タンペッラ社 ラピンニエ メン工場	タンペレ市立歴史博物館
134	「アンビエンテ」	ティモ・サルパネヴァ	1965/66	綿 プリント	タンペッラ社 ラピンニエ メン工場	タンペレ市立歴史博物館
134	「アンビエンテ」	ティモ・サルパネヴァ	1965/66	綿 プリント	タンペッラ社 ラピンニエ メン工場	タンペレ市立歴史博物館
135	「ジュニパー」ジャケッ ト、アンビエンテ	ティモ・サルパネヴァ	1965/66	綿 プリント	サルパネヴァ・ デザイン	個人蔵
136	「アンビエンテ」ドレス	ティモ・サルパネヴァ	1965/66	綿 プリント	サルパネヴァ・ デザイン	タンペレ市立歴史博物館
137	「ノイタルンムットウ (魔 法使いの太鼓)」ドレス、 オーロラコレクション	ナナ・スニ (ドレスデザ イン)、アンナ=リーサ・ニ エミネン (テキスタイルデ ザイン)	1966-67	綿 プリント	スオメン・ト リコー社	タンペレ市立歴史博物館

138	「ヤカラライドウン (牧草地)」ドレス、オーロラコレクション	ナナ・スニ (ドレスデザイン)、アンナ=リーサ・ニエミネン (テキスタイルデザイン)	1966-67	綿 プリント	スオメン・トリコー社	タンペレ市立歴史博物館
139	「サークル・パターン」ドレス、オーロラコレクション	ナナ・スニ (ドレスデザイン)、アンナ=リーサ・ニエミネン (テキスタイルデザイン)	1966-67	ウール プリント	スオメン・トリコー社	タンペレ市立歴史博物館
140	カンムリカイツブリ	マイヤ・イソラ	1961	綿 シルクスクリーンプリント	マリメッコ社	フィンランド・デザイン・ミュージアム
141	メロン II	マイヤ・イソラ	1963	綿 シルクスクリーンプリント	マリメッコ社	フィンランド・デザイン・ミュージアム
142	「トゥッテリ」ドレス、「ピッコロ」テキスタイル	ヴオッコ・ヌルメスニエミ	1959/ 1953	綿 シルクスクリーンプリント	マリメッコ社	フィンランド・デザイン・ミュージアム
143	コンポジション	ビルゲル・カールステッド	1952	テンペラ 紙		ヘルシンキ市立美術館 The Katarina and Leonard Bäcksbäcka Collection
144	「ヴェシヘイナ (コハコベ)」ドレス、「ハンッパ、サンキ」テキスタイル	アンニカ・リマラ (ドレスデザイン)、オイヴァ・トイッカ (テキスタイルデザイン)	1961	綿 シルクスクリーンプリント	マリメッコ社	フィンランド・デザイン・ミュージアム
145	コンポジション	マイヤ・イソラ	1957	テンペラ キャンヴァス		ヘルシンキ市立美術館
146	「タルハ」ドレス、「ルピーニ」テキスタイル	アンニカ・リマラ	1963	綿 シルクスクリーンプリント	マリメッコ社	フィンランド・デザイン・ミュージアム
147	コンポジション	アニタ・ルカンドル	1957	油彩 キャンヴァス		ヘルシンキ市立美術館
148	「ソッケリ」ドレス、「ルーック」テキスタイル	アンニカ・リマラ	1963	綿 シルクスクリーンプリント	マリメッコ社	フィンランド・デザイン・ミュージアム
149	バリエーション II	サム・ヴァンニ	1965	油彩 キャンヴァス		ヘルシンキ市立美術館
150	「ヨケリ」ドレス、「ビルヴィ」テキスタイル	アンニカ・リマラ	1966 /1963	綿 シルクスクリーンプリント	マリメッコ社	フィンランド・デザイン・ミュージアム
151	「テルヴァクッカ」ドレス、「スオランピ」テキスタイル	アンニカ・リマラ (ドレスデザイン)、ヴオッコ・ヌルメスニエミ (テキスタイルデザイン)	1961/ 1959	綿 シルクスクリーンプリント	マリメッコ社	フィンランド・デザイン・ミュージアム
152	暗い絵	スティグ・フレドリクソン	1967	油彩 紙		ヘルシンキ市立美術館 The Katarina and Leonard Bäcksbäcka Collection
153	「ボムボム」花瓶	オイヴァ・トイッカ	1968	ガラス	ヌータヤルヴィガラス製作所	コレクション・カッコネン
154	「ヴァルスタヤンタッキ」コート、「ケイダス (オアシス)」テキスタイル	アンニカ・リマラ	1967	綿 シルクスクリーンプリント	マリメッコ社	フィンランド・デザイン・ミュージアム
155	「ヴェラクルス」ドレス、「クルーナ」テキスタイル	アンニカ・リマラ	1968 / 1967	綿 シルクスクリーンプリント	マリメッコ社	フィンランド・デザイン・ミュージアム
156	マグ	グンヴォル・オリン=グロ ンクヴィスト	マグ c.1960, 装飾 1968	陶器 (ファイア ンス焼)	アラビア製陶 所	フィンランド・デザイン・ミュージアム
156	マグ	グンヴォル・オリン=グロ ンクヴィスト	マグ c.1960, 装飾 1969	陶器 (ファイア ンス焼)	アラビア製陶 所	フィンランド・デザイン・ミュージアム
157	長い間	ティモ・アアルト	1968	油彩 キャンヴァ ス		ヘルシンキ市立美術館
158	「ロット」ドレス、「カジノ」テキスタイル	アンニカ・リマラ	1968/67	綿 シルクスクリーンプリント	マリメッコ社	フィンランド・デザイン・ミュージアム
159	舟歌	マウリ・ファヴェン	1961	油彩 キャンヴァ ス		ヘルシンキ市立美術館
160	V スペース	ヨーラン・アウグストソン	1967	油彩 キャンヴァ ス		ヘルシンキ市立美術館

161	「リンヤヴィーッタ」ドレス、「ガッレリア」テキスタイル	アンニカ・リマラ (ドレスデザイン)、ヴオッコ・ヌルメスニエミ (テキスタイルデザイン)	1967 / 1957	綿 シルクスクリーンプリント	マリメッコ社	フィンランド・デザイン・ミュージアム
-----	-----------------------------	--	-------------	----------------	--------	--------------------

第5章 暮らしの中のモダンデザイン

No.	製品名・作品名	デザイナー・作家名	制作年	素材・技法名	製造者名	所蔵先
162	PMK コットン 広告	キンモ・カイヴァント	1962	ポスター	レームス広告社	タンペレ市立歴史博物館
162	PMK コットン 広告	キンモ・カイヴァント	1962	ポスター	レームス広告社	タンペレ市立歴史博物館
162	PMK コットン 広告	キンモ・カイヴァント		ポスター	レームス広告社	タンペレ市立歴史博物館
162	PMK コットン 広告	キンモ・カイヴァント	1962	ポスター	レームス広告社	タンペレ市立歴史博物館
162	PMK コットン 広告	キンモ・カイヴァント	1962	ポスター	レームス広告社	タンペレ市立歴史博物館
162	PMK コットン 広告	キンモ・カイヴァント	1962	ポスター	レームス広告社	タンペレ市立歴史博物館
162	PMK コットン 広告	キンモ・カイヴァント	1962	ポスター	レームス広告社	タンペレ市立歴史博物館
163	PMK コットン 広告		1960's	ポスター	タッシュェル広告社	タンペレ市立歴史博物館
164	PMK コットン雑誌カタログ	ティモ・サルパネヴァ (グラフィックデザイン)、クレア・アホ (写真)	1958-60	カタログ		タンペレ市立歴史博物館
165	PMK コットンモデルブック (ベッドリネン、ピローケース)		1966	モデルブック		タンペレ市立歴史博物館
166	タンペラ社製品カタログ		1958-65	カタログ		タンペレ市立歴史博物館
167	プレート (市場)	ライヤ・ウオシッキネン	1960's	陶器 (ファイアンス焼)	アラビア製陶所	ヘルシンキ市立美術館
168	「エミリア」蓋つきのジャー	ライヤ・ウオシッキネン	1960s	陶器 (ファイアンス焼)	アラビア製陶所	個人蔵
169	「エミリア」蓋つきのジャー	ライヤ・ウオシッキネン	1960s	陶器 (ファイアンス焼)	アラビア製陶所	個人蔵
170	「ヘルシンキ」マーケット広場	ヴォイット・ヴィカイネン	1962	木版画		ヘルシンキ市立美術館
171	「ヘルシンキ」教会	ヴォイット・ヴィカイネン	1962	木版画		ヘルシンキ市立美術館
172	タバストリー「夜の街」	エヴァ・アンツティラ	1945	麻、ウール	スタジオ・エヴァ アンツティラ	フィンランド・デザイン・ミュージアム

No.	製品名・作品名	デザイナー・作家名	制作年	素材・技法名	Collection / Credit line	資料画像所蔵先
—	マリメッコ ファッション・フォトグラフィ	K - G ルース	1950s-1960s	デジタルイメージ 16点	The Finnish Museum of Photography	フィンランド国立 写真美術館
P-26	「夏のギンガムのドレス」PMK 広告 (複製)		1930-49	オフセット印刷	Tampere Historical Museums	タンペレ市立歴史博物館
P-27	「夏のギンガムのドレス」PMK 広告 (複製)		1930-49	オフセット印刷	Tampere Historical Museums	タンペレ市立歴史博物館

第6章 フィンランドの妖精たち

No.	製品名・作品名	デザイナー・作家名	制作年	素材・技法名	製造者名	所蔵先
173	カタヤノッカからの眺め	トーベ・ヤンソン	1942	油彩 キャンヴァス		ヘルシンキ市立博物館
174	国会議事堂から見るヘルシンキアートホールと自然史博物館	トーベ・ヤンソン	1941	油彩 キャンヴァス		ヘルシンキ市立博物館
175	命の源 (複製)	トーベ・ヤンソン	1944	原画: グアッシュ 紙		ヘルシンキ市立美術館

176	アウロラ小児病院壁画 「遊び」のためのスケッチ	トーベ・ヤンソン	1955	テンペラ キャンヴァス		ヘルシンキ市立美術館
177	『ガラム』 1948年のクリスマス号		1948	雑誌		個人蔵
178	『ガラム』 1949年7月		1949	雑誌		ムーミン・キャラクターズ
178	『ガラム』 1951年2月		1951	雑誌		ムーミン・キャラクターズ
178	『ガラム』 1949年4月		1949	雑誌		ムーミン・キャラクターズ
178	『ガラム』 1949年2月		1949	雑誌		ムーミン・キャラクターズ
179	ムーミントロール	トーベ・ヤンソン	1952-1971	ミクストメディア	アトリエ・ファウニ	ムーミン・キャラクターズ
180	ムーミンママ	トーベ・ヤンソン	1952-1971	ミクストメディア	アトリエ・ファウニ	ムーミン・キャラクターズ
181	ムーミンパパ	トーベ・ヤンソン	1952-1971	ミクストメディア	アトリエ・ファウニ	ムーミン・キャラクターズ
182	ファブリック「ムーミン」		c. 1970s	綿 プリント	フィンレイソン社	ムーミン・キャラクターズ
182	ファブリック「ムーミン」		c. 1970s	綿 プリント	フィンレイソン社	ムーミン・キャラクターズ
182	ファブリック「ムーミン」		c. 1970s	綿 プリント	フィンレイソン社	ムーミン・キャラクターズ
182	ファブリック「ムーミン」		c. 1970s	綿 プリント	フィンレイソン社	ムーミン・キャラクターズ
183	PMK 紙人形		1960's	紙	PMK プーヴィラ工場	タンペレ市立歴史博物館
183	PMK 紙人形		1960's	紙	PMK プーヴィラ工場	タンペレ市立歴史博物館
184	おもちゃの車		1940-59	木	ニエメン工場	フィンランド・デザイン・ミュージアム
184	おもちゃの車		1940-59	木	ニエメン工場	フィンランド・デザイン・ミュージアム
184	おもちゃの車		1940-59	木	ニエメン工場	フィンランド・デザイン・ミュージアム
185	おもちゃのトラクター (フォード) とトレーラー		1940-59	木	ニエメン工場	フィンランド・デザイン・ミュージアム
186	木製人形 (女の子)	カイ・フランク	1940s	木		フィンランド・デザイン・ミュージアム
186	木製人形 (男の子)	カイ・フランク	1940s	木		フィンランド・デザイン・ミュージアム
186	木製人形 (サーカスの団長)	カイ・フランク	1940s	木		フィンランド・デザイン・ミュージアム
187	ラグ (楽しい乗馬)	ライラ・カルトゥネン	1940s	ウール (リユイユ織)	ヴェッテルホフ工房	フィンランド・デザイン・ミュージアム
188	「ノアの箱船」マグ	カーリナ・アホ(デザイン)、 グンヴォル・オリン＝グロ ンクヴィスト (絵付け)	1964- 1972	陶器 (ファイ アンス焼)	アラビア製陶 所	ヘルシンキ市立博物館
188	「ノアの箱船」プレート	カーリナ・アホ(デザイン)、 グンヴォル・オリン＝グロ ンクヴィスト (絵付け)	1964- 1972	陶器 (ファイ アンス焼)	アラビア製陶 所	ヘルシンキ市立博物館
188	「ノアの箱船」プレート	カーリナ・アホ(デザイン)、 グンヴォル・オリン＝グロ ンクヴィスト (絵付け)	1964- 1972	陶器 (ファイ アンス焼)	アラビア製陶 所	ヘルシンキ市立博物館
189	「ロウリュ (サウナの蒸気)」ピッチャー	グンヴォル・オリン＝グロ ンクヴィスト	1971	磁器	アラビア製陶 所	ヘルシンキ市立博物館
190	ヌンヌ	オイリ・タンニネン	1965	本	オタヴァ社	個人蔵
191	ヌンヌ レンター (ヌン ヌが飛ぶ)	オイリ・タンニネン	1976	本	オタヴァ社	個人蔵

192	ヌンヌ プトアア (ヌンヌが落ちる)	オイリ・タンニネン	1969	本	オタヴァ社	個人蔵
193	ヒンメリ Lahja SIFT	エイヤ・コスキ	2016	ライ麦のワラ		公益財団法人 ギャラリー ーエークウッド
194	ベビーパッケージ		2018	包装 ダンボール紙 内容物 布類ほか		公益財団法人 ギャラリー ーエークウッド

No.	製品名・作品名	デザイナー・作家名	制作年	素材・技法名	Collection / Credit line	資料画像所蔵先
P-28	木のおもちゃのためのスケッチ「ストリート」	カイ・フランク	1942		Design Museum	フィンランド・デザイン・ミュージアム
P-29	木のおもちゃのためのスケッチ「村の人々」	カイ・フランク	1942		Design Museum	フィンランド・デザイン・ミュージアム
P-30	クリスマスツリー (複製)	トーベ・ヤンソン		原画：インク紙	© Moomin Characters Oy Ltd.	© Moomin Characters Oy Ltd.
P-31	PMK コットン 広告 (複製)	キンモ・カイヴァント	1962		Tampere Historical Museums	タンペレ市立歴史博物館

● 「ミュージアムとの創造的対話 vol. 3 何が価値を創造するのか？」

会 期 令和2年11月28日(土)～12月27日(日)〔29日間〕

会 場 鳥取県立博物館2階 第1・2・3特別展示室、サテライト会場:Aコレクション・ストレージ (鳥取県倉吉市和田東町121-1 旧松本木工所)、丸十倉庫 (鳥取県倉吉市秋喜350-23 西倉吉工業団地内 ※土日のみ開館)、山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館

入館者数 1,988人

主 催 「創造的対話展」実行委員会 (鳥取県立博物館、山陰中央テレビジョン放送株式会社)

協 力 株式会社丸十、倉吉運送株式会社、KENJI TAKI GALLERY

協 賛 日本通運(株)、(株)モリックスジャパン、(株)吉備総合電設、三和商事(株)、鳥取県情報センター

入館料 一般600円 (サテライト会場は無料)

内 容 ミュージアムを巡る問いを契機に、国内外の優れたアーティストによる実験的で多彩な表現を展示室の内外に展開させることで、思考を促し、人やモノ、場との対話を重ねながら、その現代的な意味を探るシリーズ企画展の第3回目。今回は、ある個人コレクターのコレクションと、当該コレクション収蔵作家による新旧作の展示を通じて、美術作品における「価値」とは何か、それはいつどのように作られるのかについて考察を促すことを試みた。

〈関連行事〉

(1) オープニング・アーティスト・トーク

日 時 11月27日(土) 14:00～15:30

会 場 鳥取県立博物館2階 第1・2・3特別展示室

講 師 渡辺英司氏、大塚泰子氏、藤原勇輝氏、竹川宜彰氏、岡田有美子氏

参加人数 25名

(2) ゲスト・トーク「文化芸術と価値創造について」

日 時 12月5日(土) 14:00～15:30

会 場 Aコレクション・ストレージ

講 師 池田修氏 (NPO法人BankART1929代表)

参加人数 15名

(3) レクチャー「作家亡き後に作品を再設置ということ」

日時 12月13日(土) 14:00～15:30

会場 鳥取県立博物館講堂

講師 尾崎信一郎(当館副館長)

参加人数 20名

(4) 特別講演会「コレクションとアーカイヴー松澤宥・村岡三郎・原口典之を例に」

日時 12月19日(土) 14:00～15:30

会場 鳥取県立博物館講堂

講師 松本透氏(長野県信濃美術館館長)

参加人数 27名

(5) 学芸員と巡るギャラリー・ツアー

日時 12月26日(土) 10:30～16:30

会場 鳥取県立博物館2階 第1・2・3特別展示室、Aコレクション・ストレージ、
九十倉庫

講師 赤井あずみ(当館主任学芸員)

参加人数 15人

(6) スペシャル・イベント 原口典之×木野彩子「Oil, Water and Woman」

日時 12月27日(日) 14:00～14:30

会場 九十倉庫

講師 木野彩子氏

参加人数 56名

〈出品目録〉

〔鳥取県立博物館 第1特別展示室〕

番号	作品名	作家名	製作年	素材、技法
1-1	S = 1 / 43	渡辺英司	2007	ミニカー
1-2	極北で	松澤宥	1995	インク／紙
1-3	白色円形根本絵画	松澤宥	1969	シルクスクリーン／紙
1-4	海底	松澤宥	1984	シルクスクリーン／紙
1-5	あなたの余命(卵)	松澤宥	1986	シルクスクリーン／紙
1-6	海底	松澤宥	1984	シルクスクリーン／紙
1-7	量子芸術序	松澤宥	1994	シルクスクリーン／紙
1-8	無題(31 may ~ 7 July '88)	渡辺英司	1988	鉛筆／紙
1-9	Re-Revival(再生の再生)ミニチュア	渡辺英司	2007	蜜蝋、プラスチック骨格、カンヴァス、紙、ガラス
1-10	Re-Sign(サインのサイン)	渡辺英司	2004-2007	C-プリント／木、ガラス
1-11	Re-Revival(再生の再生)I-V	渡辺英司	1997-2007	紙粘土に彩色、木製骨格模型
1-12	飛ぶ言葉	渡辺英司	2000	真鍮
1-13	Re-Revival(再生の再生)I-V	渡辺英司	1997-2007	紙粘土に彩色、木製骨格模型
1-14	あみだくじ	渡辺英司	1999	水性塗料／木
1-15	「キャンバス(拡大)」	渡辺英司	2000	オイルメディウム／カンヴァス

1-16	「キャンバス (レンズ)」	渡辺英司	2000	オイルメディウム／カンヴァス
1-17	遅延の飛び込み	渡辺英司	2000	ガラス、水
1-18	魔球	渡辺英司	1998	卓球ラケット
1-19	望遠	渡辺英司	2001	カンヴァス／板、アクリル
1-20	子供の絵のトレース 2007	渡辺英司	1997-2020	クレパス／鉄、紙
1-21	子供の絵のトレース 2007	渡辺英司	1997-2020	クレパス／鉄、紙
1-22	子供の絵のトレース 2020	渡辺英司	1997-2021	クレパス／鉄、紙、フォトグラフ
1-23	直線	村岡三郎	制作年不詳	
1-24	残留酸素 No.4	村岡三郎	1991	酸素ボンベ、ドローイング
1-25	残留酸素 No.5	村岡三郎	1992	酸素ボンベ、ドローイング
1-26	Coughing (咳)	村岡三郎	1994	酸素ボンベ、ドローイング
1-27	落下する熱	村岡三郎	1992	鉛筆、色鉛筆／紙
1-28	言葉婦人	渡辺英司	2000	リシン／新聞紙
1-29	星の名前	渡辺英司	1997	油彩／ダイス
1-30	ダイス印	渡辺英司	1994	木、鉄
1-31	不定形ダイス	渡辺英司	1998	鉛、大理石、鉄に彩色
1-32	記憶体	村岡三郎	1997	銅、CD-ROM、鉄
1-33	Oxygen - Colits Germs	村岡三郎	1995	酸素ボンベ、鉛
1-34	蒸留水 8 リットル	村岡三郎	1983	鉛、蒸留水、ネオン管
1-35	Standing Bed	村岡三郎	1979	鉄
1-36	体温 - 15歳の犬	村岡三郎	1991	ドローイング／紙
1-37	体温 - 天王寺駅の鳩	村岡三郎	1991	ドローイング／紙
1-38	ホバリング	村岡三郎	1977	写真
1-39	頸動脈ドローイング	村岡三郎	1993	鉄に彩色、鉛筆
1-40	π (パイ) cm の釘	村岡三郎	1987	鉄、絹、根、紙、虫ピン
1-41	蝶瞰図	渡辺英司	1996	コラージュ／紙
1-42	後光 S	渡辺英司	2020	アクリル／木
1-43	後光 L	渡辺英司	2020	油彩／木
1-44	芸術 = 資本	ヨゼフ・ボイス	1979	オフセット印刷／紙
1-45	ターザンのアルファベット	渡辺英司	1997	木、石膏、ロープ、フック
1-46	塩の先端	村岡三郎	1985	鉄、塩水、熱
1-47	熱原理 Heat Principal	村岡三郎	1993	鉄、酸素ボンベ、チョーク
1-48	星屑	渡辺英司	2001	ビニール袋、スチール製ゴミ箱
1-49	落下する熱	村岡三郎	1992	ガラス、鉄

【鳥取県立博物館 特別第2展示室】

番号	作品名	作家名	製作年	素材、技法
2-1	Untitled	鷺見和紀郎	1992	木、漆
2-2	Many Rivers to Cross	鷺見和紀郎	1991	蠟
2-3	SIRIUS	黒川弘毅	1981-1982	ブロンズ
2-4	SIRIUS	黒川弘毅	1981-1982	ブロンズ
2-5	SIRIUS	黒川弘毅	1997	ブロンズ
2-6	Golem No.6	黒川弘毅	1984-1985	ブロンズ
2-7	Golem No.5	黒川弘毅	1983-1984	ブロンズ
2-8	Spaltoi No.53	黒川弘毅	1984-1985	ブロンズ
2-9	Spaltoi No.11	黒川弘毅	1981-1983	ブロンズ
2-10	Spaltoi No.2	黒川弘毅	1980-1982	ブロンズ
2-11	だるま	関根伸夫	1987	金箔／紙
2-12	面壁	関根伸夫	1987	金箔／紙
2-13	点より	李禹煥	1980	シルクスクリーン／アクリル
2-14	線より	李禹煥	1987	鉛筆／紙
2-15	Untitled (Bloodwork)	フェリックス・ゴンザレス＝トレス	1994	鉛筆／紙

2-16	(不詳)	井垣秀夫	不詳	アクリル／カンヴァス
2-17	Great Jones Moonlight	アンソニー・カロ	1983	炆器に着色
2-18	Untitled	チェン・ルオピン	2003	アクリル／カンヴァス
2-19	デッサン #20096	小林正人	1995	チャコール、チョーク／紙
2-20	デッサン #20112	小林正人	1995	チャコール／紙
2-21	写生 (1993.4.16)	小林正人	1993	油彩／カンヴァス
2-22	画く力	小林正人	1991	油彩／カンヴァス
2-23	絵画の子 (チューブ)	小林正人	1992	油彩／カンヴァス
2-24	The Book of Psalms	村上友晴	1979	ドライポイント／紙
2-25	SOLUTRE.A	若林奮	1983	鉄、鉛
2-26	無題	村上友晴	1980	油彩／カンヴァス
2-27	Du Common	リチャード・セラ	1972	リトグラフ／紙
2-28	(タイトルなし)	藤澤江里子	1994	オイルバー、オイルパステル／紙
2-29	1832	丸山直文	2000	アクリル／綿布
2-30	ROOM (#5)	丸山直文	1994	アクリル／綿布
2-31	ROOM (#6)	丸山直文	1994	アクリル／綿布
2-32	30年代～40年代を通して	丸山直文	1989	油彩／カンヴァス
2-33	walk about 49207	赤塚祐二	1991	油彩、ワックス／カンヴァス
2-34	紙に触れて	藤澤江里子	2020	木炭、オイルバー・オイルパステル、クレヨン／因州和紙
2-35	とっとりこころ	竹川宣彰	2020	ミクストメディア
2-36	Sky and Water	サーシャ・マリヤノビッチ	2017	油彩／カンヴァス
2-37	「Museum Series Portfolios Number2: Portrait」より《The Poet Vladimir Mayakovsky》	アレクサンドル・ロトチェンコ	1924	ゼラチン・シルバー・プリント
2-38	「Museum Series Portfolios Number2: Portrait」より《Varvara Stepanova》	アレクサンドル・ロトチェンコ	1925	ゼラチン・シルバー・プリント
2-39	「Museum Series Portfolios Number2: Portrait」より《The Artist's Mother at the Table》	アレクサンドル・ロトチェンコ	1928	ゼラチン・シルバー・プリント
2-40	「Museum Series Portfolios Number2: Portrait」より《Varvara Stepanova》	アレクサンドル・ロトチェンコ	1928	ゼラチン・シルバー・プリント
2-41	「Museum Series Portfolios Number2: Portrait」より《Poet Nikolai Assev》	アレクサンドル・ロトチェンコ	1927	ゼラチン・シルバー・プリント
2-42	「Museum Series Portfolios Number2: Portrait」より《The Artist's Mother》	アレクサンドル・ロトチェンコ	不詳	ゼラチン・シルバー・プリント
2-43	「Museum Series Portfolios Number2: Portrait」より《Lily Brik》	アレクサンドル・ロトチェンコ	1924	ゼラチン・シルバー・プリント
2-44	「Museum Series Portfolios Number2: Portrait」より《母の肖像》	アレクサンドル・ロトチェンコ	1924	ゼラチン・シルバー・プリント
2-45	「Museum Series Portfolios Number2: Portrait」より《Pionner Girl》	アレクサンドル・ロトチェンコ	1930	ゼラチン・シルバー・プリント
2-46	「Museum Series Portfolios Number2: Portrait」より《In the workshop of Rodchenko and Stepanova》	アレクサンドル・ロトチェンコ	1925	ゼラチン・シルバー・プリント
2-47	「Museum Series Portfolios Number2: Portrait」より《The Painter Alexander Shevchenko》	アレクサンドル・ロトチェンコ	1924	ゼラチン・シルバー・プリント
2-48	「Museum Series Portfolios Number2: Portrait」より《The Critic Osip Brik》	アレクサンドル・ロトチェンコ	1924	ゼラチン・シルバー・プリント
2-49	リーリャ・ブリークの秘密の人生	ミラン・トゥーツォヴィッチ	2015	油彩／木、鉄、紙、絵具、本
2-50	Virus (Light)	サイモン・モーレイ	1999/2000	アクリル／カンヴァス
2-51	Abe Kobo, The Woman in the Dunes	サイモン・モーレイ	2004	アクリル／カンヴァス
2-52	床屋	竹川宣彰	2016	木版／紙
2-53	オスプレイと沖繩	竹川宣彰	2016	木版／紙
2-54	「И р н о б о r / 黒い神」より「深夜の香り」	古賀亜希子	2019	ゼラチン・シルバー・プリント

【鳥取県立博物館 第3特別展示室】

番号	作品名	作家名	製作年	素材、技法
3-1	日時計	大塚泰子	2000/2020	クレパス／キャンヴァス
3-2	(不明)	原口典之	2003	鉛筆／紙
3-3	(不明)	原口典之	1972	テープ、顔料／パラフィン紙
3-4	カジミール・マレーヴィチ考「二次元における農夫の絵画的リアリズム」から その①	原口典之	2007	鉛、鉛筆／紙
3-5	断面図	大塚泰子	2001	油彩／キャンヴァス
3-6	No.5	原口典之	1987	エッチング、アクアチント、ドライポイント／紙
3-7	Wave	大塚泰子	2020	ガラス
3-8	Colorless	大塚泰子	2009	クリアメディウム／キャンヴァス
3-9	くまんばんちかへりコプター？	大塚泰子	2002	油彩／キャンヴァス
3-10	クリアキャンバス	大塚泰子	2000	クレパス／キャンヴァス
3-11	クリアキャンバス	大塚泰子	2001	クレパス／キャンヴァス
3-12	Back	大塚泰子	1998	パステル／キャンヴァス
3-13	赤青鉛筆	大塚泰子	1997	鉛筆／キャンヴァス
3-14	赤青鉛筆	大塚泰子	1997	鉛筆／キャンヴァス
3-15	赤青鉛筆	大塚泰子	1997	鉛筆／キャンヴァス
3-16	無題 T1	原口典之	2016	ハニカム、ポリウレタン、油絵の具
3-17	Untitled	大塚泰子	1998	シリコン／キャンバス
3-18	黒青赤黄白	大塚泰子	1994	リトグラフ／綿布
3-19	『なんじゃもんじゃ博士』とクレヨン	大塚泰子	2018	クレヨン／綿布
3-20	『なんじゃもんじゃ博士』	大塚泰子	2018	リトグラフ／綿布
3-21	(不詳)	大塚泰子	2005	リトグラフ／綿布
3-22	無題 T2	原口典之	2016	ハニカム、ポリウレタン
3-23	黒青青黒	大塚泰子	1994	リトグラフ／綿布
3-24	Untitled	大塚泰子	2014	リトグラフ／綿布
3-25	無題 T3	原口典之	2016	ハニカム、ポリウレタン
3-26	Untitled H-10	原口典之	2012	ステンレス、ポリウレタン
3-27	Untitled	大塚泰子	2018	リトグラフ／綿布
3-28	Untitled	大塚泰子	2014	リトグラフ／綿布
3-29	ブラインド（開）	大塚泰子	2001	油彩／キャンバス
3-30	ブラインド（少開）	大塚泰子	2001	油彩／キャンバス
3-31	ブラインド（閉）	大塚泰子	2001	油彩／キャンバス
3-32	水の彫刻	大塚泰子	2020	クレパス／石
3-33	水の彫刻	大塚泰子	2018	クレパス／木
3-34	Untitled	大塚泰子	1997	リトグラフ／綿布
3-35	Untitled	大塚泰子	1997	リトグラフ／綿布

【鳥取県立博物館 エントランスホールほか博物館内】

番号	作品名	作家名	製作年	素材、技法
E-1	常緑	渡辺英司	2004	人工芝
E-2	真剣勝負	渡辺英司	2001	障害物競走用ハードル
E-3	名称の庭	渡辺英司	2020	カラージュ／紙
E-4	空間色 鳥取	大塚泰子	2020	リトグラフ／綿布

【鳥取県立博物館 エントランス（屋外）】

番号	作品名	作家名	製作年	素材、技法
O-1	Untitled FCS	原口典之	1990	鉄

[サテライト会場 A コレクション・ストレージ]

番号	作品名	作家名	製作年	素材、技法
A-1	MASS+GAME	藤原勇輝	2017	釘、パチンコ玉／木
A-2	ANTI-GRAVITY	藤原勇輝	2020	アクリルボックス、FRP、釣り糸
A-3	A Vivid Morning on the North Side	藤原勇輝	2011	ミクストメディア
A-4	炸裂	中村宏太	2009	散弾、シリコン
A-5	音速	中村宏太	2001	弾丸、ガラス、フィルム、コールテン鋼
A-6	Fracture	中村宏太	2017	弾丸、シリコン、アクリル
A-7	夢枕	中村宏太	2014	3D プリンターで出力されたナイロン
A-8	会議テーブル・本棚	原口典之	2009	木、アルミほか
A-9	ミュージアムチェアー	中村宏太	2008	アクリル
A-10	Phantom 2018	原口典之	2018	シルクスクリーン／因州和紙
A-11	Corsair 2017	原口典之	2017	シルクスクリーン／因州和紙
A-12	Untitled (Toshinori Kondo Live)	原口典之	2002	銅、ワイヤー
A-13	《大知識時代のガレー船》より	竹川宣彰	2012	ミクストメディア
A-14	東京オフィスのマケット	PH スタジオ	不詳	木に彩色
A-15	マケット	PH スタジオ	不詳	木に彩色
A-16	マケット	PH スタジオ	不詳	木に彩色
A-17	マケット	PH スタジオ	不詳	木に彩色
A-18	ジュスティース	古賀亜希子	2005	インクジェットプリント／因州和紙
A-19	鳥魚	PH スタジオ	1994	木に彩色
A-20	物神 Fetishism	竹川宣彰	2002	ミクストメディア
A-21	SLK シリーズのために	藤原勇輝	2020	石膏／カンヴァス
A-22	model of Tamai Villa	PH スタジオ	1997	木に彩色
A-23	(不詳)	原口典之による未完作品	2004	ミクストメディア
A-24	(不詳)	原口典之	不詳	ウレタン／カンヴァス
A-25	(不詳)	赤塚祐二	2016	油彩／カンヴァス
A-26	Untitled (The Antique Blacks #6)	山井隆介	2016	シルクスクリーン／カンヴァス
A-27	Untitled (The Antique Blacks #3)	山井隆介	2016	シルクスクリーン／カンヴァス
A-28	Untitled (The Antique Blacks #5)	山井隆介	2016	シルクスクリーン／カンヴァス
A-29	Untitled (The Antique Blacks #1)	山井隆介	2016	シルクスクリーン／カンヴァス
A-30	群落	竹川宣彰	2011	水彩／水彩紙
A-31	遊牧	竹川宣彰	2011	牛乳パック、木
A-32	酪農の未来	竹川宣彰	2011	水彩／水彩紙
A-33	作品 65-1	張替正次	1965	油彩／カンヴァス
A-34	(不詳)	福留章太	不詳	油彩／カンヴァス
A-35	(原口典之との二人展のためのオブジェ)	村岡三郎	不詳	鉄、塩
A-36	(不詳)	中村宏太	2010	サーフボードに塗装
A-37	夏の虫の家	PH スタジオ	1997	木に彩色
A-38	untitled	石田貴裕	2015	油絵具、シルクスクリーン／カンヴァス

[サテライト会場 丸十倉庫]

番号	作品名	作家名	製作年	素材、技法
M-1	Oil and Water	原口典之	2003	鉄、廃油、水

[サテライト会場 山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館]

番号	作品名	作家名	製作年	素材、技法
G-1	とっとりこころ	竹川宣彰	2020	ミクストメディア

●「生誕110年 岡本太郎——パリから東京へ」

会 期	令和3年2月11日（木・祝）～3月21日（日）〔34日間〕
会 場	鳥取県立博物館第1・2特別展示室
入館者数	10,555人
主 催	「岡本太郎展」実行委員会（鳥取県立博物館、日本海テレビジョン放送株式会社）、読売新聞社、美術館連絡協議会
協 賛	ライオン、大日本印刷、損保ジャパン、モリックスジャパン、吉備総合電設、三和商事、鳥取県情報センター
企画協力	川崎市岡本太郎美術館
協 力	岡崎市美術博物館、The Seligmann Center of the Orange County Foundation, Inc., Weinstein Gallery, Yale University, 日本通運
入 館 料	一般800円（20名以上の団体600円）
内 容	生誕110年を迎える岡本太郎（1911-96年）に焦点を当て、その思想や作品の素地を培った戦前のパリ時代と、多岐にわたる活動を繰り広げた帰国後の東京での動向を照応させて展覧し、パリで育んだ前衛芸術家との交友と戦後日本において主導した芸術運動の関係を検証しようとするものである。これまで必ずしも十分に解明されていなかったオーガナイザーとしての岡本の役割に着目し、1950年代に企画・開催された幾つかの展覧会に実際に出品された作品および出品作家による同時期の作品を通じて、岡本が捉えた当時最前衛であった美術動向の様相を明らかにする。 当初は「クルト・セリグマンと岡本太郎」のタイトルで全国巡回展として企画されていたが、コロナ禍で海外からの借用が困難になったことを受けて展覧会の枠組みを変え、岡本太郎の絵画作品を軸とする単館開催の企画展として実施した経緯をもつ。

〈関連行事〉

（1）特別講演会「パリ時代の岡本太郎」

日 時	2月11日（木・祝）14:00～16:00
会 場	鳥取県立博物館講堂（講師はリモートにより登壇）
講 師	佐々木秀憲氏（川崎市岡本太郎美術館学芸員）
参加人数	56人

（2）担当学芸員によるギャラリートークⅠ・Ⅱ

日 時	2月13日（土）、3月13日（土）各日とも14:00～15:00
会 場	企画展会場
参加人数	52人（2月13日）・63人（3月13日）

（3）スペシャルアートシアターⅠ「宇宙人東京に現わる」（1956年、監督：島耕二、82分）

日 時	2月20日（土）14:00～16:00
会 場	鳥取県立博物館講堂
参加人数	62人

（4）岡本太郎関連短編映像上映会「対極主義」「大衆の発見」「縄文の発見」「岡本太郎の祝祭空間——パブリックアートの世界」

日 時	2月27日（土）10:00～16:00
-----	---------------------

会 場 鳥取県立博物館講堂

参加人数 115 人

(5) アートセミナー「岡本太郎と 1950 年代」

日 時 2月27日(土) 10:00～15:30

会 場 鳥取県立博物館講堂

講 師 尾崎信一郎(当館副館長)

参加人数 42名

(6) スペシャルアートシアターⅡ「ドキュメンタリー映画 岡本太郎の沖縄(完全版)」

(2018年、監督:葛山喜久、130分) +アフタートーク

日 時 3月20日(土) 13:00～16:00

会 場 鳥取県立博物館講堂

参加人数 62人

〈出品目録〉

第Ⅰ部 アブストラクション・クレアションからネオ・コンクレティスムへ

第1章 パリにおける交流と成熟

No.	作品名	作者名	技法材質	サイズ (cm)	制作年	所蔵
001	コントロールポアン	岡本太郎	油彩・カンヴァス	97.5 × 145.0	1935/54	東京国立近代美術館
002	男	アルベルト・ジャコメッティ	油彩・カンヴァス	101.6 × 81.3	1956	国立国際美術館
003-1	抽象 『アブストラクション・クレアション版画集』より	フランティシェク・クブカ	シルクスクリーン・紙 (原作:グワッシュ)	51.0 × 50.0	1931/73	川崎市岡本太郎美術館
003-2	コンポジション D 『アブストラクション・クレアション版画集』より	ピエト・モンドリアン	シルクスクリーン・紙 (原作:油彩)	47.0 × 42.5	1932/73	川崎市岡本太郎美術館
003-3	ユニズム・コンポジション 『アブストラクション・クレアション版画集』より	ヴワディスワフ・スツシエミンスキ	シルクスクリーン・紙 (原作:油彩)	50.0 × 50.0	c.1931/73	川崎市岡本太郎美術館
003-4	コンポジション 『アブストラクション・クレアション版画集』より	テオ・ファン・ドゥースブルフ	シルクスクリーン・紙 (原作:油彩)	54.0 × 54.0	c.1930/73	川崎市岡本太郎美術館
003-5	$Y=X^2+bx+c$ 赤・緑 『アブストラクション・クレアション版画集』より	ジョルジュ・ヴァントングルロー	シルクスクリーン・紙 (原作:グワッシュ)	69.7 × 36.4	1933/73	川崎市岡本太郎美術館
003-6	二つの部分からなる構成 『アブストラクション・クレアション版画集』より	マックス・ビル	シルクスクリーン・紙 (原作:油彩)	60.0 × 50.0	c.1934/73	川崎市岡本太郎美術館
003-7	コンポジション 『アブストラクション・クレアション版画集』より	フリードリヒ・フォルデンベルゲ=ギルデヴァルト	シルクスクリーン・紙 (原作:リトグラフ)	60.0 × 45.5	1935/73	川崎市岡本太郎美術館
003-8	コンポジション 『アブストラクション・クレアション版画集』より	セザール・ドメラ	リトグラフ・シルクスクリーン・紙 (原作:レリーフ)	83.8 × 65.7	1936/73	川崎市岡本太郎美術館

003-9	渦巻 『アブストラクション・ クレアション版画集』 より	ハンス・エルニ	シルクスクリー ン・紙 (原作：グワッ シュ)	51.3 × 59.2	1936/73	川崎市岡本太郎美術館
003-10	時空にわたるコンポジ ション No. 36 『アブストラクション・ クレアション版画集』 より	ジャン・ゴラン	シルクスクリー ン・紙 (原作：レリー フ)	84.0 × 66.0	1936/73	川崎市岡本太郎美術館
003-11	幾何学的リズム 『アブストラクション・ クレアション版画集』 より	マウロ・レッジアーニ	シルクスクリー ン・紙 (原作：油彩)	61.9 × 41.8	1932/73	川崎市岡本太郎美術館
003-12	構成 『アブストラクション・ クレアション版画集』 より	ラースロー・モホイ＝ナジ	シルクスクリー ン・紙 (原作：グワッ シュ)	54.7 × 45.4	1932/73	川崎市岡本太郎美術館
003-13	青いフォルム 『アブストラクション・ クレアション版画集』 より	ゾフィー・トイバー＝アルプ	シルクスクリー ン・紙 (原作：グワッ シュ)	60.6 × 48.5	1935/73	川崎市岡本太郎美術館
003-14	灰色の絵画 『アブストラクション・ クレアション版画集』 より	ポール・ヴェズレー	シルクスクリー ン・紙 (原作：油彩)	69.0 × 47.5	1935/73	川崎市岡本太郎美術館
003-15	抽象的絵画Ⅱ 『アブストラクション・ クレアション版画集』 より	ヘンリック・スタージェフスキ	シルクスクリー ン・紙 (原作：油彩)	51.8 × 62.9	c.1930/73	川崎市岡本太郎美術館
003-16	コンポジション 『アブストラクション・ クレアション版画集』 より	ヴァシリー・カンディンスキ ー	シルクスクリー ン・紙 (原作：リトグ ラフ)	40.6 × 48.7	1932/73	川崎市岡本太郎美術館
003-17	コンポジション 『アブストラクション・ クレアション版画集』 より	ルイージ・ヴェロネージ	シルクスクリー ン・紙 (原作：グワッ シュ)	84.0 × 65.8	1934/73	川崎市岡本太郎美術館
003-18	訴え 『アブストラクション・ クレアション版画集』 より	ハンス・シーヌ	シルクスクリー ン・紙 (原作：油彩)	62.8 × 51.4	1930/73	川崎市岡本太郎美術館
003-19	宇宙の誕生 『アブストラクション・ クレアション版画集』 より	アントワヌ・バヴスナー	シルクスクリー ン・紙 (原作：油彩)	48.4 × 68.7	1933/73	川崎市岡本太郎美術館
003-20	二つの渦と楕円の窓 『アブストラクション・ クレアション版画集』 より	ファウスト・メロッティ	リトグラフ・ 紙 (原作：デッサ ン)	83.5 × 65.5	1934/73	川崎市岡本太郎美術館
003-21	グラフィスム 『アブストラクション・ クレアション版画集』 より	テオ・ケルグ	シルクスクリー ン・紙 (原作：デッサ ン)	84.0 × 66.0	1934/73	川崎市岡本太郎美術館
003-22	コンポジション 『アブストラクション・ クレアション版画集』 より	ジャン・ヴィルリ	リトグラフ・ 紙 (原作：油彩)	83.8 × 65.7	1934/73	川崎市岡本太郎美術館
003-23	コンポジション 『アブストラクション・ クレアション版画集』 より	フランティシェク＝フォルテ イーン	シルクスクリー ン・紙 (原作：油彩)	62.7 × 51.4	1934/73	川崎市岡本太郎美術館
003-24	空間 『アブストラクション・ クレアション版画集』 より	岡本太郎	シルクスクリー ン・紙 (原作：油彩)	82.0 × 63.0	1934/73	川崎市岡本太郎美術館
003-25	コンポジション 『アブストラクション・ クレアション版画集』 より	アレクサンダー・カルダー	リトグラフ・ 紙 (原作：グワッ シュ)	65.6 × 83.8	1932/73	川崎市岡本太郎美術館

003-26	均衡 『アブストラクション・ クレアション版画集』 より	ジャン・エリオン	リトグラフ・ 紙 (原作：水彩)	65.9 × 84.0	1932/73	川崎市岡本太郎美術館
003-27	コンポジション 『アブストラクション・ クレアション版画集』 より	ハンス (ジャン)・アルプ	リトグラフ・ 紙 (原作：レリーフ)	84.0 × 66.0	1930's/73	川崎市岡本太郎美術館
003-28	白地のうへの痕跡3 『アブストラクション・ クレアション版画集』 より	ハンス・フィッシュリ	リトグラフ・ 紙 (原作：油彩)	84.0 × 65.9	1934/73	川崎市岡本太郎美術館
003-29	リズム—色彩 No. 816 『アブストラクション・ クレアション版画集』 より	ソニア・ドローネー＝テルク	シルクスクリー ン・紙 (原作：グワッ シユ)	86.0 × 65.6	1936/73	川崎市岡本太郎美術館
003-30	コンポジション 『アブストラクション・ クレアション版画集』 より	ジェラルド・ヴェリアミ	リトグラフ・ 紙 (原作：油彩)	44.5 × 65.0	1933/73	川崎市岡本太郎美術館
004	頭と貝	ハンス (ジャン)・アルプ	ブロンズ	(h) 20.5	1933	岡崎市美術博物館
005-1	ブカニエ 『紋章の放 浪』より	クルト・セリグマン	エッチング・ 紙	34.9 × 24.3	1933-34	川崎市岡本太郎美術館
005-2	女バラシューター 『紋 章の放浪』より	クルト・セリグマン	エッチング・ 紙	24.8 × 31.8	1933-34	川崎市岡本太郎美術館
005-3	隠者 『紋章の放浪』よ り	クルト・セリグマン	エッチング・ 紙	24.7 × 19.5	1933-34	川崎市岡本太郎美術館
005-4	ガスメートル調べ人 『紋章の放浪』より	クルト・セリグマン	エッチング・ 紙	34.9 × 24.6	1933-34	川崎市岡本太郎美術館
005-5	太公望 『紋章の放浪』 より	クルト・セリグマン	エッチング・ 紙	31.6 × 24.7	1933-34	川崎市岡本太郎美術館
005-6	バタ屋 『紋章の放浪』 より	クルト・セリグマン	エッチング・ 紙	34.7 × 26.0	1933-34	川崎市岡本太郎美術館
005-7	被手術者 『紋章の放 浪』より	クルト・セリグマン	エッチング・ 紙	34.7 × 24.2	1933-34	川崎市岡本太郎美術館
005-8	夫 『紋章の放浪』より	クルト・セリグマン	エッチング・ 紙	34.9 × 26.3	1933-34	川崎市岡本太郎美術館
005-9	捕鳥者 『紋章の放浪』 より	クルト・セリグマン	エッチング・ 紙	31.9 × 25.0	1933-34	川崎市岡本太郎美術館
005-10	掻き払い 『紋章の放 浪』より	クルト・セリグマン	エッチング・ 紙	31.9 × 25.0	1933-34	川崎市岡本太郎美術館
005-11	旅人 『紋章の放浪』よ り	クルト・セリグマン	エッチング・ 紙	34.9 × 28.9	1933-34	川崎市岡本太郎美術館
005-12	山地の牧牛者 『紋章の 放浪』より	クルト・セリグマン	エッチング・ 紙	36.0 × 26.4	1933-34	川崎市岡本太郎美術館
005-13	石炭王 『紋章の放浪』 より	クルト・セリグマン	エッチング・ 紙	24.7 × 19.7	1933-34	川崎市岡本太郎美術館
005-14	魔女 『紋章の放浪』よ り	クルト・セリグマン	エッチング・ 紙	34.7 × 24.2	1933-34	川崎市岡本太郎美術館
006	メムノンと蝶	クルト・セリグマン	油彩・メゾナ イトボード	122 × 150	1942	岡崎市美術博物館

第2章 シュルレアリストたちとの関わり

No.	作品名	作者名	技法材質	サイズ (cm)	制作年	所蔵
007	傷ましき腕	岡本太郎	油彩・カン ヴァス	111.8 × 162.2	1936/49	川崎市岡本太郎美術館
008	『マン・レイ—マネキン』	マン・レイ	書籍	30.8 × 27.0	1938/66	岡崎市美術博物館
009	無題 (シュルレアリス ム国際展で展示された マン・レイのマネキン)	マン・レイ	ゼラチン・ シルバー・ プリント	18.5 × 13.5	1938/66	岡崎市美術博物館
010	アンドレ・ブルトン/ ソラリゼーション	マン・レイ	ゼラチン・ シルバー・ プリント	25.2 × 20.0	1930	岡崎市美術博物館

011	シュルレアリストのグループ	マン・レイ	ゼラチン・シルバー・プリント	23.0 × 31.8	1930	岡崎市美術博物館
012	ダリの太陽	サルバドール・ダリ	油彩・メゾナイト	101.0 × 75.7	1965	岡崎市美術博物館
013	マリオネット	ハンス・ベルメール	エングレーヴィング・和紙	31.0 × 33.0	1969	岡崎市美術博物館
014	軽業師	ハンス・ベルメール	エングレーヴィング・紙	40.0 × 31.5	1967	岡崎市美術博物館
015	シュルレアリスト的コンポジション	マン・レイ	ゼラチン・シルバー・プリント	29.0 × 20.0	1931/80	岡崎市美術博物館
016	甘美な死骸	アンドレ・ブルトン、イヴ・タンギー、ヴァランティーン・ユゴー、ジャネット・タンギー	色チヨーク・黒紙	32.6 × 25.2	c.1933	岡崎市美術博物館
017	思考に対する物質の優位	マン・レイ	ゼラチン・シルバー・プリント	26.0 × 36.0	1931	岡崎市美術博物館
018	銅板プレス機の後のメレット・オッペンハイム	マン・レイ	ゼラチン・シルバー・プリント	27.7 × 21.3	1933	岡崎市美術博物館
019	ガラスの涙	マン・レイ	ゼラチン・シルバー・プリント	24.0 × 30.0	1933	岡崎市美術博物館
020	ヌード/ソラリゼーション	マン・レイ	ゼラチン・シルバー・プリント	34.2 × 25.4	1931/73	岡崎市美術博物館
021	写真機のあるセルフ・ポートレート	マン・レイ	ゼラチン・シルバー・プリント	30.0 × 22.0	1930	岡崎市美術博物館
022	鳥の足のテーブル	メレット・オッペンハイム	ブロンズ・木	65.0×70.0×50.0	1939/83	岡崎市美術博物館
023	森	マックス・エルンスト	油彩・カンヴァス	25.0 × 38.5	1927	岡崎市美術博物館
024	風景	マックス・エルンスト	油彩・紙を添付したカンヴァス	16.2 × 22.0	1939	岡崎市美術博物館

第3章 ネオ・コンクレティスムと日本

No.	作品名	作者名	技法材質	サイズ (cm)	制作年	所蔵
025-1	詩集『水たまり』挿絵	クルト・セリグマン	エッチング・紙	28.0 × 23.0	1935	川崎市岡本太郎美術館
025-2	詩集『水たまり』挿絵	クルト・セリグマン	エッチング・紙	28.0 × 23.0	1935	川崎市岡本太郎美術館
025-3	詩集『水たまり』挿絵	クルト・セリグマン	エッチング・紙	28.0 × 23.0	1935	川崎市岡本太郎美術館
025-4	詩集『水たまり』	ジャン・ポール＝コレ	冊子		1935	川崎市岡本太郎美術館
026	蝶の軌跡	長谷川三郎	油彩・カンヴァス	130.0 × 161.5	1937	京都国立近代美術館
027	ブーメラング	下郷羊雄	油彩・板	40.9 × 32.0	1935	名古屋市美術館
028	指の上のローソク	下郷羊雄	油彩・カンヴァス	24.0 × 33.1	1936	名古屋市美術館
029	作品	下郷羊雄	油彩・カンヴァス	53.2 × 65.5	1938	名古屋市美術館
030	失題	下郷羊雄	油彩・カンヴァス	31.8 × 41.0	1942	川崎市岡本太郎美術館
031	眼のある風景	鬚光	油彩・カンヴァス	102.0 × 193.5	1938	東京国立近代美術館
032	詩画集『妖精の距離』 ※ 12点組のうち各6点を前・後期展示	阿部芳文、瀧口修造	印刷・紙	30.2 × 48.4 × 1.0	1937	国立国際美術館

第Ⅱ部 対極主義とアンフォルメル

第1章 パリにおける交流と成熟

No.	作品名	作者名	技法材質	サイズ (cm)	制作年	所蔵
033	黒い太陽	岡本太郎	油彩・カンヴァス	91.3 × 117.0	1949	川崎市岡本太郎美術館
034	夢の鳥	岡本太郎	油彩・カンヴァス	80.0 × 100.0	1951	川崎市岡本太郎美術館
035	足場	岡本太郎	油彩・カンヴァス	99.0 × 73.0	1952	一般財団法人草月会
036	歩く人	岡本太郎	油彩・カンヴァス	91.0 × 73.0	1952	川崎市岡本太郎美術館
037	憂愁	岡本太郎	油彩・カンヴァス	100 × 65	1947	一般財団法人草月会
038	二人	岡本太郎	油彩・カンヴァス	66.5 × 100	1948	川崎市岡本太郎美術館
039	作家	岡本太郎	油彩・カンヴァス	116.7 × 91.0	1948	川崎市岡本太郎美術館
040	重工業	岡本太郎	油彩・カンヴァス	100.0 × 80.5	1949	川崎市岡本太郎美術館
041	まひるの顔	岡本太郎	油彩・カンヴァス	130.3 × 162.6	1949	川崎市岡本太郎美術館
042	変身	岡本太郎	油彩・カンヴァス	114.5 × 80.0	1953	川崎市岡本太郎美術館
043	青空	岡本太郎	油彩・カンヴァス	162.0 × 226.0	1954	川崎市岡本太郎美術館

第2章 展覧会オーガナイザーとしての岡本太郎

No.	作品名	作者名	技法材質	サイズ (cm)	制作年	所蔵
044	棒占い	イヴ・タンギー	エッチング・彩色モノタイプ・紙	29.6 × 22.4	1947	兵庫県立美術館
045	無題	イヴ・タンギー	エッチング・紙	23.5 × 32.0	1944	兵庫県立美術館
046	金魚	ウィリアム・ヘイター	エッチング・紙	34.0 × 46.0	1957	兵庫県立美術館
047	昼と夜	ウィリアム・ヘイター	エッチング・紙	60.0 × 45.0	1952	兵庫県立美術館
048	殉教者	海老原喜之助	油彩・布	100.0 × 72.7	1951	東京国立近代美術館
049	雨	ジャン・フォートリエ	グワッシュ・石膏下地・紙・カンヴァス	81.0 × 130.0	1959	大原美術館
050	青の上の裸婦	ジャン・フォートリエ	エッチング・紙	54.0 × 47.5	1955	兵庫県立美術館
051	二つの色のトルソ	ジャン・フォートリエ	エッチング・紙	39.0 × 26.0	1955	兵庫県立美術館
052	ロドック	ジェラルド・シュネイデル	エッチング・紙	40.5 × 54.5	1956	兵庫県立美術館
053	無題	ヤロスラフ・セルパン	水彩・紙	50.1 × 65.0	1959	国立国際美術館
054	作品名不詳	ピエール・アレシンスキー	油彩・カンヴァス	24.7 × 31.5	1955	岡本太郎記念館
055	白と黒	マーク・トビー	グワッシュ・紙	32.0 × 25.0	1955	大原美術館
056	親猫・子猫	カレル・アベル	油彩・カンヴァス	55.0 × 75.0	1949	世田谷美術館
057	母と子	カレル・アベル	油彩・カンヴァス	100.0 × 110.0	1952	大原美術館
058	礫けになった馬神（影絵日記3）	小牧源太郎	油彩・布	162.0 × 131.0	1956	京都市美術館

059	会話	岡本太郎	油彩・カンヴァス	90.0 × 131.0	1956	岡本太郎記念館
060	樹人	岡本太郎	油彩・カンヴァス	100.0 × 81.0	1951	川崎市岡本太郎美術館
061	雷神	津高和一	油彩・布	97.0 × 130.0	1958	兵庫県立美術館 (山村コレクション)
062	仮標	浜田知明	エッチング・紙	97.0 × 130.0	1954	兵庫県立美術館
063	初年兵哀歌（歩哨）	浜田知明	エッチング・アクアチント・紙	23.0 × 15.7	1954	兵庫県立美術館
064	絵画	ジャン＝ポール・リオパール	油彩・カンヴァス	115.0 × 146.0	1955	大原美術館
065	パンチュール	ジャン・アトラン	油彩・カンヴァス	97.5 × 62.5	1955	一般財団法人草月会
066	コンポジション	ジャン・アトラン	油彩・カンヴァス	55.5 × 46.0	1955	一般財団法人草月会
067	作品	ジャン・アトラン	油彩・カンヴァス	45.5 × 37.5	1950	岡本太郎記念館
068	三本足の花器	イサム・ノグチ	陶	18.0×58.5× 29.5	1952	一般財団法人草月会
069	SAMURAI	今井俊満	油彩・カンヴァス	144.5 × 112.1	1961	岡崎市美術博物館
070	東方の光	今井俊満	油彩・カンヴァス	130.0 × 162.0	1962	岡崎市美術博物館
071	無題	ジョルジュ・マチウ	油彩・カンヴァス	132.0 × 162.5	1957	一般財団法人草月会
072	作品	嶋本昭三	ペンキ・ガラス・紙・布	161.5 × 127.0	1955	兵庫県立美術館 (山村コレクション)
073	作品	吉原治良	油彩・カンヴァス	116.5 × 91.5	1957	兵庫県立美術館 (山村コレクション)
074	無題	白髪一雄	油彩・紙	182.0 × 242.0	1957	豊田市美術館
075	歓喜	岡本太郎	油彩・カンヴァス	162.0 × 150.0	1963	川崎市岡本太郎美術館

第3章 「芸術は呪術である」—— 日本美術の再発見

No.	作品名	作者名	技法材質	サイズ (cm)	制作年	所蔵
076	黒い生き物	岡本太郎	油彩・カンヴァス	228.0 × 182.0	1961	川崎市岡本太郎美術館
077	風神	岡本太郎	油彩・カンヴァス	227.0 × 162.0	1961	川崎市岡本太郎美術館
078	行く人	岡本太郎	油彩・カンヴァス	162.0 × 112.0	1962	川崎市岡本太郎美術館
079	具現	岡本太郎	油彩・カンヴァス	194.0 × 131.0	1961	川崎市岡本太郎美術館
080	想念	岡本太郎	油彩・カンヴァス	193.0 × 131.0	1962	川崎市岡本太郎美術館
081	予感	岡本太郎	油彩・カンヴァス	227.0 × 547.5	1963	川崎市岡本太郎美術館
082	裂けた顔	岡本太郎	油彩・カンヴァス	162.0 × 130.0	1960	川崎市岡本太郎美術館
083	二つの顔	岡本太郎	油彩・カンヴァス	184.5 × 259.5	1957	川崎市岡本太郎美術館
084	天空に我あり	岡本太郎	油彩・カンヴァス	162.0 × 227.0	1967	川崎市岡本太郎美術館
085	顔	岡本太郎	陶	100.0×100.0× 60.0	1952	川崎市岡本太郎美術館
086-1	マスク	岡本太郎	FRP（繊維強化プラスチック）	—	1970	川崎市岡本太郎美術館

086-2	マスク	岡本太郎	FRP（繊維強化プラスチック）	—	1970	川崎市岡本太郎美術館
086-3	マスク	岡本太郎	FRP（繊維強化プラスチック）	—	1970	川崎市岡本太郎美術館
087-1	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	陶	45.0×40.0×40.0	1963-97	川崎市岡本太郎美術館
087-2	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	陶	45.0×40.0×40.0	1963-97	川崎市岡本太郎美術館
087-3	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	陶	45.0×40.0×40.0	1963-97	川崎市岡本太郎美術館
088	縄文土器	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1956.3.23 撮影	川崎市岡本太郎美術館
089	縄文土器	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1974.7.25 撮影	川崎市岡本太郎美術館
090	土面	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1956.3.23 撮影	川崎市岡本太郎美術館
091	土偶	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1956.2.23 撮影	川崎市岡本太郎美術館
092	土偶	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1956.3.23 撮影	川崎市岡本太郎美術館
093	ごめしてけれ。家の子はあくだれね	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1957.2.12 撮影	川崎市岡本太郎美術館
094	なまはげ 男鹿半島にて	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1957.2.12 撮影	川崎市岡本太郎美術館
095	鹿踊り	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1957.6.16 撮影	川崎市岡本太郎美術館
096	剣舞	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1957.6.16 撮影	川崎市岡本太郎美術館
097	おしらさま	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1957.6.17 撮影	川崎市岡本太郎美術館
098	磯御殿の石燈籠	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1955.9.2 撮影	川崎市岡本太郎美術館
099	浦上天主堂跡	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1957.3.8 撮影	川崎市岡本太郎美術館
100	浦上天主堂跡	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1957.3.8 撮影	川崎市岡本太郎美術館
101	西芳院 夜泊石	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1955.6.28 撮影	川崎市岡本太郎美術館
102	妙心寺 退蔵院の庭	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1954.12.25 撮影	川崎市岡本太郎美術館
103	大徳寺 子籬庵の飛石	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1954.12.22 撮影	川崎市岡本太郎美術館
104	席入りを待つ	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1957.4.18 撮影	川崎市岡本太郎美術館
105	友禪干す	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1957.4.16 撮影	川崎市岡本太郎美術館

106	西陣・機屋のお婆さん	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1957.4.18 撮影	川崎市岡本太郎美術館
107	道頓堀	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	40.0 × 17.0	1957.7.18 撮影	川崎市岡本太郎美術館
108	大阪・文楽座前	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1957.7.19 撮影	川崎市岡本太郎美術館
109	神魂神社本殿	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	40.0 × 18.5	1957.5.14 撮影	川崎市岡本太郎美術館
110	出雲・神代神楽・大蛇	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1957.5.14 撮影	川崎市岡本太郎美術館
111	海潮神楽・大蛇退治	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	32.5 × 34.0	1957.5.14 撮影	川崎市岡本太郎美術館
112	阿波踊り	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	40.0 × 32.0	1957.8.9 撮影	川崎市岡本太郎美術館
113	阿波踊り	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1957.8.9 撮影	川崎市岡本太郎美術館
114	箱まわしの小さな人形の首	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1957.8.9 撮影	川崎市岡本太郎美術館
115	阿波人形・初代天狗久・般若丸	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1957.8.9 撮影	川崎市岡本太郎美術館
116	斎場御嶽	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1959	川崎市岡本太郎美術館
117	斎場御嶽	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1959	川崎市岡本太郎美術館
118	久高のろ	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1959	川崎市岡本太郎美術館
119	タモト神	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1966	川崎市岡本太郎美術館
120	イザイホー、夜に続く神事	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1966	川崎市岡本太郎美術館
121	イザイホー、夜に続く神事	岡本太郎	ゼラチン・シルバー・プリント	半切	1966	川崎市岡本太郎美術館
122	太陽の塔	岡本太郎	FRP（繊維強化プラスチック）	145.0×128.0×50.0	1970	川崎市岡本太郎美術館

4 教育普及活動

※新型コロナウイルス感染症拡散防止の観点で中止した教育普及活動については、実績に“中止”と記載。

※定員欄が空欄のものは、定員の設定がないものである。

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績
01 移動博物館、出前展示	計5件					825
	00 自然・人文	計1件				0
		ととりの自然と歴史 in イオンモール日吉津	イオンモール日吉津	10月17日(土)～10月18日(日)		集計できず
	01 自然	計3件				475
		鳥取県の化石	鳥取市立明治小学校	11月9日(月)～11月13日(金)		42
		鳥取県の化石	米子市立崎津小学校	11月16日(月)～11月20日(金)		153
		鳥取県の化石	鳥取市立気高中学校	11月30日(月)～12月4日(金)		280
	02 人文	計1件				350
昭和の広告		倉吉西高等学校	11月18日(水)～12月8日(火)		350	
02 移動美術館	計1件					406
	03 美術	異世界へのまなざし	若桜郷土文化の里たくみの館	9月12日(土)～10月18日(日)		406
03 学芸員派遣(教職員向け講師・指導助言)	計9件					249
	01 自然	計4件				42
		湿原環境保全の現地検討会	菅野湿原(鳥取市国府町)・唐川湿原(岩美町)	10月14日(水)		6
		第5回千代川の今後を考える学識懇談会	鳥取県立博物館	1月13日(水)		15
		絶滅危惧植物現地確認調査	鳥取市松上神社、松上天満宮、河内神社など	2月9日(火)		3
		浚渫作業で埋没したハマナス群落及びエコトーンの件復保全作業の検討会	米子市和田海岸	3月1日(月)		18
	03 美術	計5件				207
		小学校図画工作 教員研修	博物館展示室	7月3日(金)		39
		八頭郡小学校教育研究会音楽・図工部会夏季研修	博物館会議室	7月28日(火)		16
		コレクション宅配便・教育センター連携 小学校2年目研修	倉吉体育文化会館	7月31日(金)		92
		校内授業研究会	湯梨浜中学校	1月27日(水)		39
西部地区中学校美術教育研究会研修会		岸本公民館	2月26日(金)		21	
03 学芸員派遣	計72件(うち8件中止)					2,198
01 自然	計30件(うち3件中止)				684	
	絶滅危惧種生育環境及び保全に係わる調査	智頭町穂見山	5月12日(火)		6	
	青谷学(地学)	県立青谷高等学校	5月27日(水)		18	
	総合的な学習「わたしの木」	鳥取市立岩倉小学校 教室・岩倉森	6月8日(月)		81	

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績	
03 学芸員派遣	01 自然	青谷学（地学）	県立青谷高等学校	6月10日（水）		18	
		鳥取で楽しもう ～地域社会で豊かに暮らそう～（化石に関する講義と化石レプリカ作成）	県立鳥取養護学校	6月22日（月）		11	
		一般地質学Ⅲ	鳥取大学（オンライン授業）	7月28日（火）		30	
		石ラボ♪石を拾おう、石を知ろう	鳥取砂丘こどもの国	8月 8日（土）		27	
		青谷学（生物学）	県立青谷高等学校	8月26日（水）		中止	
		こん虫のかんさつ	鳥取市立大正小学校	9月 8日（火）		28	
		青谷学（生物学）	県立青谷高等学校	9月30日（水）		19	
		青谷学（生物学）	県立青谷高等学校	10月14日（水）		18	
		鳥取・鳥根自然観察指導員交流会	南部町母塚山～要害山	10月24日（土）		19	
		万葉と神話の庭散策講座	因幡万葉歴史館	10月31日（土）		10	
		落ち葉の中のモンスターをさがそう	とっとり出合いの森	11月 8日（日）		10	
		ヒトの体のつくりと運動（動物の体のつくりとしくみ）	鳥取市立大正小学校	11月19日（木）		25	
		大地のつくりと変化	米子市立崎津小学校	11月20日（金）		29	
		鳥取県 RDB 改訂作業維管束植物部会打合せ	中部総合事務所	11月22日（日）		13	
		植物の陸上進出	鳥取大学	11月24日（火）		70	
		大地のつくりと変化（鳥取砂丘での野外観察）	鳥取砂丘	11月25日（水）		23	
		とっとり生物多様性推進センター連絡協議会	鳥取県庁第2庁舎9階第21会議室	11月26日（木）		12	
		地質時代の生物たち ―古生代、中生代、新生代の化石の変遷―	県立倉吉農業高校	12月 3日（木）		15	
		明治地区とその周辺の植物講座	鳥取市明治地区公民館	12月 6日（日）		28	
		環境を守るために私たちにできること（総合的な学習の時間）	米子市立加茂小学校	12月17日（木）		44	
		湖山池の野鳥の観察	湖山池情報プラザ・青島	1月10日（日）		中止	
		見て触って城山自然ツアー	米子市湊山公園	1月17日（日）		21	
		土の中の生物や微生物のはたらき	鳥取市立西中学校	1月19日（火）		中止	
		明治地区とその周辺の鳥など講座	鳥取市明治地区公民館	1月31日（日）		22	
		バードウォッチングおよび身近な鳥についての講座	湖山池情報プラザ	2月 9日（火）		23	
		のんのんばあ自然観察会	J R 境港駅～砲台跡	2月11日（木）		10	
		土の中の微生物	鳥取市立気高中学校	2月26日（金）		54	
	02 人文	計 12 件（うち 3 件中止）					275
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	4月 4日（土）		中止	

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績		
03 学芸員派遣	02 人文	古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	5月 2日(土)		中止		
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	6月 6日(土)		中止		
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	7月 4日(土)		20		
		古文書解読ボランティア	博物館閲覧室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	8月 1日(土)		24		
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	9月 5日(土)		24		
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	10月 3日(土)		33		
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	11月 7日(土)		32		
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	12月 5日(土)		44		
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	1月 9日(土)		35		
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	2月 6日(土)		31		
		古文書解読ボランティア	博物館会議室、倉吉博物館、米子市旧市庁舎	3月 6日(土)		32		
		03 美術	計 30 件 (うち 2 件中止)					1,239
			*コレクション宅配便	鳥取短期大学	5月28日(木)		60	
	学内の作品を活用した対話型鑑賞とファシリテーション	鳥取短期大学	6月 2日(火)		40			
	《ワークショップ》造形遊び	浦安小学校	6月11日(木)		40			
	《ワークショップ》紙コップ 10,000 個でアート	中ノ郷地区公民館	8月 7日(金)		27			
	学芸員派遣	余子公民館	8月19日(水)		中止			
	*バス招待事業 (郡家西小学校 5年)	博物館講堂, 博物館展示室	9月 4日(金)		55			
	*バス招待事業 (郡家西小学校 6年)	博物館講堂, 博物館展示室	9月 9日(水)		48			
	*バス招待事業 (住吉小学校)	博物館講堂, 博物館展示室	9月11日(金)		113			
	菓子木型の魅力、ミニ掛軸をつくろう!	博物館小会議室	9月28日(月)		4			

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績
03 学芸員派遣	03 美術	*バス招待事業（賀露小学校5年）	博物館講堂, 博物館展示室	9月30日(水)		54
		*バス招待事業（明道小学校）	博物館講堂, 博物館展示室	10月9日(金)		55
		*コレクション宅配便	大山中学校	10月14日(水)		46
		*バス招待事業（青谷小学校）	博物館講堂, 博物館展示室	10月19日(月)		30
		*バス招待事業（名和小学校）	博物館講堂, 博物館展示室	10月21日(水)		58
		*バス招待事業（浦安小学校）	博物館講堂, 博物館展示室	10月22日(木)		35
		学芸員派遣	若葉台小学校	10月23日(金)		105
		菓子木型の魅力、ミニ掛軸をつくろう！	米子市福祉保健総合センター	10月27日(火)		6
		*バス招待事業（湖山西小学校）	博物館講堂, 博物館展示室	10月29日(木)		44
		*バス招待事業（賀露小学校3年）	博物館講堂, 博物館展示室	10月30日(金)		61
		*バス招待事業（赤碕小学校）	博物館講堂, 博物館展示室	10月30日(金)		46
		学芸員派遣	鳥取養護学校	11月11日(水)		中止
		*バス招待事業（国府東小学校）	博物館講堂, 博物館展示室	11月20日(金)		15
		*バス招待事業（浦安小学校）	博物館講堂, 博物館展示室	11月26日(木)		48
		《ワークショップ》ステンシルシートでアート	鳥取市教育センターすなはま	12月1日(火)		9
		*コレクション宅配便	境港市立第二中学校	12月2日(水)	79	79
		アーティストの世界にふれてみよう	青谷小学校	12月7日(月)		38
		アーティストの世界にふれてみよう	浦安小学校	12月10日(木)		32
		*コレクション宅配便	鳥取短期大学	12月15日(火)		51
		《ワークショップ》グルグル、てんでん大きな画面に描いてみよう！	浦安小学校	2月3日(水)		31
《ワークショップ》紙コップ10,000個でArt	北栄人権文化センター	2月27日(土)		9		
04 教員の日	計1件（うち1件中止）					0
	教員のための博物館の日 2020 in 鳥取県立博物館	博物館講堂, 博物館会議室, 博物館展示室		8月4日(火)		中止
05 普及講座	計94件（うち26件中止）					2,564
	01 自然	計17件（うち6件中止）				427
		《天体観望会》春の星を見る会	多目的広場	4月26日(日)		中止
		《野外観察会》鳥取県生物学会員と歩く「生物観察会」in 21世紀の森	鳥取市河原町「21世紀の森」	5月10日(日)	30	中止
		《野外観察会》自然観察さいしょの一步	米子城跡（湊山公園）	5月31日(日)	20	中止

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績	
05 普及講座	01 自然	《野外観察会》昆虫観察入門～初夏の虫たち～	久松公園	6月7日(日)	20	中止	
		《野外観察会》ふしぎな生きもの変形菌観察会	博物館会議室・博物館周辺	6月21日(日)	12	13	
		《自然講座》地層をつくろう!	博物館会議室	7月23日(木)	20	12	
		《天体観望会》夏の星を見る会	多目的広場	7月24日(金)		中止	
		《講演会》「ときめく変形菌」「単細胞の賢さを探る」	博物館講堂	7月25日(土)	125	125	
		《自然講座》チリメンモンスターをさがそう!	博物館会議室	7月26日(日)	20	22	
		《トークライブ》「世界は変形菌でいっぱいだ フシギでカワイイ変形菌のお話」	博物館講堂	8月2日(日)	110	100	
		《自然講座》標本を調べる会	博物館会議室	8月16日(日)	0	中止	
		《野外観察会》きのこを調べる会	大山町博労座	10月10日(土)	20	26	
		《野外観察会》川原の石をしらべよう!	鳥取市河原町和奈見	10月25日(日)	10	8	
		《野外観察会》おちばの中のモンスターをさがそう!	倉吉市打吹山	10月31日(土)	20	14	
		《野外観察会》はじめてのバードウォッチング	鳥取市湖山池	11月29日(日)	20	14	
		《講演会》ザトウムシが証す中国山地の生物地理	博物館講堂	12月5日(土)	90	80	
		《自然講座》化石のスケッチ講座	博物館会議室	12月20日(日)	10	13	
	02 人文	計31件(うち6件中止)					511
			《歴史講座》※池田光仲墓所の成立について	博物館会議室	4月11日(土)	20	中止
			《歴史講座》探訪 因幡の古墳―湖山池周辺の古墳を歩く―	鳥取市内	5月17日(日)	20	中止
			《歴史講座》昭和ハウス・富永館長の昭和レトロ講座	博物館講堂, 博物館会議室	6月7日(日)	30	20
			《歴史講座》※市町村における公文書管理の現状と課題	博物館講堂	6月13日(土)	20	15
			《講演会》鳥取県のオリンピック―陸上競技選手を中心に―	博物館講堂	6月14日(日)	78	65
			《講演会》オリンピックがくれたもの	博物館講堂	6月21日(日)	78	20
		《歴史講座》60年代の鳥取市街地をぶらり～昔の地図と写真でまちあるき～	鳥取市内	6月28日(日)	15	15	
		《歴史講座》昭和ハウス・富永館長の昭和レトロ講座	博物館会議室	7月5日(日)	30	25	
		《歴史講座》※因幡神職による神葬祭運動―弘化・嘉永期を中心に―	博物館会議室	7月11日(土)	20	13	
		《歴史講座》漆塗り体験講座	博物館会議室	7月12日(日)	20	10	
		《歴史講座》めざせ! とっとり戦国博士 in 博物館	博物館会議室	7月19日(日)	12	8	

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績	
05 普及講座	02 人文	《歴史講座》※中世因幡国と広元流大江氏	博物館会議室	8月 8日(土)	20	中止	
		《歴史講座》昔の屏風の下からお宝をさがそう！	博物館会議室	8月 9日(日)	20	中止	
		《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	博物館展示室	8月23日(日)		中止	
		《歴史講座》※尼子勝久発給文書・奉行人連署状からみた再興戦	博物館会議室	10月10日(土)	20	13	
		《講演会》日本歴史における後醍醐天皇の役割	博物館講堂	10月18日(日)	120	67	
		《歴史講座》古戦場・山城・荘園をあるく一私部城で考える因幡の中世一	八頭町	11月 8日(日)	20	20	
		《歴史講座》※佐治郷司・地頭職を巡る佐治氏・曳田氏の相論について一国立歴史民俗博物館所蔵「弁官補任」紙背文書の再考一	博物館会議室	11月14日(土)	20	20	
		《歴史講座》伯耆往来をあるく(下市～御来屋)	大山町内	11月29日(日)	20	17	
		《歴史講座》※昭和22年昭和天皇巡幸時鳥取駅群衆事故の発生要因	博物館会議室	12月12日(土)	20	13	
		《歴史講座》親子で中国茶と煎茶を楽しむ会	博物館会議室	12月13日(日)	20	11	
		《民俗講座》鳥取県の民話を聞く会	博物館展示室	12月20日(日)		25	
		《歴史講座》※鳥取天徳寺と「湯所晩鐘」	博物館会議室	1月16日(土)	20	16	
		《歴史講座》古代の鏡を観察してみよう	博物館会議室・常設展示室	1月24日(日)	8	10	
		《講演会》※幕末・明治の動乱一京都府知事北垣国道と鳥取人脈一	博物館講堂	2月13日(土)	100	中止	
		《歴史講座》戦国時代の古文書解説一毛利編一	博物館会議室	2月21日(日)	20	20	
		《歴史講座》戦国時代の古文書解説一尼子編一	博物館会議室	2月28日(日)	20	20	
		《歴史講座》※学館御日記に見る藩校尚徳館	博物館会議室	3月13日(土)		15	
		《歴史講座》江戸時代の古文書を楽しむ	博物館会議室	3月13日(土)	20	16	
		《歴史講座》江戸時代の古文書を楽しむ	博物館会議室	3月20日(土)	20	17	
		《歴史講座》伯耆往来をあるく(御来屋～大山口)	大山町内	3月21日(日)	20	20	
	03 美術	計56件(うち14件中止)					1,626
		《アートシアター》若沖と江戸絵画一どうぶつたちの生きる力とユーモア	博物館講堂	4月11日(土)	70	中止	

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績
05 普及講座	03 美術	《ギャラリートーク》 美術家大辞典 近世以前編・な行	博物館展示室	4月18日(土)		中止
		《ワークショップ》 らくがきばんざい! 春編	博物館前庭	4月25日(土)		中止
		《スペシャルワークショップ》 らくがきばんざい! リズムばんざい!	博物館前庭	5月 2日(土)		中止
		《ギャラリートーク》 美術家大辞典 近現代編	博物館展示室	5月 9日(土)		中止
		《アートシアター》 ファブリックの女王	博物館講堂	5月16日(土)	70	中止
		《ワークショップ》 おでかけ大辞典—新米学芸員と街ぶら— Part2	鳥取市内	5月23日(土)	20	中止
		《スペシャルアートレクチャー》 『伝えることはきくこと』 ~わかろうとする感性を磨こう~	博物館講堂	5月30日(土)	70	中止
		《アートシアター》 ヨーゼフ・ボイスは挑発する	博物館講堂	6月 6日(土)	50	9
		《アートシアター》 ヨーゼフ・ボイスは挑発する	博物館講堂	6月13日(土)	50	8
		《アートシアター》 匠の世界シリーズ	博物館講堂	6月20日(土)	50	8
		《ワークショップつくり隊! のワークショップ》 ワークショップつくり隊公開会議	博物館会議室・博物館講堂	6月27日(土)	20	15
		《アートシアター》 若沖と江戸 絵画 どうぶつたちの生きる力とユーモア	博物館講堂	7月 4日(土)	50	9
		《ギャラリートーク》 美術家大辞典 近世以前編	博物館展示室	7月11日(土)		7
		《スペシャルワークショップ》 みつけよう! 森からの贈りもの	博物館会議室	7月18日(土)	40	49
		《ワークショップ》 泥でアート!	博物館地下バックヤード	7月25日(土)		中止
		《ワークショップ》 リアル変形菌フィギュアを作ろう	博物館会議室	8月 1日(土)	40	34
		《連携講座》 発見♪おしゃべり鑑賞会 (対話型鑑賞会)	米子市美術館	8月 8日(土)		中止
		《アートシアター》 劇場版ムーミン谷の彗星 パペットアニメーション	博物館講堂	8月15日(土)	50	中止
		《ワークショップ》 ぼん、ぼん、ぺたん! ~スタンプであそぼう	博物館会議室	8月22日(土)		中止
		《ギャラリートーク》 コレクション展Ⅲ 美術家大辞典 近世以前編	博物館展示室	8月29日(土)		中止
《アートシアター》 ファブリックの女王	博物館講堂	9月 5日(土)	50	41		
《アートシアター》 365日のシンブルライフ	博物館講堂	9月12日(土)	50	23		

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績
05 普及講座	03 美術	《アートシアター》ザ・スクエア 思いやりの聖域	博物館講堂	9月19日(土)	50	12
		《スペシャルアートレクチャー》『伝えることはきくこと』～わかろうとする感性を磨こう～	博物館講堂	9月26日(土)	70	67
		《アートシアター》劇場版ムーミン谷の彗星	博物館講堂	10月 3日(土)	70	40
		《アートレクチャー》フィンランドデザインの魅力	博物館講堂	10月10日(土)	70	43
		《講演会》フィンランドの文化に触れる	博物館講堂	10月17日(土)	70	42
		《ワークショップ》編み物をしながら、フィンランド流おうち時間を体験	博物館会議室	10月17日(土)	20	20
		《スペシャルアートシアター》かもめ食堂	博物館講堂	10月24日(土)	70	140
		《ギャラリートーク》企画展ギャラリートーク	博物館展示室	10月31日(土)		48
		《ワークショップ》挑戦！私もテキスタイルデザイナー	博物館会議室, 博物館展示室	11月 7日(土)	15	15
		《アートセミナー》展覧会を準備するなかで考えたこと～デザインの根底にあるものから文化施設のあり方まで	博物館講堂	11月14日(土)	70	29
		《ワークショップ》おでかけ大辞典―新米学芸員と街ぶらー	景福寺、玄忠寺	11月21日(土)	20	10
		《トークセッション》企画展「ミュージアムとの創造的対話03」オープニング・アーティスト・トーク	博物館展示室・博物館内	11月28日(土)		25
		《トークセッション》文化芸術と価値創造	倉吉サテライト会場	12月 5日(土)	20	15
		《アートレクチャー》作家亡き後に作品を再現すること	博物館講堂	12月12日(土)	70	20
		《特別講演会》コレクションとアーカイヴ―松澤宥・村岡三郎・原口典之を例に	博物館講堂	12月19日(土)	70	27
		《ギャラリートーク》企画展関連企画 学芸員と巡るギャラリー・ツアー	博物館展示室, 倉吉サテライト会場	12月26日(土)		55
		《スペシャル・イベント》原口典之×木野彩子「Oil, Water and Woman」	倉吉サテライト会場(倉吉市秋喜)	12月27日(日)		56
《ワークショップ》*アートの種まきプロジェクト「美術館ができるまで」を伝えるフリーペーパーづくり: 記事作成のための講座3―デザイン編(オンライン)	博物館会議室	1月16日(土)	20	10		

区分	部門	テーマ	場所	実施日	定員	実績
05 普及講座	03 美術	《ワークショップ》『図工・美術の作戦会議』みる・つくるを楽しむために	博物館展示室, 博物館会議室	1月23日(土)		中止
		《ギャラリートーク》生誕100年記念杵島隆 ―不滅のパイオニア精神 (スピリット)	博物館展示室	1月30日(土)		8
		《アートシアター》100人の子供たちが列車を待っている	博物館講堂	2月6日(土)	70	9
		《特別講演会》パリ時代の岡本太郎	博物館講堂	2月11日(木)	70	56
		《ギャラリートーク》生誕110年 岡本太郎 ―パリから東京へ	博物館展示室	2月13日(土)		52
		《スペシャルアートシアター》宇宙人東京に現わる	博物館講堂	2月20日(土)	70	62
		《アートシアター》岡本太郎関連短編映像一挙上映会	博物館講堂	2月27日(土)		115
		《アートセミナー》岡本太郎と1950年代	博物館講堂	3月6日(土)		42
		《ギャラリートーク2》生誕110年 岡本太郎 ―パリから東京へ	博物館展示室	3月13日(土)		63
		《ワークショップ》*アートの種まきプロジェクト「美術館ができるまで」を伝えるフリーパーパーづくり: 公開発送作業	倉吉未来中心	3月13日(土)		15
		《スペシャル・アートシアター》『岡本太郎が見た沖縄』+アフタートーク	博物館講堂	3月20日(土)		58
		《ワークショップ》* Art Academy ―2021―	倉吉市営ラグビー場	3月20日(土)		230
		《館外普及事業》*ミュージアム・サロン11 アートと社会と未来について	喫茶ミラクル (鳥取市気高町浜村)	3月24日(水)		25
		《ギャラリートーク》コレクション展 おしゃべり鑑賞会	博物館展示室	3月27日(土)		3
《館外普及事業》*ミュージアム・サロン12 アートと社会と未来について	西郷地区公民館 (鳥取市河原町牛戸)	3月29日(月)		11		
総計						6,242

※は鳥取地域史研究会との共催

*は美術館整備事業

5 博物館交流事業

〈中国河北博物院との交流〉

平成10年6月に友好交流館として協定書を締結して以来、研修等の人的交流、企画展の開催などの友好交流を推進し、鳥取県と河北省の国際交流の一端を担っている。

令和2年度は当館職員3名が訪問し、歴史・民俗分野を中心に情報交換や含めた今後の職員交流について協議等を行うこととしていたが、新型コロナウイルス流行のため訪問はキャンセルとなった。

〈韓国国立春川博物館との交流〉

平成14年度の春川博物館開館を契機に両館の相互訪問が始まり、平成16年度に交流内容について基本合意に至ったが、その後の政治情勢の影響で交流が中断した。

平成20年3月に春川博物館から交流再開についての具体的な提案を受け、同年5月に、平成16年の基本合意の内容で交流を進めたい旨回答したところ、平成21年9月に春川博物館から訪問団が来館され、再び交流に向けて協議を進めることとなり、平成22年12月に春川博物館から訪問団を受け入れた際に交流協定を締結した。

令和2年度は、春川博物館からの訪問を受け入れることとしていたが、新型コロナウイルス流行のため、来日はキャンセルとなった。

〈ロシアアルセニエフ極東歴史博物館との交流〉

平成21年9月、知事の「ロシア沿海地方における鳥取週間事業」での訪露の際、ロシア側の提案を受け、交流に向けて情報交換等を進めることとなった。11月にはアルセニエフ博物館職員等の訪問を受け、交流に向けて協議を進めることとなり、平成22年9月には当館職員がアルセニエフ博物館を訪問し、友好交流及び協力に関する協定を締結した。

令和2年度は当館職員3名が訪問し、教育普及分野等の交流に関する協議及び普及講座を行うこととしていたが、新型コロナウイルス流行のため訪問はキャンセルとなった。

6 ボランティア活動

●広報ボランティア「ポスター貼ります隊」

当博物館の展覧会のPRのため、ポスターを店舗、事務所、自宅などの壁面や窓等に掲出。

期 間：令和2年4月1日～令和3年3月31日（随時受付）

登録者数：232人（262か所）

（令和3年3月31日現在）

地 区	人 数	内 訳
県 東 部	152人	鳥取市：130 岩美郡：3 八頭郡：19（若桜・智頭・八頭）
県 中 部	73人	倉吉市：18 東伯郡：55（湯梨浜・琴浦・北栄）
県 西 部	5人	米子市：4 境港市：1 西伯郡：0
県 外	2人	兵庫県：2 岡山県：0

●古文書解読ボランティア

博物館が所蔵する「鳥取藩政資料」のうち「町奉行御用日記」、「御目付日記」を解読。会員各自が各1か月分を分担、コピーを受取り、自宅で解読、パソコン入力を行う。

期 間：登録した日（申込みした日）～令和3年3月31日

登録者数：50人

例 会：毎月第1土曜日午前9時30分から正午まで、博物館 会議室

毎月第1日曜日午前10時から正午まで、倉吉歴史民俗資料館研修室

毎月第1日曜日午後2時30分から4時30分まで、米子市旧庁舎 会議室

内容はいずれも、「古文書解読基礎講座」と解読原稿の読み合わせ。

※倉吉博物館、米子市山陰歴史館との共催事業、12月6日の中部会場は成徳公民会に変更した。

例会開催日	参加者	古文書解読基礎講座内容
4月3日(土)・4日(日)	中止	新型コロナウイルス拡散防止のため中止
5月2日(土)・3日(日)	中止	同上
6月6日(土)・7日(日)	中止	同上
7月4日(土)・5日(日)	30名	第166回 鳥取藩の幕府献上儀礼①
8月1日(土)・2日(日)	24名	第167回 江戸時代の病と鳥取一資料にみる病名一
9月5日(土)・6日(日)	30名	第168回 鳥取藩の幕府献上儀礼②
10月3日(土)・4日(日)	33名	第169回 武士は太ると・・・
11月7日(土)・8日(日)	30名	第170回 鳥取藩の幕府献上儀礼③
12月5日(土)・6日(日)	44名	第171回 池田家墓所と地域社会
1月9日(土)・10日(日)	30名	第172回 野間宗蔵『因州記』にみる一年①
2月6日(土)・7日(日)	31名	第173回 鳥取藩災害史序説 洪水
3月6日(土)・7日(日)	30名	第174回 野間宗蔵『因州記』にみる一年②

※回数は博物館での開催数

7 県民との連携・地域への貢献

(1) 協力等対象団体の承認

令和2年度の新規の承認なし

(2) 協力等の実績

ア 鳥取民俗懇話会

(ア) 総会・講演会

月 日 令和2年4月4日（土）

会 場 さざんか会館 アクティブ鳥取

概 要 総会では事務局から平成31（令和元）年度の事業報告・会計報告をし、承認された。続いて、令和2年度の事業計画と予算を提案し、承認された。この後、公開講座「現代に残る江戸時代のわらべ歌」（講師 酒井董美さん）を聴講した。

(イ) 例会

令和2年8月22日（土）／会場：エネトピア／概要：とっとり民話を語る会との共催事業「ふるさと民話の集い—因幡国に伝わる鬼の民話—」

令和2年9月6日（日）／会場：さざんか会館アクティブ／概要：異新会員による「鳥取の神社名と祭神—長田神社（鳥取市）と勝田神社（米子市）」の発表を聴く。

令和2年10月4日（土）／会場：さざんか会館 ボランティア室／概要：松井純一会員による「多鯰ヶ池伝説」の発表を聴く。

令和2年11月1日（日）／会場：さざんか会館アクティブ／概要：内田克彦さん・大田勝也さん（外部講師）による「卯垣の八百比丘尼」の発表を聴く。

令和2年12月6日（日）／会場：松江テルサ／概要：山陰民俗学会の例会に参加（研究発表・講演を聴く）。

令和3年2月7日（日）／会場：さざんか会館ボランティア室／概要：福代宏会員による「節分と鬼」の発表を聴く。

令和3年3月7日（日）／会場：さざんか会館アクティブ／概要：田中精夫さん・山本輝美さんによる「佐治町木合谷の木地師について」の発表を聴く。

（5、6、7月の例会は新型コロナウイルス感染症拡散防止の観点から休止）

イ いわみガイドクラブ

オカヒジキもどってこいこいプロジェクト

月 日 令和2年5月31日（日）

会 場 岩美町熊井浜

概 要 在来種のおかひじきと生育場所が競合する外来種のおにハマダイコンを抜き取り、おかひじきを呼び戻す環境保全プロジェクトを実施。

共 催 くまやの自然を守る会、環境省近畿地方事務所浦富自然保護官事務所

ウ 自然観察指導員鳥取連絡会

(ア) 自然観察会

令和2年6月14日（日）／米子市湊山公園／米子城跡での定点観察会

令和2年7月18日（月・祝）／若桜町大鹿滝／大鹿滝周辺の自然観察と、希少植物の調査・撮影

令和2年8月30日（日）／北栄町馬の山／トウテイラン、ノシランなど蘭でないランの観察

令和2年9月13日(日) / 米子市湊山公園 / 一般から参加者を募った自然観察会 / 共催: 米子市文化振興課

令和2年10月11日(日) / 南部町母塚山～要害山 / 鳥取・島根自然観察指導員交流会開催のための準備観察会

令和2年11月21日(土) / 鳥取市鳥取砂丘(浜坂砂丘) / シモコシ、マツバハリタケなど冬のキノコの観察・採集

令和2年12月12日(土) / 鳥取市栗谷～ひょうたん池～久松山山頂 / 低山の常緑植物や冬越しをする昆虫などの観察

令和3年1月17日(日) / 米子市湊山公園 / 一般から参加者を募った自然観察会 / 共催: 米子市文化振興課

令和3年2月11日(木・祝) / 境港市水木しげるロード～旧砲台公園 / 観光地の石材、街路樹等の観察。水木しげるが見たであろう景観の観察

令和3年3月28日(土) / 鳥取市青谷町かちべ伝承館と周辺の滝 / 山菜や救荒植物の生育環境の観察、採集、分類、試食

(イ) 鳥取・島根自然観察指導員交流会

月 日 令和2年10月24日(土)

会 場 南部町母塚山～要害山

概 要 母塚山展望駐車場～母塚山～要害山を縦走して菌類や半寄生植物のヒノキバヤドリギなど地域の生物を観察

(ウ) 総 会

月 日 令和2年12月12日(土)

会 場 鳥取県立博物館(鳥取市)

エ 鳥取地域史研究会

(ア) 研究報告書等の編集・発行

鳥取地域史研究第23号発行 2021年2月発行

(イ) 記念講演会

※令和3年2月13日(土)に鳥取県立博物館において、高久嶺之介氏(同志社大学名誉教授)を講師に招いて開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症流行のため中止とした。

(ウ) 月例会

6月例会 / 令和2年6月13日(土) / 於・鳥取県立博物館 / 報告: 田中健一氏「市町村における公文書管理の現状と課題」

7月例会 / 令和2年7月11日(土) / 於・鳥取県立博物館 / 報告: 岸本覚氏「因幡神職による神葬祭運動」

9月例会西部例会 / 令和2年9月21日(土) / 日南町巡見

10月例会 / 令和2年10月10日(土) / 於・鳥取県立博物館 / 報告: 石井伸宏氏「佐治郷司・地頭職を巡る佐治氏・曳田氏の争論について」

11月例会 / 令和2年11月14日(土) / 於・鳥取県立博物館 / 報告: 山本隆一郎氏「尼子勝久発給文書・奉行人連署状から見た再興戦」

12月例会 / 令和2年12月12日(土) / 於・鳥取県立博物館 / 報告: 西村芳将氏「昭和22年昭和天皇巡幸時鳥取駅群衆事故の発生要因」

1月例会 / 令和3年1月16日(土) / 於・鳥取県立博物館 / 報告: 米谷均氏「鳥取天徳寺と『湯所晩鐘』」

3月例会／令和3年3月13日（土）／於・鳥取県立博物館／報告：坂本敬司氏「学館御日記
に見る藩校尚徳館」

（4, 5, 8月の例会は新型コロナウイルス感染症流行のため休止）

オ 鳥取県生物学会

（ア） 会誌の編集・発行

『山陰自然史研究』16号の発行

（イ） 令和2年度《野外観察会》鳥取県生物学会員と歩く生物観察会 in 21世紀の森

※令和2年5月10日（日）に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

（ウ） 令和2年度生物観察会（鳥取地学会と合同開催）

月 日 令和2年11月15日（日）

会 場 鳥取市青谷町勝部エリア（不動滝、湯原滝、建山神社、子守神社）

概 要 参加者40名（うち生物学会員23名）

（エ） 令和2年度研究発表会・講演会

月 日 令和2年12月5日（土）

会 場 鳥取県立博物館 講堂

概 要 一般講演10題

講演会『ザトウムシが証す中国山地の生物地理』／講師：鶴崎展巨氏（鳥取大学農学部教授）

カ 鳥取地学会

（ア） 研究報告書等の編集・発行

鳥取地学会誌第24号発行（2020年6月発行）

（イ） 第25回総会

書面決議／概要（2019年度事業および会計報告・会計監査報告・会計決算承認・2020年度事業案および予算案承認）

（ウ） 第44回現地研修会（鳥取県生物学会と共催）

月 日 令和2年11月15日（日）

会 場 鳥取市青谷町勝部・日置地域

概 要 山陰海岸ジオパークめぐり（日置・勝部エリア）

（エ） 年末講演会

月 日 令和2年12月12日（土）

会 場 県民ふれあい会館5階講義室

概 要 講師：向吉秀樹氏（鳥根大学）

演題：「山陰地方のテクトニクスと断層発達および地震活動」

春の現地研修会と記念講演会は延期、研究発表会は中止とした。

8 その他の事業

(1) 資料の貸出

分野	品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸出先	貸付の目的
自然	リュウグウノツカイ	1	剥製	R1.12.17～ R2. 7.30	姫路市立水族館	企画展「UMA とへんてこ生物」での展示
	キノコ資料	22	アクリル標本 および造形物	R2. 2.20～ R2. 5.25	鳥取県立倉吉西高等学校	図書室で展示
	ヒバリ剥製	1	剥製	R2. 3.11～ R2. 7.31	鳥根県立三瓶自然館	企画展「絵巻物とみる三瓶山今昔」での展示
	動物資料	14	剥製	R2. 4. 1～ R3. 3.31	氷ノ山自然ふれあい館“響の森”	常設展示
	自然資料	88	化石 剥製 レプリカ 樹脂封入	R2. 4. 1～ R3. 3.31	山陰海岸ジオパーク 海と大地の自然館	常設展示
	ナウマンゾウ切歯 ほか	7	化石	R2. 6.15～ R2.10.15	鳥根県立三瓶自然館	企画展「鳥根にもいた！失われたゾウの世界」での展示
	地学資料	一式	化石	R2. 9.28～ R2.11.17	鳥取県立図書館	特別資料展「県民に役立ち、地域に貢献する図書館—県立図書館30年のあゆみ—」での展示
人文	碧玉製勾玉など	3件 17点		R2. 4. 1～ R3. 3.31	鳥根県立古代出雲歴史博物館	常設展示室で展示するため
	因幡国庁出土墨書土器（「厨」）など	43点		R2. 4. 1～ R3. 3.31	因幡万葉歴史館	常設展示室で展示するため
	寛文六年鳥取藩家老日記等	3点		R2. 5.15～ R2.10.15	鳥根県立古代出雲歴史博物館	企画「大地に生きる～しまねの災と幸～」で展示するため
	復元磨製石斧4点、復元鉄斧3点	7点		R2. 7.30～ R2. 8. 4	鳥取県埋蔵文化財センター	講座「孫と一緒に、親子一緒に学ぶ『発見！地域の弥生遺跡』」の教材として使用するため
	鳥取県琴浦町竹内出土 泥塔	15点		R2. 9.10～ R2.12.25	朝来市埋蔵文化財センター	朝来市埋蔵文化財センター 2020年度特別展への出陳のため
	池田恒興画像・池田輝政画像	2点		R2. 9.20～ R2.12.15	兵庫県立考古博物館	特別展「兵庫ゆかりの武将たち—明智光秀とその時代—」に出品するため
	鳥取藩史稿本十四等	17点		R2.10. 4～ R2.11.30	鳥取市あおや郷土館	展覧会「令和二年青谷場所 因州・鳥取の角力取」への出陳のため

分野	品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸出先	貸付の目的
人 文	わかとり国体関係資料	一括		R2.10.22～ R2.12.11	鳥取県立公文書館	会館30周年記念展「映像フィルムに刻まれた昭和のとっとり—16mmフィルムから再現された記録—」に出陳するため
	浜坂横穴墓出土須恵器	6点		R3. 1.16～ R3. 3.31	浜坂小学校	児童の歴史学習のため
	明治二年御支配帳等	4点		R3. 2. 3～ R3. 3.17	鳥取県立図書館	特別資料展「郷土文教の源流 遠藤董一若き日のすがた—」への出陳
美 術	國領經郎《悠々》他	16	油彩・カンヴァス等	R2. 3. 1～ R2. 4.12	酒田市美術館	「生誕100年 國領經郎展」酒田展に出品のため
				R2. 7. 1～ R2. 8.30	茅ヶ崎市美術館	「生誕100年 國領經郎展」茅ヶ崎展に出品のため
	片山楊谷「花王獸王図」他	2	絹本・著色	R2. 4.25～ R2. 6.21	東京都江戸東京博物館	「奇才—江戸絵画の表現者たち」東京展に出品のため
				R2. 7. 8～ R2. 8.29	山口県美術館	「奇才—江戸絵画の表現者たち」山口展に出品のため
				R2. 9.12～ R2.11. 8	あべのハルカス美術館	「奇才—江戸絵画の表現者たち」大阪展に出品のため
	辻晉堂「顔(寒拾)」他	15	陶	R2. 4.25～ R2. 6.21	愛知県陶磁美術館	生誕110周年記念展「現代彫刻の異才 辻晉堂」愛知展に出品のため
				R2. 7. 8～ R2. 8.29	米子市美術館	生誕110周年記念展「現代彫刻の異才 辻晉堂」米子展に出品のため
				R2. 9.12～ R2.11. 8	美術館「えき」KYOTO	生誕110周年記念展「現代彫刻の異才 辻晉堂」京都展に出品のため
	曾我蕭白「月夜山水図襖」他	3	紙本・墨画	R2.10.28～ R2.11. 4	石谷家住宅	20周年記念特別展「迎賓ふたび」出品のため
	野崎信次郎《Space(75-3)》他	2	木版画	R2.12.21～ R3. 2. 2	倉吉市文化活動センター リフレギャラリー	「倉吉の版画秀作展」に出品のため
根本幽峨「内裏雛図」	1	絹本・著色	R3. 2.26～ R3. 3.25	石谷家住宅	「石谷家のお雛様展」に出品のため	

9 学芸員の業績（令和2年度：2020年4月～2021年3月）

業績は、原則、以下の基準に従って分類・掲載した。記載事項については、すべて各学芸員個人の申告による。

■印刷物

【著書・論文】…専門的著書、学会誌やそれに準ずる出版物に公表された原著論文。

【報告書・図録等】…報告書や展覧会図録等において、本人が編集等の中心的役割を担当したもの。

【短報・目録・その他】…上記に該当しない著書、短報、研究ノート、目録等。

【普及的著作】…新聞掲載コラム等、普及的著作物。

■研究発表：学会・研究会における口頭発表、ポスター発表及びそれに準ずるもの。

■博物館事業・その他：

【展示】…展覧会等の開催において、本人が中心的役割を果たしたもの。

【普及的事業】…学芸員講座やその他の普及的活動で、本人が中心的役割を果たしたもの。

尾崎 信一郎 OSAKI, Shinichiro

副館長

担当：現代美術

■印刷物

【報告書・図録等】

尾崎信一郎（2020）「歪んだ鏡の中のグタイ」 pp. 88 - 92
『須田記念 視覚の現場』第2号 醍醐書房

尾崎信一郎（2020）「川端実のブレイクスルー」 pp. 73 - 78
『川端実 満ちゆく絵画』大塚美術

尾崎信一郎（2020）「森田子龍と前衛書」
『墨人 森田子龍』展パンフレット 思文閣 頁なし

尾崎信一郎（2020）「柴田知佳子の絵画」『SHIBATA CHIKAKO WORKS 2015 - 2019』頁なし

尾崎信一郎（2021）「緊急事態宣言下の岡本太郎展」 pp. 5 - 6
「岡本太郎と1950年代」 pp. 116 - 120
『岡本太郎 バリから東京へ』展図録 鳥取県立博物館

【講演録】

尾崎信一郎（2021）「尾崎信一郎氏講演録 山村コレクションは美術館に何を問いかけるか」 pp. 52 - 71
江上ゆか・鈴木慈子編 『兵庫県立美術館研究紀要』No. 15

【普及的著作】

尾崎信一郎（2020）鳥取県立博物館だより：自然部門と美術部門のコラボレーション 日本海新聞（鳥取）
2020 / 8 / 27

尾崎信一郎（2021）鳥取県立博物館だより：岡本太郎―パリから東京へ 日本海新聞（鳥取）2021 / 2 / 11

尾崎信一郎（2021）鳥取県立博物館だより：博物館この一年 日本海新聞（鳥取）2021 / 3 / 27

尾崎信一郎（2021）企画展「受贈記念 垣田堅二郎コレクション展 近現代版画の魅力―ルオー、クラーク、菅井汲、深澤幸雄、李禹煥らを中心に―」鳥取県立博物館ニュース、31 : 2

■博物館事業

【普及的事業】

2020年12月12日 《アートセミナー》
「作家亡き後に作品を再現するということ」 鳥取県立博物館

2021年 3月 6日 《アートセミナー》
「岡本太郎と1950年代―吉原治良との対比において」 鳥取県立博物館

川上 靖 KAWAKAMI, Yasushi

博士（農学）

主幹学芸員

学芸課 自然担当 担当：動物（昆虫）

■印刷物

【短報・目録・その他】

鶴 智之・川上 靖（2021）鳥取県立博物館に寄贈された田村豊實チョウ類コレクション目録. 鳥取県立博物館研究報告 58 : 49 - 101 .

【普及的著作】

川上 靖（2020）鳥取県立博物館だより：自然の声を聞いてみよう～春に鳴くクビキリギス～. 日本海新聞（鳥

取), 2020 / 4 / 23.
川上 靖 (2020) 鳥取県立博物館だより:「ザトウムシが証す中国山地の生物地理」来月5日講演会. 日本海新聞 (鳥取), 2020 / 11 / 26.

■博物館事業・その他

【普及的事業 (講師担当のみ)】

2020年 7月26日 《講師》親子で楽しむ「虫さがし」. とっとり21世紀の森. 場所:とっとり21世紀の森 (鳥取市).
2020年 9月 8日 《講師》3年理科「こん虫のかんさつ」. 鳥取市立大正小学校. 場所:鳥取市立大正小学校 (鳥取市).
2020年10月 4日 《講師》野外観察イベント「トンボ取りレース」. とっとり出合いの森. 場所:とっとり出合いの森 (鳥取市).
2020年10月14日 《講師》鳥取県立青谷高等学校「青谷学」~日置川の谷の環境と生きもの~. 鳥取県立青谷高等学校. 場所:鳥取市青谷町和紙工房および清宗院周辺 (鳥取市).
2020年12月17日 《講師》4年生総合的な学習「環境を守るために私たちにできること」. 米子市立加茂小学校. 場所:米子市立加茂小学校 (米子市).

【その他】

2020年 (任期:2021年6月30日まで) 希少野生動植物種保存推進員 (環境省).
2020年 鳥取県生物学会「山陰自然史研究」編集委員長.
2020年度 山陰海岸ジオパーク推進協議会事務局「学術部会」委員.
2020年度 中国地方昆虫学会 鳥取県委員
2020年10月13日 第64回「日本学生科学賞」鳥取県審査 審査員. 読売新聞社鳥取支局 (鳥取市).
2020年度 第64回鳥取県美術展覧会 (写真部門) 審査員・講師.
2020年度 鳥取県高等学校文化連盟写真専門部講師・審査員 (鳥取県高等学校文化連盟).

一澤 圭 ICHISAWA, Kei

博士 (学術)

主幹学芸員

学芸課 自然担当 担当:動物

■印刷物

【論文】

一澤 圭 (2020) トビムシの高次分類体系における近年の動向. Edaphologia 108: 1 - 22.

【普及的著作】

一澤 圭 (2020) 鳥取県立博物館だより: チリメンモンスターを観察しよう. 日本海新聞 (鳥取), 2020 / 7 / 9.
一澤 圭 (2020) 鳥取県立博物館だより: 森を支える“ウンチ”. 日本海新聞 (鳥取), 2020 / 10 / 15.
一澤 圭 (2020) 鳥取県立博物館だより: 鳥の眼と首. 日本海新聞 (鳥取), 2020 / 11 / 12.
一澤 圭 (2021) 企画展「QooDZILLA!! クジラとイルカの世界」. 鳥取県立博物館ニュース, 31: 3.

■博物館事業・その他

【展示】

2020年 6月23日~10月12日 自然の窓「海の名脇役 エイ」. 鳥取県立博物館常設展示室.

【普及的事業 (講師担当のみ)】

2020年10月29日 《講師》連携授業: 鳥取市立西中学校 第2学年理科「生物の進化」. 鳥取県立博物館講堂および常設展示室.
2020年10月31日 《野外観察会》おちばの中のモンスターをさがそう! 打吹公園 (倉吉市).
2020年11月 4日 《講師》出前授業: 鳥取市立大正小学校「4年生理科 ヒトの体のつくりと運動 (動物の体のつくりとしくみ)」. 鳥取市立大正小学校4年教室 (鳥取市).
2020年11月 8日 《講師》野外観察会: とっとり出合いの森「落ち葉の中のモンスター」. とっとり出合いの森 (鳥取市).
2020年11月29日 《野外観察会》はじめてのバードウォッチング. 湖山池青島 (鳥取市).
2021年 1月31日 《講師》明治地区公民館学習講座「明治地区とその周辺の鳥など」. 明治地区公民館大会議室 (鳥取市).
2021年 2月 9日 《講師》野外観察会: 鳥取ルーテル幼稚園「バードウォッチング」. 湖山池情報プラザ (鳥取市).
2021年 2月26日 《講師》出前授業: 鳥取市立気高中学校「3年生理科 土の中の微生物」. 鳥取市立気高中学校第2理科室 (鳥取市).

【その他】

2020年 9月～ 特別天然記念物オオサンショウウオ保護方針検討会（鳥取県文化財局）委員。

田邊 佳紀 TANABE, Yoshiki

博士（理学）

主任学芸員

学芸課 自然担当 担当：地学

■印刷物

【著書・論文】

- 田邊佳紀・田中敏明（2020）鳥取県指定天然記念物「辰巳峠の植物化石産出層」について ―その1. 地質、大型植物化石と昆虫化石―. 鳥取地学会誌, 24, 17-30.
- 清水道代・田邊佳紀・渡邊克典（2020）鳥取県立博物館収蔵地学標本の活用に向けて ―鳥取県三朝町成産植物化石の整理記録―. 鳥取地学会誌, 24, 31-42.
- Tanabe, Y., Onodera, M., Nakatsukasa, M., Kunimatsu, Y. and Nakaya, H. (2020) A new cane rat (Rodentia, Thryonomyidae) from the Upper Miocene Nakali Formation, northern Kenya. The Journal of the Geological Society of Japan, 126 (4) : 167-181.

【普及的著作】

- 田邊佳紀（2020-2021）（連載）何でも発見、たのしい観察：日本海新聞日曜版（鳥取）。2020/4-（10回）。
- 田邊佳紀（2020）鳥取県立博物館だより：隕石。日本海新聞（鳥取），2020/4/2。
- 田邊佳紀（2020）鳥取県立博物館だより：地層を読み解く ―堆積構造とそのでき方―。日本海新聞（鳥取），2020/7/2。
- 田邊佳紀（2020）鳥取県立博物館だより：洪水浸入線。日本海新聞（鳥取），2020/10/8。
- 田邊佳紀（2020）〔自然〕コラム 鉱物の“硬度”を探る ―モース硬度―。鳥取県立博物館ニュース, 30:6。
- 田邊佳紀（2020）鳥取県立博物館だより：化石研究と「スケッチ」。日本海新聞（鳥取），2020/12/3。

■博物館事業・その他

【展示】

- 2020年 8月28日～ 「三朝成植物化石群」。鳥取県立博物館常設展示室。
- 2020年10月13日～1月31日 「『三葉虫』、展示中!」。鳥取県立博物館常設展示室自然の窓。
- 2020年11月14日～ 「鳥取県にあった鉱山」。鳥取県立博物館常設展示室。

【普及的事業（講師担当のみ）】

- 2020年 5月27日《講師》青谷学「青谷の地形・地質」。鳥取県立青谷高等学校。
- 2020年 6月22日《講師》鳥取で楽しもう ～地域社会で豊かに暮らそう～（化石に関する講義と化石レプリカ作成）。鳥取県立鳥取養護学校。
- 2020年 7月28日 《自然講座》地層をつくろう!。鳥取県立博物館会議室。
- 2020年 7月28日 《講師》一般地質学Ⅲ。鳥取大学農学部。
- 2020年 8月 8日 《講師》夏ラボ♪石を拾おう、石を知ろう。鳥取砂丘こどもの国。
- 2020年10月25日 《野外観察会》。川原の石をしらべよう!。鳥取市河原町和奈見，和奈見公民館。
- 2020年11月20日 《講師》第6学年「大地のつくりと変化」。米子市立崎津小学校。
- 2020年11月24日 《講師》植物の陸上進出。鳥取大学。
- 2020年11月25日 《講師》第6学年「大地のつくりと変化」（鳥取砂丘での野外観察）。八頭町立船岡小学校。
- 2020年12月 3日 《講師》「地質時代の生物たち ―古生代、中生代、新生代の化石の変遷―」。鳥取県立倉吉農業高等学校。
- 2020年12月20日 《自然講座》化石のスケッチ講座。鳥取県立博物館会議室。
- 2021年 3月19日 《講師》鳥取西高等学校「ESDセミナー 中国山地の地質と山城」。鳥取県立博物館講堂。

【その他】

- 2020年度 鳥取県立博物館研究報告編集長。
- 2020年度 鳥取地学会誌編集委員。
- 2020年度後期 鳥取大学非常勤講師。講義「地球科学（新しい地球観の基礎）」[植物の陸上進出]を担当。

清末 幸久 KIYOSUE, Yukihisa

主幹学芸員

学芸課 普及・自然担当 担当：植物

■印刷物

【普及的著作】

- 清末幸久（2020）鳥取県立博物館だより：わかると楽しいドクダミの花。日本海新聞（鳥取），2020/5/14
- 清末幸久（2020）鳥取県立博物館だより：変形菌との出会い方。日本海新聞（鳥取），2020/6/4

- 清末幸久 (2020) 鳥取県立博物館だより：フシギでカワイイ変形菌のお話. 日本海新聞 (鳥取), 2020/7/30
- 清末幸久 (2020) 鳥取県立博物館だより：キノコの本当の大きさ. 日本海新聞 (鳥取), 2020/9/24
- 清末幸久 (2021) 資料紹介 ナガエノスギタケ発生環境模型. 鳥取県立博物館ニュース, 31:3.

■研究発表

【口頭発表】

- 清末幸久 (2021年2月27日) 企画展「こんにちは変形菌! とってもふしぎな生きものです。」からの報告. 日本変形菌研究会2021研究大会. オンライン開催
- 北山大樹・小園淳平・清末幸久・羽生田岳昭・鈴木雅大 (2021年3月9日) 駒ヶ根市光前寺に生育する淡水産紅藻カワモズク科2種について. 日本植物分類学会大20回大会. オンライン開催

■博物館事業・その他

【展示】

- 2019年12月21日～2020年 6月22日 「身近でふしぎな生きものの変形菌」常設展示室自然の窓コーナー
- 2020年 3月15日～11月 6日 「オオイヌノフグリの仲間」常設展示室小コーナー
- 2020年 7月18日～ 8月30日 企画展 「こんにちは変形菌! とってもふしぎな生きものです。」第1・第2特別展示室
- 2020年11月 7日～12月25日 「クリスマスカラーの植物たち」常設展示室小コーナー
- 2020年12月26日～2021年 3月29日 「ウシにまつわる植物」常設展示室小コーナー
- 2021年 3月30日～ 「いちごのなかま」常設展示室小コーナー

【普及的事業 (講師担当のみ)】

- 2020年 6月21日 《自然講座》ふしぎな生きものの変形菌観察会 [講師役の一部を担当]. 博物館会議
- 2020年10月10日 《野外観察会》きのこを調べる会 [講師役の一部を担当]. 大山町大山博労座駐車場.

【その他】

- 2020年 5月12日 《学芸員派遣》絶滅危惧種生育環境及び保全に係わる調査. 鳥取県生活環境部緑豊かな自然課. 穂見山 (智頭町)
- 2020年 6月 8日 《講師》総合的学習「わたしの木」. 鳥取市立岩倉小学校. 鳥取市立岩倉小学校教室・岩倉森 (鳥取市)
- 2020年 8月30日 《野外観察会講師》蘭じゃないランの観察会. 自然観察指導員連絡協議会. 馬の山 (湯梨浜町)
- 2020年 9月30日 《講師》青谷学「エコトーンの観察: 波打ち際と海浜植物との距離を調べる」. 鳥取県立青谷高等学校. 長和瀬海岸 (青谷町)
- 2020年10月14日 《学芸員派遣》湿原環境保全の現地検討会. 鳥取県生活環境部緑豊かな自然課. 菅野湿原 (鳥取市国府町)・唐川湿原 (岩美町)
- 2020年10月24日 《野外観察会講師》鳥取・鳥根自然観察指導員交流会. 自然観察指導員鳥取連絡会・鳥根県自然観察指導員連絡協議会. 母塚山～要害山 (南部町)
- 2020年10月31日 《野外観察会講師》万葉と神話の庭散策講座. 因幡万葉歴史館. 因幡万葉歴史館庭園 (鳥取市)
- 2020年11月21日 《野外観察会講師》鳥取砂丘で冬さのこ収穫祭. 自然観察指導員連絡協議会. 鳥取砂丘 (鳥取市)
- 2020年12月 6日 《講師》明治地区とその周辺の植物講座. 鳥取市明治地区公民館. 鳥取市明治地区公民館 (鳥取市)
- 2020年12月12日 《野外観察会講師》2020年末観察会. 自然観察指導員鳥取連絡会. 久松山 (栗谷～ひょうたん池～山頂) (鳥取市)
- 2021年 1月17日 《野外観察会講師》見て触って城山自然ツアー. 自然観察指導員鳥取連絡会・米子市文化振興課. 米子城跡 (米子市)
- 2021年 2月11日 《野外観察会講師》のんのんばあ自然観察会. 自然観察指導員鳥取連絡会. 境港駅～旧砲台 (境港市)
- 2021年 3月 1日 《学芸員派遣》浚渫作業で埋没したハマナス群落及びエコトーンの回復保全作業の検討会. 鳥取県生活環境部緑豊かな自然課・米子市都市整備部道路整備課・米子市文化振興課. 和田浜 (米子市)

自然公園指導員 (環境省) 1984年5月～

鳥取県自然観察指導員 (鳥取県) 1991年～

鳥取県外来種検討委員会委員 (鳥取県生活環境部) 2006年～

希少野生動植物種保存推進員 (環境省) 2015年7月～

鳥取市こども科学館運営委員 (鳥取市こども科学館) 2017～

鳥取県生物多様性戦略策定委員 (鳥取県生活環境部緑豊かな自然課) 2019年～

鳥取市歴史文化基本構想調査委員 (鳥取市教育委員会) 2019年3月～

千代川の今後を考える学識懇談会 (国土交通省中国地方整備局) 2020年3月～

茶谷 満 CHAYA, Mitsuru

専門員兼学芸員

学芸課 普及担当

印刷物

【普及的著作】

茶谷 満 (2021) 鳥取県立博物館だより：デジタルアーカイブで博物館を身近に。日本海新聞（鳥取），2021 / 3 / 18.

茶谷 満 (2021) 新事業紹介「とっとりデジタルコレクション—鳥取県立4館合同のデジタルアーカイブシステムが稼働します—」。鳥取県立博物館ニュース, 31: 4.

■博物館事業・その他

【その他】

2021年 3月14日 《シンポジウムパネリスト》鳥取県立図書館主催「地域の情報をデジタルで！～「とっとりデジタルコレクション」の可能性と活用法～」。鳥取県立博物館（講堂）。

福代 宏 FUKUSHIRO, Hiroshi

主幹学芸員

学芸課 人文担当 担当：民俗

■印刷物

【報告書・図録等】

鳥取県立博物館（2020）企画展図録「輝いていた60's 1960年代のスポーツと生活文化」（編著）

【普及的著作】

福代 宏 (2020) 博物館だより：アマビエに続く救世主「白沢」米子で発見 日本海新聞（鳥取），2020 / 5 / 28.

福代 宏 (2020) 博物館だより：1960年代のスポーツと生活文化 日本海新聞（鳥取），2020 / 6 / 11.

福代 宏 (2020) 博物館だより：昭和39年の聖火リレー 日本海新聞（鳥取），2020 / 6 / 18.

■博物館事業・その他

【展示】

2020年 6月 6日～2020年 7月 5日 企画展「輝いていた60's 1960年代のスポーツと生活文化」。鳥取県立博物館第1・第2特別展示室

2021年 1月 4日～2021年 2月28日 常設展示室歴史の窓「絵葉書で見る鳥取2021—新収蔵資料から—」。鳥取県立博物館歴史・民俗展示室

【普及的事業】

2020年 6月 7日 《歴史講座》「昭和ハウス・富永館長の昭和レトロ講座」。鳥取県立博物館 講堂・第2特別展示室

2020年 6月14日 《講演会》「鳥取県のオリンピック—陸上競技選手を中心に—」。鳥取県立博物館 講堂

2020年 6月21日 《講演会》「オリンピックがくれたもの」。鳥取県立博物館 講堂

2020年 7月 5日 《歴史講座》「昭和ハウス・富永館長の昭和レトロ講座」。鳥取県立博物館 講堂・第2特別展示室

2020年12月20日 《民俗講座》「鳥取県の民話を聞く会」。鳥取県立博物館 歴史・民俗展示室

■その他

名勝及び史跡三徳山・名勝小鹿溪保存活用計画策定委員会オブザーバー

来見田 博基 KURUMIDA, Hiroki

主任学芸員

学芸課 人文担当 担当：歴史（近世史）

■印刷物

【普及的著作】

来見田博基 (2020) 博物館だより：明治の磨刀令と刀工たち 日本海新聞（鳥取） 2020 / 6 / 25

来見田博基 (2020) 博物館だより：昔の屏風の下からお宝を探そう！ 日本海新聞（鳥取） 2020 / 7 / 23

来見田博基 (2021) 博物館だより：鳥取藩の「鳥見役」の仕事 日本海新聞（鳥取） 2021 / 2 / 25

来見田博基 (2021) 資料紹介「文書筆筭の不思議な穴」鳥取県立博物館ニュース31号, 2021 / 3 / 26

【短報・目録・その他】

来見田博基 (2021) コラム「鳥取藩「湖山鴨堀」と周辺環境」、コラム「参勤交代にみる鷹の役割」『鷹狩の日本史』福田千鶴・武井弘一、2021 / 2

■博物館事業・その他

【展示】

- 2020年 5月 7日（木）～ 6月25日（日） 常設展示室歴史の窓「新収蔵コレクションお披露目（ひろめ）展示
—鳥取藩のお抱え力士たち—」. 歴史民俗常設展示室
2020年 6月24日（水）～ 8月23日（日） 美術部門コレクション展「美術家大辞典 鳥取県立博物館版 刀工編
は行」 県立博物館 美術常設展示室
2020年 9月25日（金）～10月11日（日） 「古伯耆物の系譜～伯耆における刀剣の歴史～」 日南町美術館

【普及的事業】

- 2020年 6月28日（日） 歴史講座「60年代の鳥取市街地をぶらり～昔の地図と写真でまちあるき～」 県立博物館 鳥取市内
2020年 8月、10月、12月、2021年 2月 第1土・日曜日 古文書解説ボランティア 倉吉博物館、旧米子市庁舎
（※倉吉博物館、米子市立山陰歴史館との共催事業）
2021年 3月13日・20日（土） 歴史講座「江戸時代の古文書を楽しむ」 県立博物館 会議室

【その他】

- 2020年 8月28日（金） ふるさと教養大楽②講演会「鳥取藩の参勤交代」中ノ郷地区公民館（鳥取市）
2020年度 新鳥取県史編さん専門部会近世部会委員
2020年度 鳥取災害アーカイブズ研究会 委員
2020年度 池田家墓所保存委員会委員
2020年度 科学研究費補助金・基盤研究（A）「科学研究費基盤研究 A「日本列島における鷹・鷹場と環境に
関する総合的研究」（研究代表者：福田千鶴 九州大学基幹教育院 人文社会科学部門）の研究協力者
2020年度 大雲院資料調査委員

大嶋 陽一 OOSHIMA, Yoichi

主任学芸員

学芸課 人文担当 担当：歴史（近世史）

■印刷物

【論文・研究ノート】

- 大嶋陽一（2021） 近世前・中期における鳥取藩の御用絵師とその制度的展開について. 鳥取県立博物館研究報告58. 鳥取県立博物館.
大嶋陽一（2021） 享保初年の鳥取城中ノ丸の改築について. 鳥取城調査研究年報第14号. 鳥取市教育委員会.
大嶋陽一（2021） 倉吉荒尾家の菩提寺・位牌所と墓所. 文化財だより第79号. 倉吉文化財協会.

【普及的著作】

- 大嶋陽一（2020） 《人文》コラム ふたつの肖像 池田仲立と龍丸. 鳥取県立博物館ニュース, 30 : 7
大嶋陽一（2020） 鳥取県立博物館だより：戦時下のポスター・雑誌から戦後75年を考える. 日本海新聞（鳥取）,
2020 / 08 / 13.
大嶋陽一（2021） 鳥取県立博物館だより：鳥取・米子を結んだ伯耆往来. 日本海新聞（鳥取）, 2021 / 03 / 09.

■博物館事業・その他

【展示】

- 2020年 5月27日～ 7月12日 特集展示「戦時中のポスターとグラフィック誌「写真週報」」. 鳥取県立博物館歴史民俗
展示室.
2020年10月27日～12月27日 歴史の窓「川をデザインする 江戸時代の天神川絵図と治水」. 鳥取県立博物館
歴史民俗展示室.
2020年11月18日～12月 8日 移動展示「戦時中のポスターとグラフィック誌「写真週報」」. 鳥取県立倉吉西高等学校.

【普及的事業】

- 2020年 5月2, 3日 古文書解説基礎講座. 鳥取県立博物館会議室、倉吉博物館、山陰歴史館.
2020年 6月30日 鳥取市立中ノ郷公民館講演「鳥取城の歴史と絵図」. 鳥取県立博物館.
2020年 7月4, 5日 古文書解説基礎講座. 鳥取県立博物館会議室、倉吉博物館、山陰歴史館.
2020年 7月12日 歴史講座「漆塗り体験講座」. 鳥取県立博物館会議室.
2020年 9月5, 6日 古文書解説基礎講座. 鳥取県立博物館会議室、倉吉博物館、山陰歴史館.
2020年10月11日 北栄町教育委員会主催「北栄てくてくウォーキング」. 北栄町内.
2020年10月18日 鳥取商工会議所青年部主催「鳥取城の歴史レクチャー」. 鳥取城跡内.
2020年11月1, 7日 古文書解説基礎講座. 鳥取県立博物館会議室、倉吉博物館、山陰歴史館.

2020年11月14日 湯梨浜町防災シンポジウム「天神川の直流化」. 湯梨浜町アロハホール.
2020年11月29日 歴史講座「伯耆往来をあるく 下市～御来屋」. 大山町内.
2020年12月13日 歴史講座「親子で中国茶と煎茶を楽しむ会」. 鳥取県立博物館会議室.
2021年 1月9, 10日 古文書解読基礎講座. 鳥取県立博物館会議室、倉吉博物館、山陰歴史館.
2021年 2月20日 琴浦町古文書講座①. まなびタウン東伯.
2021年 3月6, 7日 古文書解読基礎講座. 鳥取県立博物館会議室、倉吉博物館、山陰歴史館.
2021年 3月13日 琴浦町古文書講座②. まなびタウン東伯.
2021年 3月21日 歴史講座「伯耆往来をあるく 御来屋～大山口」. 大山町内.

【その他】

2020年 史跡鳥取城跡附太閤ヶ平石垣等保存修理・整備検討委員
2020年 鳥取大学非常勤講師（博物館資料論）
2020年 公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館評議員
2020年 倉吉市文化財保護審議委員

小山 浩和 KOYAMA, Hirokazu

専門員兼学芸員

学芸課 人文担当 担当：考古

■印刷物

【報告書・図録等】

小山浩和・降幡順子・古谷 毅（2020）「鳥取県立博物館蔵 宇倍神社経塚出土経筒の科学的調査—X線CT・蛍光X線調査による構造及び材質分析—」京都国立博物館編『学叢』第42号

【普及的著作】

小山浩和（2020）「土下古墳群」文化庁編『発掘された日本列島 新発見考古速報2020』
小山浩和（2020）鳥取県立博物館だより：疫病退散を祈念—一伯耆国分寺の鬼面文鬼瓦— 日本海新聞（鳥取）2020 / 4 / 30
小山浩和（2020）鳥取県立博物館だより：博物館で古墳発掘—宇倍神社古墳の貴重な記録類— 日本海新聞（鳥取）2020 / 9 / 17
小山浩和（2021）鳥取県立博物館だより：鏡の今昔 日本海新聞（鳥取）2021 / 1 / 7

【展示】

2020年 9月 1日（火）～10月25日（日）「宇倍神社古墳—収蔵庫から発掘した因幡の古墳—」

【普及的事業】

2020年 1月24日（日）《歴史講座》「古代の鏡を観察してみよう」鳥取県立博物館会議室

山本 隆一郎 YAMAMOTO, Ryuichiro

学芸員

学芸課 人文担当 担当：歴史（中世史）

■印刷物

山本 隆一郎（2020）「在府期足利直冬政権の機構と支持勢力」（『七隈史学』22号）
山本 隆一郎（2021）「文献史料に見る小鴨氏」（鳥取県教育文化財団『一般国道313号（倉吉関金道路）道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘報告書2 鳥取県倉吉市山ノ下遺跡2・平ノ前遺跡2』所収）

【展示】

歴史の窓「戦国時代の軍事と橋」6 / 24 ～8 / 30

【普及的著作】

山本隆一郎（2020）鳥取県立博物館だより「新指定文化財に見える因幡最大級の山城・私部城（市場城）」日本海新聞（鳥取）2020 / 10 / 22
山本隆一郎（2020）鳥取県立博物館だより「智頭に残された戦国の証文」日本海新聞（鳥取）2020 / 11 / 5
山本隆一郎（2021）鳥取県立博物館だより「戦国時代の転勤族—毛利氏の在番衆について—」日本海新聞（鳥取）2020 / 2 / 4

【普及的事業】

歴史講座（2020）「めざせ！とっとり戦国博士 in 博物館」2020 / 7 / 19
歴史講座（2020）「古戦場・山城・荘園をあるく—私部城で考える因幡の中世—」2020 / 11 / 8
歴史講座（2021）「戦国時代の古文書解読—毛利編—」2021 / 2 / 21

【研究発表】

・「尼子勝久発給文書・奉行人連署状からみた再興戦」（鳥取地域史研究会例会 2020 / 10 / 10）

三浦 努 MIURA, Tsutomu

美術振興課長

担当：近現代美術・工芸

■印刷物

【著書・論文】

三浦 努（2020）日本初のフィンランド・デザイン展をめぐって. pp. 245-248 .In : NHK プロモーション、高橋かおる、三浦努他〔編〕「ザ・フィンランドデザイン ―自然が宿るライフスタイル―」. 株式会社パインインターナショナル, 288 pp.

【短報・目録・その他】

三浦 努（2020）前田昭博の「これまで」と「これから」―その白磁づくりをたどる. pp. 238-245 .In : 陶説 通巻第811号. 日本陶磁協会, 322 pp.

【普及的著作】

- 三浦 努（2020）舎のある風景を楽しむ 石橋優鳥取初個展に寄せて. 日本海新聞（鳥取）, 2020 / 7 / 19 .
- 三浦 努（2020）鳥取・いなば西郷工芸の郷に、二人の若手陶芸家が移住. pp. 118-120 .In : 陶説 通巻第808号. 日本陶磁協会, 190 pp.
- 三浦 努（2020）「絵画」への感謝に満ちる 酒本敬子記念大作展. 日本海新聞（鳥取）, 2020 / 9 / 29 .
- 三浦 努（2020）北欧の「森と湖の国」のデザインに出会う秋。ザ・フィンランドデザイン展. さんいんキラリ 2020 .NO. 48（グリーンフィールズ）
- 三浦 努（2020）企画展「ザ・フィンランドデザイン展」. 鳥取県立博物館ニュース .30 : 2
- 三浦 努（2020）博物館だより：「森と湖の国」のデザインを鳥取で. 日本海新聞（鳥取）, 2020 / 10 / 1 .
- 三浦 努（2020）博物館だより：森から生まれたデザインたち. 日本海新聞（鳥取）, 2020 / 10 / 29 .
- 三浦 努（2021）博物館だより：詩人に心惹かれた彫刻家・辻晉堂. 日本海新聞（鳥取）, 2021 / 3 / 11 .
- 三浦 努（2021）森和之のつくる、小さき磁器. 日本海新聞（鳥取）, 2021 / 3 / 16 .
- 三浦 努（2021）コラム 県内ミュージアムの連携活発化 ～より充実したアート活動に県全域で触れられるように. 鳥取県立博物館ニュース , 31 : 8

■博物館事業・その他

【展示】

2020年10月10日～11月15日 企画展「ザ・フィンランドデザイン展」. 鳥取県立博物館第1・第2特別展示室.

【普及的事業】

- 2020年10月18日 《学芸員派遣・レクチャー・オンライン講座》「ザ・フィンランドデザイン展」の世界～色彩と独創の美に迫る～. NHK 文化センター梅田教室.
- 2020年10月31日 《担当学芸員によるギャラリートーク》「ザ・フィンランドデザイン展」. 鳥取県立博物館第1・第2特別展示室.
- 2020年11月14日 《アートセミナー》「この展覧会を準備するなかで考えたこと」. 鳥取県立博物館講堂.

【その他】

- 2020年度 鳥取大学地域学部非常勤講師（地域調査プロジェクト・工芸関係特別講義）
- 2020年度 第53回鳥根県総合美術展工芸部門県外審査員.

赤井 あずみ AKAI, Azumi

主任学芸員

美術振興課 美術担当 担当：近現代美術・写真

■印刷物

【普及的著作】

- 赤井あずみ（2020）企画展「ミュージアムとの創造的対話03 何が価値を創造するのか」. 鳥取県立博物館ニュース, 30 : 3
- 赤井あずみ（2020）博物館だより：現代アートの鑑賞とは：ミュージアムとの創造的対話03 何が価値を創造するのか . 日本海新聞（鳥取）, 2020 / 11 . 26 .
- 赤井あずみ（2020）博物館だより：展示をめぐる価値創造の現場：ミュージアムとの創造的対話03 何が価値を創造するのか . 日本海新聞（鳥取）, 2020 / 12 . 10 .

赤井あずみ (2020) 博物館だより:コロナ時代のミュージアム:ミュージアムとの創造的対話03 何が価値を創造するのか. 日本海新聞 (鳥取), 2020/12.24.

■博物館事業・その他

【展示】

2020年10月14日～12月 6日 鳥取県ミュージアムネットワーク連携事業 米子市美術館・鳥取県立博物館共同企画「生誕100年記念 杵島隆:不滅のパイオニア精神 (スピリット)」(前期). 鳥取県立博物館美術常設展示室.

2020年11月28日～12月27日 企画展「ミュージアムとの創造的対話03 何が価値を創造するのか?」鳥取県立博物館第1・2・3特別展示室.

2020年12月 9日～2021年 1月31日 鳥取県ミュージアムネットワーク連携事業 米子市美術館・鳥取県立博物館共同企画「生誕100年記念 杵島隆:不滅のパイオニア精神 (スピリット)」(後期). 鳥取県立博物館美術常設展示室.

【普及的事業】

2020年10月31日 鳥取県ミュージアムネットワーク連携事業 米子市美術館・鳥取県立博物館共同企画《生誕100年記念「杵島隆:不滅のパイオニア精神 (スピリット)」》ギャラリートーク. 米子市美術館第2展示室.

2020年11月27日 《企画展「ミュージアムとの創造的対話03 何が価値を創造するのか?」》オープニング・アーティスト・トーク. 講師:渡辺英司、大塚泰子、藤原勇輝、竹川宜彰、岡田有美子. 鳥取県立博物館第1・2・3特別展示室.

2020年12月 5日 《企画展「ミュージアムとの創造的対話03 何が価値を創造するのか?」》ゲスト・トーク「文化芸術と価値創造について」. 講師:池田修. A コレクション・ストレージ.

2020年12月12日 《企画展「ミュージアムとの創造的対話03 何が価値を創造するのか?」》レクチャー「作家亡き後に作品を再設置するということ」. 講師:尾崎信一郎. 鳥取県立博物館講堂.

2020年12月19日 《企画展「ミュージアムとの創造的対話03 何が価値を創造するのか?」》特別講演会「コレクションとアーカイブー松澤宥・村岡三郎・原口典之を例に」. 講師:松本透. 鳥取県立博物館講堂.

2020年12月26日 《企画展「ミュージアムとの創造的対話03 何が価値を創造するのか?」》ギャラリーツアー. 鳥取県立博物館第1・2・3特別展示室、A コレクション・ストレージ、丸十倉庫.

2020年12月27日 《企画展「ミュージアムとの創造的対話03 何が価値を創造するのか?」》スペシャル・イベント「原口典之×木野彩子《Oil, water and Woman》」丸十倉庫.

2021年 1月30日 《生誕100周年記念「杵島隆:不滅のパイオニア精神 (スピリット)」》ギャラリートーク. 鳥取県立博物館. 美術常設展示室.

友岡 真秀 TOMOOKA, Maho

博士 (美術)

学芸員

美術振興課 美術担当 担当:西洋美術・彫刻

■印刷物

【著書・論文】

(2021) 友岡真秀「ネオ・コンクレティスム受容の一側面——鬚光の場合」『生誕110年 岡本太郎——パリから東京へ』(展覧会図録), 「岡本太郎展」実行委員会, pp. 111 - 115.

【報告書・図録等】

(2021) 友岡真秀 [編], 企画展「生誕110年 岡本太郎——パリから東京へ」展覧会図録, 「岡本太郎展」実行委員会.

【短報・目録・その他】

(2020) 友岡真秀「岡ちえこ個展によせて」岡ちえこ個展 (東京九段燿画廊), 2020/10/3-11.

【普及的著作】

友岡真秀 (2020) 博物館だより:移動美術館 若桜展がはじまります 日本海新聞 (鳥取), 2020/9/10.

友岡真秀 (2020) 企画展「生誕110年 岡本太郎——パリから東京へ」. 鳥取県立博物館ニュース, 30:4

友岡真秀 (2021) 博物館だより:対極主義を地で行く岡本太郎展 日本海新聞 (鳥取), 2021/1/27.

友岡真秀 (2021) 「生誕110年 岡本太郎——パリから東京へ」『美連協ニュース』No. 149, 2021年2月号, p. 14.

友岡真秀 (2021) 「生誕110年 岡本太郎——パリから東京へ (上) 岡本太郎《傷ましき腕》」読売新聞 (鳥取), 2021/3/5.

友岡真秀 (2021) 「生誕110年 岡本太郎——パリから東京へ (中) 鬚光《眼のある風景》」読売新聞 (鳥取), 2021/3/7.

友岡真秀 (2021) 「生誕110年 岡本太郎——パリから東京へ (下) カレル・アベル《母と子》」読売新聞 (鳥

取), 2021 / 3 / 9.

■博物館事業・その他

【展示】

- 2020年 5月9日～6月28日 美術コレクション展「美術家大辞典〈近現代編〉な行・は行の美術家」, 鳥取県立博物館第3特別展示室.
- 2020年 9月12日～10月18日 移動美術館 若桜展「異世界へのまなざし」(鳥取県立博物館・若桜町教育委員会主催), 若桜町山村文化保存伝習施設 たくみの館.
- 2021年 2月11日～3月21日 美術企画展「生誕110年 岡本太郎——パリから東京へ」(「岡本太郎展」実行委員会・読売新聞社・美術館連絡協議会主催), 第1・第2特別展示室.
- 2021年 2月20日～3月28日 美術コレクション展「美術家大辞典〈近現代編〉ま行以降の美術家」, 鳥取県立博物館第3特別展示室.

【普及的事業】

- 2020年11月6日 《美術コレクション展「美術家大辞典」関連企画》「おでかけ大辞典—新米学芸員と街ぶら—」, 景福寺・玄忠寺(鳥取市).
- 2021年 2月11日 《企画展「生誕110年 岡本太郎——パリから東京へ」関連事業 特別講演会》「パリ時代の岡本太郎」, 講師: 佐々木秀憲氏(川崎市岡本太郎美術館学芸員), 鳥取県立博物館講堂(講師はリモートにより登壇).
- 2021年 2月13日 《企画展「生誕110年 岡本太郎——パリから東京へ」関連事業 ギャラリートーク・I》, 鳥取県立博物館第1・第2特別展示室.
- 2021年 2月20日 《企画展「生誕110年 岡本太郎——パリから東京へ」関連事業 スペシャルアートシアター・I》「宇宙人東京に現わる」(1956年、監督: 島耕二、82分), 鳥取県立博物館講堂.
- 2021年 2月27日 《企画展「生誕110年 岡本太郎——パリから東京へ」関連事業 岡本太郎関連短編映像上映会》「対極主義」「大衆の発見」「縄文の発見」「岡本太郎の祝祭空間—パブリックアートの世界」, 鳥取県立博物館講堂.
- 2021年 3月6日 《企画展「生誕110年 岡本太郎——パリから東京へ」関連事業 アートセミナー》「岡本太郎と1950年代」, 講師: 尾崎信一郎氏(鳥取県立博物館副館長), 鳥取県立博物館講堂.
- 2021年 3月13日 《企画展「生誕110年 岡本太郎——パリから東京へ」関連事業 ギャラリートーク・II》, 鳥取県立博物館第1・第2特別展示室.
- 2021年 3月20日 《企画展「生誕110年 岡本太郎——パリから東京へ」関連事業 スペシャルアートシアター・II + アフタートーク》「ドキュメンタリー映画 岡本太郎の沖縄(完全版)」(2018年、監督: 葛山喜久、130分), アフタートーク講師: 葛山喜久氏(本作品監督), 鳥取県立博物館講堂.

山本 亮 YAMAMOTO, Tooru

専門員

美術振興課 美術担当 担当: 教育普及

■印刷物

【普及的著作】

- 山本亮(2020) 博物館だより「フィンランド」を、映画で。 日本海新聞(鳥取) 2020/9/3
- 山本亮(2020) 博物館だより 作品と対話するひとときを 日本海新聞(鳥取) 2020/7/16
- 山本亮(2020～2021) 会報まちづくり(岩ままちづくりの会 会報誌) シリーズ「山本兼文・彫刻作品の魅力」⑤～⑧
- ・イシを貫いた人、山本兼文 作家調査を通して 2020/6/11
 - ・イシを貫いた人、山本兼文 触れて、感じて、想像する(秋の彫刻散策のすすめ) 2020/9/10
 - ・イシを貫いた人、山本兼文 兼文と「朱色」—自作に朱を取り入れる 2020/12/10
 - ・イシを貫いた人、山本兼文 愛宕山山頂に想う 2021/3/11

■博物館事業・その他

【普及的事業】

- 2020年 5月28日 [コレクション宅配便] 鳥取短期大学・鳥取看護大学
- 2020年 6月2日 [対話型鑑賞体験講座] 鳥取短期大学・鳥取看護大学
- 2020年 6月27日 [ワークショップ] 「ワークショップづくり隊公開会議」鳥取県立博物館 会議室
- 2020年 7月31日 [コレクション宅配便・教員研修] 「教育センター連携小学校2年日研修」倉吉体育文化会館
- 2020年 8月7日 [ワークショップ] 「紙コップ10000個でアート」鳥取市中ノ郷地区公民館
- 2020年 9月28日 [ワークショップ] 「菓子木型の魅力、ミニ掛軸をつくろう!」鳥取県立博物館
- 2020年10月23日 [ワークショップ] カラフルトンネル 鳥取市立若葉台小学校
- 2020年11月7日 [ワークショップ] 「挑戦! 私もテキスタイルデザイナー」鳥取県立博物館 展示室・会議室
- 2020年11月11日 [対話型鑑賞] 鳥取市立倉田小学校 第6学年(修学旅行) 鳥取県立博物館 会議室

- 2020年12月 1日 [ワークショップ]「ステンシルシートでアート」鳥取市教育センターすなはま
 2020年12月 3日 [ワークショップ]「紙コップ10000個でアート！」琴浦町立浦安小学校
 2020年 9月～11月 [バス招待] 県内小学校10校、13件、662名 鳥取県立博物館 展示室他
 2021年 1月16日 [ワークショップ] アートの種まきプロジェクト - メディアづくり編 デザイン講座
 2021年 2月 3日 [ワークショップ]「グルグル、てんてん、大きな画面に描いてみよう！」琴浦町立浦安小学校
 2021年 2月27日 [ワークショップ]「紙コップ10000個でアート！」ほくほくプラザ別館
 2021年 3月20日 [ワークショップ]「Art Academy -2021-」県立美術館建設予定地

【その他】

- 2020年10月16日 美術館ができるまでを伝えるためのフリーペーパー『Pass me!03』の発行
 2021年 3月26日 美術館ができるまでを伝えるためのフリーペーパー『Pass me!04』の発行

佐藤 真菜 SATO, Mana

専門員

美術振興課 調査担当 担当：教育普及

■印刷物

【普及的著作】

- 佐藤真菜 (2020) 教育美術 No.935「対話型鑑賞で活用するデジタル鑑賞教育コンテンツ『モチーフ操作アプリケーション』の可能性」2020/5
 佐藤真菜 (2020) 博物館だより：見つけよう！森からの贈りもの 日本海新聞（鳥取）2020/7/16
 佐藤真菜 (2020) 博物館だより：この夏だけの不思議な空間 日本海新聞（鳥取）2020/8/6
 佐藤真菜 (2021) 博物館だより：教育普及事業が果たす役割 日本海新聞（鳥取）2021/1/21
 佐藤真菜 (2021) 《美術》コラム みて、感じて、脳を動かして鑑賞。鳥取県立博物館ニュース, 31:5

■博物館事業・その他

【展示】

- 2020年 7月18日（土）～ 8月30日（日） シリーズ：美術をめぐる場をつくるⅡ夏休み企画「高田光治 森からの贈りもの」鳥取県立博物館 第3特別展示室

【普及的事業】

- 2020年 5月28日 [コレクション宅配便] 鳥取短期大学・鳥取看護大学
 2020年 6月 2日 [対話型鑑賞体験講座] 鳥取短期大学・鳥取看護大学
 2020年 6月16日 [講座]「子どもの造形指導法Ⅰ」鳥取短期大学・鳥取看護大学
 2020年 6月27日 [ワークショップ]「ワークショップつくり隊公開会議」鳥取県立博物館 会議室
 2020年 7月 3日 [教員研修]「小学校図画工作」鳥取県立博物館 第3特別展示室
 2020年 7月18日 [スペシャルワークショップ]「みつけよう！森からの贈りもの」鳥取県立博物館 第3特別展示室
 2020年 7月31日 [コレクション宅配便・教員研修]「教育センター連携小学校2年目研修」倉吉体育文化会館
 2020年 8月 7日 [ワークショップ]「紙コップ10000個でアート」鳥取市中ノ郷地区公民館
 2020年 9月20日 [対話型鑑賞体験]「青翔開智高校生 対話型鑑賞について」鳥取県立博物館 常設展示室
 2020年 9月28日 [ワークショップ]「菓子木型の魅力、ミニ掛軸をつくろう！」鳥取県立博物館
 2020年10月14日 [コレクション宅配便] 大山町立大山中学校
 2020年10月23日 [ワークショップ]「カラフルトンネル」鳥取市立若葉台小学校
 2020年10月27日 [ワークショップ]「菓子木型の魅力、ミニ掛軸をつくろう！」米子市福祉保健総合センター ふれあいの里、ほくほくプラザ
 2020年11月 7日 [ワークショップ]「挑戦！私もテキスタイルデザイナー」鳥取県立博物館 展示室・会議室
 2020年11月11日 [対話型鑑賞] 鳥取市立倉田小学校 第6学年（修学旅行）鳥取県立博物館 会議室
 2020年12月 1日 [ワークショップ]「ステンシルシートでアート」鳥取市教育センターすなはま
 2020年12月 2日 [コレクション宅配便] 境港市立第二中学校
 2020年12月 3日 [ワークショップ]「紙コップ10000個でアート！」琴浦町立浦安小学校
 2020年12月 7日 [アーティストとつくろう！]「手びねりでお茶碗をつくろう」鳥取市立青谷小学校
 2020年12月10日 [アーティストとつくろう！]「手びねりでお茶碗をつくろう」琴浦町立浦安小学校
 2020年12月15日 [コレクション宅配便] 鳥取短期大学・鳥取看護大学
 2020年 9月～11月 [バス招待事業] 県内小学校10校、13件、662名 鳥取県立博物館 展示室他
 2021年 2月 3日 [ワークショップ]「グルグル、てんてん、大きな画面に描いてみよう！」琴浦町立浦安小学校
 2021年 2月27日 [ワークショップ]「紙コップ10000個でアート！」ほくほくプラザ別館
 2021年 3月20日 [ワークショップ]「Art Academy-2021-」県立美術館建設予定地

【その他】

- 2020年 6月24日 [絵手紙] 審査 鳥取県庁
2020年 7月28日 [八頭郡小学校教育研究会 音楽・図工部会夏季研修] 講師 鳥取県立博物館 会議室
2020年10月15日 [鳥取県未来科学の夢絵画展] 審査 鳥取県産業振興機構
2020年10月16日 [鳥取県緑化運動・育樹運動ポスター原画] 審査 鳥取県庁
2020年10月29日 [八頭郡児童図画作品研修会] 審査・講評 八頭町立船岡小学校
2020年11月10日 [鳥取県ジュニア県展] 審査 倉吉スポーツセンター

外村 文 TONOMURA, Aya

専門員

美術振興課 調査担当 担当：教育普及

■印刷物

【普及的著書】

外村 文 (2020) 《美術》コラム 県立美術館の開館に向けて～美術ラーニングセンター的機能の充実をめざして～. 鳥取県立博物館ニュース, 30:5

■博物館事業・その他

【普及的事業】

- 2020年 6月 2日 [対話型鑑賞体験講座] 鳥取短期大学・鳥取看護大学
2020年 6月27日 [ワークショップ]「ワークショップづくり隊公開会議」鳥取県立博物館 会議室
2020年 7月 3日 [教員研修]「小学校図画工作」鳥取県立博物館 第3特別展示室
2020年 7月18日 [スペシャルワークショップ]「みつけよう！森からの贈りもの」鳥取県立博物館 第3特別展示室
2020年 7月31日 [コレクション宅配便・教員研修]「教育センター連携小学校2年目研修」倉吉体育文化会館
2020年 8月 7日 [ワークショップ]「紙コップ10000個でアート！」鳥取市中ノ郷地区公民館
2020年 9月28日 [ワークショップ]「菓子木型の魅力、ミニ掛軸をつくろう！」鳥取県立博物館
2020年10月14日 [コレクション宅配便] 大山町立大山中学校
2020年10月23日 [ワークショップ]「紙コップ10000個でアート！」鳥取市立若葉台小学校
2020年10月27日 [ワークショップ]「菓子木型の魅力、ミニ掛軸をつくろう！」米子市福祉保健総合センター ふれあいの里、ほくほくプラザ
2020年11月 7日 [ワークショップ]「挑戦！私もテキスタイルデザイナー」鳥取県立博物館 展示室・会議室
2020年11月11日 [対話型鑑賞] 鳥取市立倉田小学校 第6学年（修学旅行）鳥取県立博物館 会議室
2020年12月 2日 [コレクション宅配便] 境港市立第二中学校
2020年12月 3日 [ワークショップ]「紙コップ10000個でアート！」琴浦町立浦安小学校
2020年12月 7日 [アーティストとつくろう！]「手びねりでお茶碗をつくろう」鳥取市立青谷小学校
2020年12月15日 [コレクション宅配便] 鳥取短期大学・鳥取看護大学
2020年 9月～11月 [バス招待事業] 県内小学校10校、13件、662名 鳥取県立博物館 展示室他
2021年 1月14日 [学芸員派遣]「日本の伝統的な絵画様式に触れる～ミニ掛軸づくりに挑戦！」中央高等学園、中央高等学園専修学校
2021年 2月 3日 [ワークショップ]「グルグル、てんてん、大きな画面に描いてみよう！」琴浦町立浦安小学校
2021年 2月27日 [ワークショップ]「紙コップ10000個でアート！」ほくほくプラザ別館
2021年 3月20日 [ワークショップ]「Art Academy- 2021 -」倉吉市営ラグビー場（県立美術館建設予定地）

【その他】

- 2021年 1月27日 [校内授業研究会] 指導助言 湯梨浜町立湯梨浜中学校
2021年 2月26日 [西部地区中学校美術教育研究会研修会] 講師 岸本公民館

山田 修平 YAMADA, Shuhei

学芸員

美術振興課 調査担当 担当：近世絵画・近代日本画

■印刷物

【普及的著作】

- 山田修平 (2020) 博物館だより：困難に立ち向かった郷土の作家たち. 日本海新聞（鳥取）2020/4/16
山田修平 (2020) 博物館だより：様式化された水景 - 《因幡伯耆名勝図》. 日本海新聞（鳥取）2020/8/20
山田修平 (2020) 《美術》コラム コレクション展示 美術家大辞典〈近世以前編〉が終了します. 鳥取県立博物館ニュース, 30:5
山田修平 (2021) 博物館だより「春を待つ - 中島菜刀《芭蕉庵詩仙堂》 -」. 日本海新聞（鳥取）, 2021/1/14

山田修平（2021） 新資料紹介 島田元旦《花鳥図押絵貼屏風》. 鳥取県立博物館ニュース, 31:5

■博物館事業・その他

【展示】

2020年 4月29日～ 6月21日 美術コレクション展「美術家大辞典〈近世以前編〉は行の美術家（上巻）」. 鳥取県立博物館 美術常設展示室.

2020年 6月24日～ 8月23日 美術コレクション展「美術家大辞典〈近世以前編〉は行の美術家（下巻）」. 鳥取県立博物館 美術常設展示室.

2020年 8月26日～10月11日 美術コレクション展「美術家大辞典〈近世以前編〉ま行以降の美術家」. 鳥取県立博物館 美術常設展示室.

2021年 2月 3日～ 3月28日 「新収蔵品展」. 鳥取県立博物館 美術常設展示室.

【普及的事業】

2020年11月 6日 美術コレクション展「美術家大辞典」関連企画「おでかけ大辞典—新米学芸員と街ぶら—」
景福寺・玄忠寺（鳥取市）

◎ 附 録

1 沿 革

- 昭和22年4月1日 鳥取県立公民館規程の制定により鳥取県立鳥取図書館内に鳥取県立公民館が併置され、図書部、科学部、集会部がおかれる。
科学部は「科学研究館」として運営。
- 昭和24年7月1日 鳥取県立公民館規程が廃止され、鳥取県立科学館設置条例に基づき「鳥取県立科学館」が設置される。
- 昭和24年7月23日 仁風閣に移転。物理、電気、化学、地学、生物の5部門からなる指導研究室を設置。
- 昭和27年7月1日 昭和27年7月博物館法の施行により、同法に基づく博物館相当施設として文部大臣の指定を受ける。
- 昭和29年7月1日 登録博物館となる。
- 昭和29年7月1日 鳥取県立科学博物館規程の制定により「鳥取県立科学博物館」と改称。
- 昭和30年5月 考古指導研究室設置。
- 昭和30年7月 教育研究所等の転出により仁風閣を全館使用。
- 昭和31年7月1日 鳥取県立科学博物館に庶務係及び指導調査係を設置。
- 昭和38年3月31日 理工学部門（物理、電気、化学）の廃止。
- 昭和38年4月1日 民俗部門の設置により生物、地学、考古、民俗の4部門となる。
- 昭和39年9月6日 文化センター建設調査費を計上し、施設構想を検討。
- 昭和43年9月10日 文化センター敷地について、鳥取市公設運動場と二の丸公園を充てることで知事と鳥取市長が合意。
- 昭和44年4月2日 文化施設の建設促進のため、県に鳥取県立文化施設促進協議会を設置。
- 昭和44年5月30日 株式会社日建設計に建設構想図の作成を依頼。
- 昭和45年9月15日 鳥取県立博物館の実施設計完了。
- 昭和45年10月20日 建設工事着工（建設費総額 11億2,904万6千円）。
- 昭和46年4月1日 鳥取県立科学博物館に美術係を設置。
- 昭和47年4月1日 鳥取県立科学博物館を「鳥取県立博物館」と改称、組織も、管理課（庶務係、設備係）、学芸課（学芸係、美術係、史料係）と二課制に拡充。
- 昭和47年4月1日 西本真一 県立鳥取東高等学校長が 館長に就任。
- 昭和47年5月31日 建設工事竣工。
- 昭和47年10月1日 鳥取県立博物館竣工式、開館式挙行。
- 昭和48年 仁風閣を鳥取市に委譲。
- 昭和50年4月1日 木代彰 県教育長が館長に就任。
- 昭和51年12月14日 西尾優 県教育長が館長事務取扱。
- 昭和52年4月1日 前田壽男 県教育次長が館長に就任。
- 昭和56年4月1日 山根幸恵 県立鳥取西工業高等学校長が館長に就任。
- 昭和58年4月1日 河田晃 県立鳥取西工業高等学校長が館長に就任。
- 昭和58年4月1日 学芸課の係を再編成し、自然係、美術係、人文係とする。
- 昭和58年4月1日 考古・民俗展示室を歴史・民俗展示室に改編。
- 昭和60年4月1日 松本兵衛 県立鳥取図書館長が館長に就任。
- 昭和60年6月11日 近代美術展示室を開設。
- 昭和60年11月3日 皇太子殿下・同妃殿下が、第21回全国身体障害者スポーツ大会行啓の際当館を御視察。
- 昭和61年6月8日 中国河北省友好訪日団（河北省長ほか5名）来館視察。
- 昭和62年4月1日 長石肇 県教育次長が館長に就任。
- 平成4年4月1日 國岡靖夫 県立倉吉東高等学校長が館長に就任。

平成5年11月15日	文化課に県立美術館基本構想検討委員会を設置。
平成6年6月8日	鳥取県立博物館改修計画策定委員会を設置。
平成8年3月28日	鳥取県立博物館の改修について教育長へ提言。
平成9年4月1日	西垣幸信 県立鳥取盲学校長が館長に就任。
平成10年6月16日	中国河北省博物館友好交流団(李吉樹館長ほか4名)が来館。 鳥取県立博物館において、河北省博物館と「友好交流館締結協定書」に調印。
平成10年8月7日～11日	第22回全国高等学校総合文化祭(美術・工芸部門)開催。
平成11年2月8日	熱源機器改修工事完成(平成10年6月着工)。
平成12年9月12日	中国河北省博物館友好交流団(李宏傑副館長ほか5名)が来館。
平成13年4月1日	渡瀬由章 県立鳥取農業高等学校長が館長に就任。
平成13年10月4日	バリアフリー工事着工。
平成14年4月1日	機構改革により美術振興課設置。(文化課・美術館整備調査室及び学芸課美術係の組織再編)
平成14年4月10日	バリアフリー工事完成。 ①玄関アプローチ手すり及び屋内階段の両方に手すり設置 ②喫茶室出入口及び屋内段差をスロープに改修 ③休憩室内手洗い改修(車イス対応) ④身障者用便所を多目的便所に改修(折りたたみシート、オストメイト設置) ⑤視覚障害者誘導用床材設置(玄関アプローチ→正面玄関入口→ホール) ⑥玄関先及び駐車場入口の側溝改修 ⑦エレベーター(身障者対応)及び段差解消リフト設置(2台) ⑧車イス用駐車場整備(駐車場の区画整備) ⑨既設スロープ出隅部面取り ⑩園路出入口段差解消(スロープに改修)及び園路(砂利道)を透水性真砂土に改修
平成14年4月25日	音声誘導設置及びパトランプ設置完成。
平成14年10月13日～27日	第17回国民文化祭・とっとり2002「美術展(日本画・洋画)」開催。
平成14年11月2日	開館30周年記念事業実施。
平成15年3月16日	高円宮妃殿下が故高円宮さま「素顔の一瞬」(仁風閣)鳥取展の際御来館、御視察。
平成15年4月1日	谷口博繁 国民文化祭推進局長が館長に就任。
平成16年4月1日	管理課を総務課に改称。
平成17年4月1日	本庁化となる。併せて、学芸課、美術振興課の係を廃し、担当制となる。
平成18年4月1日	三田清人 文化観光局長が館長に就任。
平成18年4月1日	山陰海岸学習館及び遠山正瑛資料室が新たに附置される。
平成19年7月	久松山、建物及びお堀をイメージしたロゴ・マークを作成。
平成21年4月1日	森谷邦彦 県立県民文化会館館長が館長に就任。
平成21年4月1日	開館時間延長を始める。
平成21年10月	山陰海岸学習館リニューアル整備の着工。
平成22年4月1日	運転監視及び設備保全業務の外部委託開始に伴い、設備係を2名削減する。
平成22年4月24日	山陰海岸学習館リニューアルオープン。
平成22年9月12日	ロシアアルセイニエフ名称沿海地方博物館と「友好交流及び協力に関する協定」を締結。
平成22年12月10日	韓国江原道国立春川博物館と「友好交流及び協力に関する協定」を締結。
平成23年7月	博物館カフェリニューアルオープン。
平成23年12月1日	韓国江原道国立春川博物館と「職員相互派遣に関する合意書」を締結。
平成24年3月	山陰海岸学習館屋外トイレ棟増築。 山陰海岸学習館ハートフル駐車場の屋根及び玄関までの通路上屋設置。
平成24年4月1日	山内有明 県立鳥取工業高等学校長が館長に就任。

平成25年1月14日	山陰海岸学習館で3D映像「大地と海の世界」上映開始。
平成25年2月2日	開館40周年記念事業実施。
平成25年10月9日	秋篠宮同妃両殿下が平成25年度全国都市緑化祭の際山陰海岸学習館御来館、御視察。
平成26年1月	山陰海岸学習館屋外倉庫新築。
平成26年3月4日	山陰海岸学習館で3D映像「神秘と生命(いのち)の世界」上映開始。
平成26年3月17日	「山陰海岸学習館の在り方について」の報告書を教育長に提言。
平成26年4月1日	大場尚志 東京本部長が館長に就任。
平成26年6月	山陰海岸学習館EV充電器設置。
平成26年6月27日	鳥取県立博物館現状・課題検討委員会を設置。
平成26年11月1日～2日	秋篠宮妃殿下、佳子内親王殿下が第14回全国障がい者芸術・文化祭とつとり大会の際御来館
平成27年12月	山陰海岸学習館屋上防水他工事完成。
平成27年1月	県立博物館第3展示室改修工事完成。
平成27年2月	県立博物館1階休憩コーナー造作改修工事、1階喫茶室ガラス取替え工事完成。
平成27年3月	鳥取県立博物館劣化診断・改修計画策定業務完了。
平成27年3月26日	「山陰海岸学習館の機能充実に向けた対策基本計画」策定
平成27年4月7日	「鳥取県立博物館現状・課題検討結果報告書」を教育長に提言。
平成27年6月26日	博物館等地方独立行政法人制度研究会を設置。
平成27年7月1日	総務課に「美術館整備推進担当」を設置。
平成27年7月17日	鳥取県美術館整備基本構想検討委員会を設置。
平成28年2月2日	山陰海岸学習館でダイオウイカ標本の展示公開。
平成28年2月17日	鳥取県立美術館整備基本構想における建設候補地について、鳥取県立美術館候補地評価等専門委員による現地調査及び条件適合性の評価を開始。
平成28年3月29日	「山陰海岸学習館の展示更新等の計画」策定。
平成28年4月1日	山陰海岸学習館を生活環境部に移管。山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館として、新生岩美町立渚交流館と一体的な運営を開始。
平成28年10月	美術館整備に関する県民意識調査を実施。
平成28年12月	外壁等改修工事完成。
平成29年1月	美術館の建設場所に関する県民意識調査を実施。
平成29年3月3日	県教育委員会において鳥取県立美術館整備基本構想を決定。
平成29年3月	県議会において、建設場所(倉吉市営ラグビー場)を含む基本構想を基にした基本計画策定及びPFI手法導入可能性調査等の実施経費予算が議決。
平成29年4月1日	田中規靖 県教育委員会次長が館長に就任。
平成29年4月1日	総務課美術館整備推進担当を総務課から切り離し、「美術館整備準備室」を設置。
平成29年8月	鳥取県美術館整備基本計画策定アドバイザー委員会を設置。
平成30年3月	鳥取県立美術館整備基本計画(中間まとめ)を策定。
平成30年7月	県教育委員会において鳥取県立美術館整備基本計画を策定。
平成30年11月20日	鳥取県教育委員会公募型プロポーザル方式受注者選定等審査会(美術館整備運営事業)を設置。
平成31年3月19日	鳥取県立美術館(仮称)整備運営事業実施方針の策定、公表。
令和元年7月4日	鳥取県立美術館の設置等に関する条例の制定。
令和元年7月17日	鳥取県立美術館整備運営事業の特定事業の選定、公表。
令和2年3月	鳥取県立美術館整備運営事業者との事業契約の締結及び指定管理者の指定。
令和2年3月31日	美術館整備準備室を廃止。
令和2年4月1日	(倉吉未来中心内に美術館整備局美術館整備課を新設)

2 施設の概要

(1) 鳥取県立博物館

〈規模〉

構造 鉄筋コンクリート造 地下1階、地上2階、一部3階

面積 敷地面積 14,228㎡

建築面積 3,576㎡

延床面積 9,699㎡

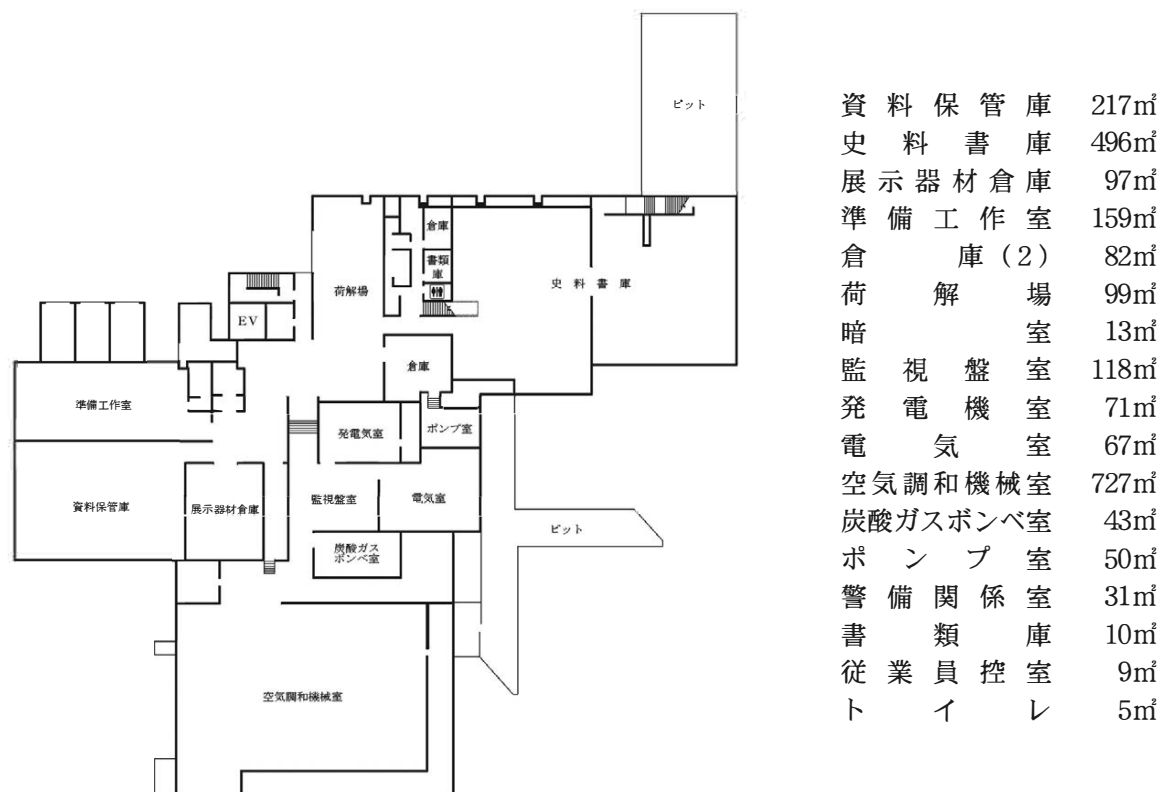
地階 2,668㎡ 1階 3,623㎡ 2階 2,606㎡ 3階 706㎡

屋上階 58㎡ 屋外倉庫(別棟) 38㎡

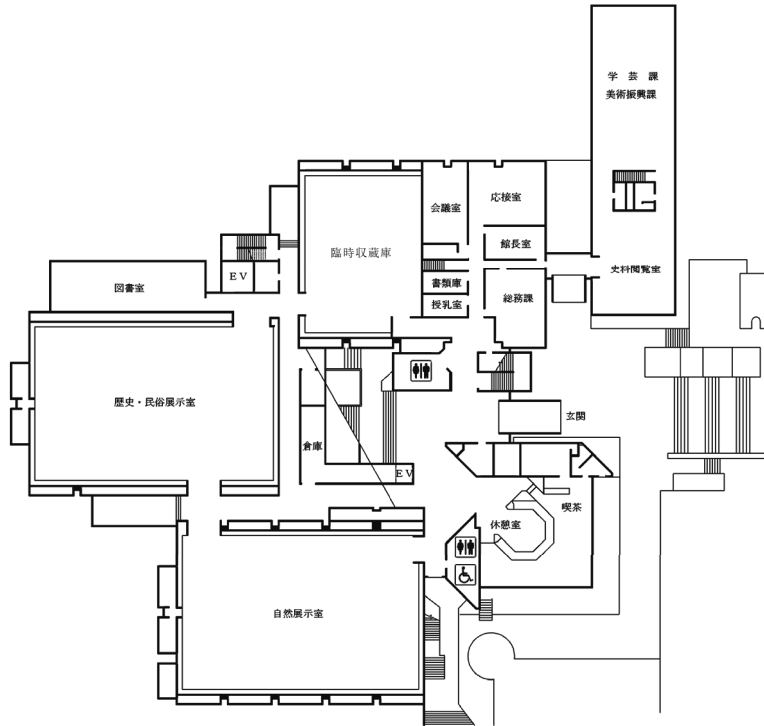
〈主要設備〉

- ① 空気調和設備(温湿度調整)
- ② 収蔵庫、常設・特別展示室、炭酸ガス消火設備 50kgポンベ 112本
- ③ 予備発電設備 6,600V・250KVA
- ④ エレベーター設備 人荷用:定員 59名、積載荷重 3,900kg、1基
乗用:定員 11名、積載荷重 750kg、1基

地階平面図

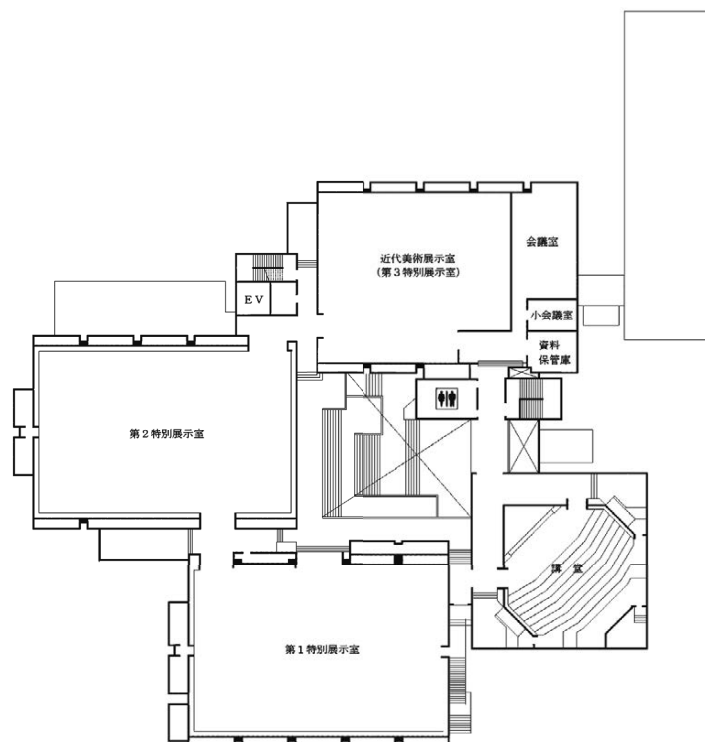


1階平面図



自然展示室	515㎡
歴史・民俗展示室	515㎡
臨時収蔵庫	260㎡
喫茶・休憩室	182㎡
休憩室(2)	66㎡
応接室	60㎡
館長室	26㎡
総務課	68㎡
学芸・美術振興課	170㎡
史料閲覧室	111㎡
図書室	108㎡
会議室	50㎡
書類庫	10㎡
授乳室	14㎡
倉庫(階段下)	110㎡
展示室倉庫(2)	40㎡
トイレ(2)	49㎡

2階平面図



第1特別展示室	515㎡
第2特別展示室	515㎡
近代美術展示室 (第3特別展示室)	374㎡
講堂・映写室	206㎡
会議室・小会議室	107㎡
資料保管庫	22㎡
展示室倉庫(2)	40㎡
休憩室(2)	66㎡
トイレ	30㎡

3階平面図

収 蔵 庫 258㎡
資 料 保 管 庫 172㎡
予 備 資 料 室 60㎡



3 昭和47年度～令和2年度利用統計

年度	区分	常設展			特展		別展			普及活動		研究相談	小計	許可利用		合計
		小・中学生	高校生	一般	計	展覧会名	開館日数	小・中学生	高校生	一般	計			館内	館外	
昭和47年度 (148日)	個人	16,804	4,231	44,662	65,697	開館記念	22									
	団体	23,831	4,714	6,947	35,492	郷土美術名作展 (10.1～10.22)	22	(28,563)	(6,437)	(28,213)	1,686	83	32,954	1,431	34,385	137,748
	計	40,635	8,945	51,609	101,189					(63,213)						
昭和48年度 (306日)	個人	10,083	2,109	23,891	36,083	第4回 日展 (4.7～4.29)	23	9,072	6,148	15,126	30,346					
	団体	14,289	214	5,137	19,640	日本伝統工芸秀作展 (5.8～5.21)	14	964	309	3,953	5,226					
	計	24,372	2,323	29,028	55,723	郷土の美術展 } 世界の蝶展 } (9.30～10.21)	22	5,792	1,464	4,751	12,007	608	58,311	4,009	62,320	169,181
昭和49年度 (307日)	個人	8,858	1,539	21,225	31,622	前田寛治とその仲間展 (4.28～5.19)	22	2,804	1,631	3,666	8,101					
	団体	12,967	582	5,283	18,832	人類の進化と旧石器展 (7.28～8.26)	30	4,341	831	5,018	10,190					
	計	21,825	2,121	26,508	50,454	日本近世の美術工芸展 (10.13～11.4)	23	3,360	1,732	5,747	10,839	621	56,738	3,603	60,341	144,650
昭和50年度 (310日)	個人	8,594	1,430	22,815	32,839	郷土名刀展 (5.11～6.1)	22	745	255	3,092	4,092					
	団体	11,246	1,287	5,362	17,895	鳥取の明治風俗展 (8.2～8.31)	30	2,783	407	4,951	8,141					
	計	19,840	2,717	28,177	50,734	鉄斎展 (10.18～11.9)	23	2,902	1,171	5,774	9,847	755	23,212	2,904	26,116	103,643
昭和51年度 (311日)	個人	7,097	1,088	18,097	26,282	世界の貝展 (4.16～5.30)	45	11,047	1,932	10,369	23,348					
	団体	10,102	274	7,157	17,533	松方コレクション展 (10.9～11.7)	30	15,804	10,202	26,290	52,296	618	83,822	4,803	88,625	212,031
	計	17,199	1,362	25,254	43,815			26,851	12,134	36,659	75,644					

年度	区分	常設展			特展			別展				普及活動			研究相談		許可利用		合計
		小・中学生	高校生	一般	計	開館日数	展覧会名	小・中学生	高校生	一般	計	館内	館外	展示室	講堂	小計	展示室	講堂	
昭和52年度 (314日)	個人	6,633	1,072	21,001	28,706	21	第8回日展 (4.29～5.19) 文化庁買上	6,219	2,557	13,035	21,811	人	人	人	人	人	人	人	人
	団体	9,983	1,443	5,606	17,032	22	優秀美術作品展 (8.6～8.26)	1,338	339	3,454	5,131	973	984	7,594	5,425	101,701	13,019	114,720	
	計	16,616	2,515	26,607	45,738	30	失われた生物展 (10.8～11.6)	16,233	1,604	7,746	25,583	4,500	52,525	1,481	82,664	6,600	44,214	126,878	
昭和53年度 (312日)	個人	6,885	1,062	22,959	30,906	23	近代日本画名作展 (4.29～5.21)	4,064	1,519	6,585	12,168	人	人	人	人	人	人	人	人
	団体	11,454	1,974	6,629	20,057	29	世界の現代陶芸展 (7.20～8.17)	782	360	2,091	3,233	2,008	1,150	1,425	82,664	6,600	44,214	126,878	
	計	18,339	3,036	29,588	50,963	30	縄文の文化展 (10.7～11.5)	6,793	1,085	3,839	11,717	2,964	27,118	1,482	94,044	7,918	73,321	167,365	
昭和54年度 (312日)	個人	6,676	924	25,049	32,649	23	山陰の仏教美術展 (4.28～5.20)	2,741	671	5,636	9,048	人	人	人	人	人	人	人	人
	団体	10,412	1,331	7,607	19,350	23	科学者レオナルド・ダ・ヴィンチ展 (8.4～8.26)	4,459	656	5,380	10,495	775	4,624	1,4143	65,403	47,918	73,321	167,365	
	計	17,088	2,255	32,656	51,999	15	日本海100万年展 (10.6～11.4)	1,130	455	2,171	3,756	17,074	37,442	1,482	94,044	7,918	73,321	167,365	
昭和55年度 (309日)	個人	7,768	919	22,776	31,463	30	日本の人形文化展 (4.26～5.25)	2,504	442	3,980	6,926	人	人	人	人	人	人	人	人
	団体	10,135	2,927	4,970	18,032	23	第11回日展 (6.14～7.6)	2,390	742	9,170	12,302	850	456	1,412	77,969	4,729	37,086	115,055	
	計	17,903	3,846	27,746	49,495	22	関西洋画の名作展 (10.18～11.9)	2,970	495	3,063	6,528	1,679	25,756	1,412	77,969	4,729	37,086	115,055	
昭和56年度 (309日)	個人	10,674	959	26,525	38,158	23	近世の衣裳美術展 (4.25～5.17)	960	537	3,566	5,063	人	人	人	人	人	人	人	人
	団体	13,210	1,885	5,831	20,926	16	鳥取県1000年展 (9.12～9.27・10.4～10.11・10.21～10.28)	(7,393) 20,346	(352) 552	(7,696) 12,049	(15,441) 32,947	800	1,012	1,591	110,019	4,000	34,606	144,625	
	計	23,884	2,844	32,356	59,084	21	日本の美術展 (10.25～11.15)	4,315	961	4,246	9,522	2,050	47,532	1,591	110,019	4,000	34,606	144,625	

年度	区分	常設展			特展			別展			普及活動			研究相談	小計	許可利用			合計
		小・中学生	高校生	一般	計	展覧会名	開催日数	小・中学生	高校生	一般	計	館内	館外			人	展示室	講堂	
昭和57年度 (297日)	個人	7,142	625	20,152	27,919	生きてゐる化石展 (4.28～5.23)	26	10,117	583	7,731	18,431	人	人	人	人	人	人	人	
	団体	7,078	1,058	4,180	12,316	藩政時代の写生画と文人画展 (8.7～8.29)	23	655	70	3,542	4,267	879	551	73,884	5,850	32,610	106,494		
	計	14,220	1,683	24,332	40,235	内外美術名作展 (10.1～10.17)	17	14,177	1,147	15,543	30,867								
						計													
昭和58年度 (298日)	個人	4,641	450	15,817	20,908	世界の児童画展 (4.29～5.29)	27	7,120	130	3,106	10,356								
	団体	7,914	1,332	3,783	13,029	地球のふしぎ展 (7.16～8.21)	32	3,966	218	3,921	8,105	559	3,656	63,316	5,980	26,166	89,482		
	計	12,555	1,782	19,600	33,937	辻晋堂展 (9.23～10.23)	27	14,015	763	9,450	24,228								
						計													
昭和59年度 (306日)	個人	5,134	578	17,227	22,939	はにわ展 (4.28～5.27)	27	7,519	292	3,266	11,077								
	団体	5,878	646	3,953	10,477	京の染展 (7.7～7.29)	20	231	278	1,592	2,101	848	2,785	59,884	6,435	18,071	77,955		
	計	11,012	1,224	21,180	33,416	近代日本美術の巨匠展 (10.6～11.4)	26	3,997	284	4,319	8,600								
						計													
昭和60年度 (301日)	個人	4,957	642	21,486	27,085	神々の美術展 (4.27～5.26)	27	1,412	197	3,206	4,815								
	団体	5,594	853	4,344	10,791	昆虫の世界展 (7.26～8.25)	27	6,238	146	6,083	12,467	935	2,820	60,030	5,240	34,013	94,043		
	計	10,551	1,495	25,830	37,876	計		7,650	343	9,289	17,282								
						計													
昭和61年度 (303日)	個人	5,550	621	22,631	28,802	山陰の大名展 (4.26～5.25)	27	4,035	465	7,386	11,886								
	団体	6,166	939	5,332	12,437	日本近代洋画の歩み展 (10.7～11.3)	26	2,961	756	4,724	8,441	1,449	4,501	68,727	6,020	41,399	110,126		
	計	11,716	1,560	27,963	41,239	計		6,996	1,221	12,110	20,327								
						計													

年度	区分	常設展			特展		別展			普及活動			研究相談	小計	許可利用		合計
		小・中学生	高校生	一般	計	開館日数	展覧会名	小・中学生	高校生	一般	計	館内			館外	展示室	
昭和62年度 (305日)	個人	4,960	562	23,181	28,703	27	狩野派の名宝展 (4.25～5.24)	1,568	611	6,695	8,874	人	人	人	人	人	114,205 (5,720)
	団体	7,335	954	9,091	17,380	26	恐竜と鳥獣の歴史展 (8.1～8.30)	8,306	258	9,813	18,377	1,766	1,064 (761)	21,757 (4,959)	8,936	30,693 (4,959)	
	計	12,295	1,516	32,272	46,083	18	開港への序曲展 (9.6～9.23)	2,393	142	3,612	6,147						
昭和63年度 (301日)	個人	7,976	750	30,344	39,070	26	近代版画のあけぼの展 (4.23～5.22)	1,579	42	2,166	3,787						115,547 (8,023)
	団体	5,583	841	8,091	14,515	28	くらしを支える匠の世界展 (10.7～11.6)	3,126	120	3,140	6,386	1,347	6,228 (6,071)	33,827 (1,952)	9,178	43,005 (1,952)	
	計	13,559	1,591	38,435	53,585		計	4,705	162	5,306	10,173						
平成元年度 (306日)	個人	5,303	702	27,696	33,701	28	山陰の海展 (7.28～8.27)	2,954	155	4,757	7,866						122,326 (16,498)
	団体	8,720	807	9,123	18,650	27	現代美術の創造者たち展 (10.10～11.9)	2,142	87	2,728	4,957	1,263	14,942 (14,834)	28,743 (1,664)	11,010	39,753 (1,664)	
	計	14,023	1,509	36,819	52,351		計	5,096	242	7,485	12,823						
平成2年度 (304日)	個人	5,011	700	25,818	31,529	21	濱田台児展 (4.28～5.20)	615	77	3,626	4,318						122,169 (10,365)
	団体	6,002	677	6,722	13,401	28	車弥呼の時代をさぐる展 (7.27～8.26)	2,886	244	5,743	8,873	1,592	7,462 (7,265)	36,522 (3,100)	9,224	45,746 (3,100)	
	計	11,013	1,377	32,540	44,930	27	石橋美術館名品展 (10.5～11.4)	2,445	129	5,547	8,121						
平成3年度 (305日)	個人	4,534	702	27,667	32,903	28	マンモスと人類の時代展 (7.26～8.25)	7,495	356	10,470	18,321						134,800 (5,888)
	団体	6,790	1,106	7,139	15,035	28	谷文晁とその周辺の画家たち展 (10.5～11.4)	1,306	13	3,278	4,597	1,354	6,161 (5,888)	45,397	9,744	55,141	
	計	11,324	1,808	34,806	47,938		計	8,801	369	13,748	22,918						

年度	区分	常設展			特展			別展			普及活動			研究相談	小計	許可利用			合計
		小・中学生	高校生	一般	計	展覧会名	開催日数	小・中学生	高校生	一般	計	館内	館外			展示室	講義室	計	
平成4年度 (298日)	個人	4,832	627	27,314	人	まつり・獅子と龍 (7.24～8.23)	28	1,096	90	2,847	4,033	人	人	人	人	人	人	人	人
	団体	5,757	992	6,020	人	近代の日本画 (10.9～11.8)	28	1,096	35	3,882	5,013	1,238	3,698 (3,550)	45,683	8,910	54,593	60,684 (3,550)	115,277 (3,550)	
	計	10,589	1,619	33,334	人	計		2,192	125	6,729	9,046								
平成5年度 (303日)	個人	4,836	679	26,943	人	大海獣 (7.30～8.29)	28	3,858	233	6,625	10,716								
	団体	6,276	628	5,710	人	工芸美術の華 (10.9～11.8)	28	665	12	2,257	2,934	1,101	5,616 (5,415)	43,970	6,905	50,875	66,463 (5,415)	117,338 (5,415)	
	計	11,112	1,307	32,653	人	計		4,523	245	8,882	13,650								
平成6年度 (307日)	個人	3,343	477	20,296	人	水木しげると日本の妖怪 (4.23～5.22)	28	3,816	241	8,558	12,615								
	団体	7,193	224	4,701	人	明治維新と鳥取 (10.7～11.6)	28	2,418	43	3,913	6,374	829	2,305 (2,180)	31,633	4,767	36,400	59,219 (2,180)	95,619 (2,180)	
	計	10,536	701	24,997	人	計		6,234	284	12,471	18,989								
平成7年度 (305日)	個人	3,010	480	20,626	人	生命40億年のあゆみ (7.28～8.27)	28	4,669	204	6,929	11,802								
	団体	3,607	364	4,582	人	生涯100年記念・里見勝蔵 (10.6～11.5)	28	74	40	1,546	1,660	931	1,626 (1,466)	28,764	4,425	33,189	50,068 (1,466)	83,257 (1,466)	
	計	6,617	844	25,208	人	計		4,743	244	8,475	13,462								
平成8年度 (311日)	個人	3,646	431	20,677	人	大國主と大黒天 (4.26～5.26)	28	3,05	31	3,210	3,546								
	団体	4,532	792	2,541	人	中西国の画家たち展 (6.8～6.30)	20	54	94	1,967	2,115	1,393 (1,115)	7,774 (7,607)	25,915	3,694	29,609	56,720 (1,115) (7,607)	86,329 (1,115) (7,607)	
	計	8,178	1,223	23,218	人	前田寛治 (9.29～11.4)	32	342	34	3,692	4,068								
						計	1,060	222	12,912	14,194									

年度	区分	常設展			県展	特展			展覧				普及活動			研究相談	小計	許可利用		合計
		小・中学生	高校生	一般		開館日数	展覧会名	小・中学生	高校生	一般	計	館内	館外	展示室	講堂・会議室					
平成9年度 (318日)	個人					救おう！日本の野生生物 (7.24～8.24)	1,686	97	3,052	4,835										
	団体	2,889	430	19,934	(第41回)	柴石・応挙と土方稲嶺展 (9.28～10.26)	47	27	4,176	4,250	1,541 [205]	9,109 (8,767)	48,595	3,423	52,018	61,364 [205] (8,767)				113,382 [205] (8,767)
	計	3,495	219	2,273	5,441	開館25周年記念 栄光の近世ヨーロッパ絵画展 (11.9～12.7)	26	115	5,547	6,111										
平成10年度 (305日)	個人					天狗と山伏 (10.3～11.3)	733	233	3,260	4,226										
	団体	4,824	499	19,948	(第42回)	戦後日本画の歩み (11.14～12.13)	164	148	3,171	3,483	1,385 [149]	4,918 (4,717)	36,098	3,445	39,543	54,257 [149] (4,717)				93,800 [149] (4,717)
	計	3,663	1,416	2,962	5,912	計	897	381	6,431	7,709										
平成11年度 (308日)	個人					かむ・さす・かぶれる (7.23～8.22)	4,673	132	8,324	13,129										
	団体	2,829	301	17,234	(第43回)	民芸運動と岡村吉右衛門 (10.1～10.31)	25	12	2,157	2,194	1,337 [278]	15,007 (14,762)	42,667	4,110	46,777	65,188 [278] (14,762)				111,965 [278] (14,762)
	計	3,370	703	2,827	5,119	計	4,698	144	10,481	15,323										
平成12年度 (312日)	個人					むきばんだ (7.25～8.23)	1,351	140	4,690	6,181										
	団体	2,971	313	15,778	(第44回)	現代中国の美術 (11.3～12.3)	71	140	2,889	3,100	2,878 [198]	13,039 (12,838)	29,526	3,471	32,997	57,945 [198] (12,838)				90,942 [198] (12,838)
	計	3,136	958	3,540	5,149	計	1,422	280	7,579	9,281										
平成13年度 (312日)	個人					トリピー森の大冒険 (7.25～8.22)	1,642	51	3,342	5,035										
	団体	4,322	704	27,622	(第45回)	現代美術への招待 (10.2～11.2)	382	101	3,101	3,584	2,073 [180]	11,773 (11,566)	49,917	3,321	53,238	67,631 [180] (11,566)				120,869 [180] (11,566)
	計	2,976	651	3,411	4,859	計	2,024	152	6,443	8,619										
		7,298	1,355	31,033					39,686											

年度	区分	常設展				県展	特別展				普及活動			研究相談		許可利用		合計		
		幼児	小・中学生	高校生	学生		一般	計	幼児	小・中学生	高校生	学生	一般	計	館内	館外	小計		展示室	講堂・会議室
平成19年度 (280日)	個人	2079	3832	568	590	14,308	21,377		35	403	108	64	1,138	1,748						
	団体	435	1,780	101	40	1,183	3,539	(第51回) 3,847	2,101	4,074	375	311	5,900	12,761						
	計	2,514	5,612	669	630	15,491	24,916		2,101	4,074	375	311	5,900	12,761						
									107	1,080	1,217	278	5,170	7,852	2,093 (376)	38,759 (19,590)	577	24,920	1,272	26,192
平成20年度 (334日)	個人	3,251	6,115	1,119	965	18,024	29,474		90	173	197	160	3,583	4,203						
	団体	86	2,188	413	16	740	3,443	(第52回) 3,686	4,073	7,730	382	340	9,991	22,516						
	計	3,337	8,303	1,532	981	18,764	32,917		34	757	92	100	3,820	4,803						
									60	271	935	289	2,143	3,698	2,322 (614)	7,598 (971)	404	29,924	1,701	31,625
平成21年度 (332日)	個人	1,370	3,031	566	918	16,855	22,740		4,264	8,949	1,612	906	20,200	35,931						
	団体	246	2,105	532	163	652	3,698		88	554	459	193	5,064	6,358						
	計	1,616	5,136	1,098	1,081	17,507	26,438		922	3,472	723	259	3,695	9,071						
									30	509	84	75	2,888	3,586	2,551 (761)	8,702 (2,184)	416	38,331	1,800	40,131
								1,240	5,327	1,825	1,017	17,910	27,319							

区分 年度	常設展				特別展				普及活動				許可利用		合計						
	幼児 人	小中学生 人	高校生 人	学生 人	一般 人	計 人	幼児 人	小中学生 人	高校生 人	学生 人	一般 人	計 人	館内 人	館外 人		研究 相談 人	小計 人	展示室 人	講堂 会議室 人	計 人	
平成22年度 (336日)	個人	1,990	4,276	622	789	16,551	24,228	楊谷と元旦	36	60	132	156	3,346	3,730						人	
	団体	191	1,476	114	36	844	2,661	シラカソ	1,235	3,529	532	414	5,382	11,092						人	
	計	2,181	5,752	736	825	17,395	26,889	と生きる	49	447	30	102	2,053	2,681	3,452	295	57,990	47,808	1,648	49,456	
								彫刻家辻晉堂展 (10.9~11.14)	42	468	211	129	1,668	1,943	432		295	57,990			107,446
平成23年度 (338日)	個人	3,039	5,639	586	779	19,305	29,348	岡柳蔵	51	709	61	147	2,998	3,966						人	
	団体	327	2,706	182	111	1,854	5,180	O E A N !	2,489	4,985	611	498	7,899	16,482						人	
	計	3,366	8,345	768	890	21,159	34,528	大久保英治	69	463	16	59	1,144	1,751	10,191	236	75,637	22,169	2,200	24,369	
								鳥取鉄道物語 (2.11~3.20)	751	883	102	172	4,830	6,738	414		236	75,637			100,006
平成24年度 (334日)	個人	2,541	4,975	856	1,371	24,819	34,562	柳宗悦展 (4.7~5.20)	165	674	81	218	6,970	8,108						人	
	団体	343	2,946	467	67	1,472	5,295	大きのこ展 (7.14~9.2)	2,222	5,028	703	1,126	11,011	20,090						人	
	計	2,884	7,921	1,323	1,438	26,291	39,857	須田国太郎展 (10.20~11.25)	26	419	206	94	2,171	2,916	2,807	182	82,687	22,806	1,609	24,415	
								発掘された日本列島 (1.12~2.24)	153	379	52	85	2,699	3,368	462		182	82,687			107,102
平成25年度 (354日)	個人	2,138	3,532	547	700	19,018	25,935	サルとヒト展 (7.13~8.25)	916	2,226	262	322	4,032	7,758						人	
	団体	479	1,899	276	40	2,304	4,998	フェインバーグ展 (10.5~11.10)	88	472	256	160	8,065	9,041						人	
	計	2,617	5,431	823	740	21,322	30,933	鳥取藩二十二年新 と明治維新 (11.23~12.23)	60	262	37	74	2,677	3,110	2,794	350	63,756	33,354	1,302	34,656	
								Variations—絵画の光景 (1.11~2.14)	47	228	27	59	1,289	1,650	207		350	63,756			98,412
							菅橋彦彦展 (2.22~4.6)	48	199	99	133	3,244	3,723								人
							菅計	1,159	3,387	681	748	19,307	25,282								人

区分 年度	常設展					特 別 展					普及活動			許可利用		合計	
	幼児		中学生		高校生		小中学生		高校生		幼児		研究相談		小計		
	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	展示室		講堂 会議室
平成26年度 (331日)	個人	2,344	3,988	592	1,239	19,169	27,332	60	325	295	217	3,147	4,044	人	人	人	人
	団体	176	2,524	523	28	1,327	4,578	169	230	95	59	2,353	2,906	人	人	人	人
	計	2,520	6,512	1,115	1,267	20,496	31,910	14	258	135	47	1,233	1,687	人	人	人	人
平成27年度 (336日)	個人	5,486	8,541	889	1,095	32,320	48,331	92	432	584	157	5,439	6,704	人	人	人	人
	団体	156	1,799	564	57	1,288	3,864	6,198	8,978	525	550	14,253	30,504	人	人	人	人
	計	5,642	10,340	1,453	1,152	33,608	52,195	29	412	52	135	3,556	4,184	人	人	人	人
平成28年度 (331日)	個人	2,208	4,431	504	714	19,406	27,263	54	168	67	265	2,932	3,486	人	人	人	人
	団体	173	1,987	281	218	1,660	4,319	1,602	4,259	172	-	7,327	13,360	人	人	人	人
	計	2,381	6,418	785	932	21,066	31,582	87	747	407	192	2,889	4,322	人	人	人	人
平成29年度 (330日)	個人	3,044	4,294	751	932	20,628	29,649	78	208	59	173	5,519	6,037	人	人	人	人
	団体	236	1,778	294	38	1,769	4,115	2,276	3,493	233	392	6,124	12,518	人	人	人	人
	計	3,280	6,072	1,045	970	22,397	33,764	63	598	29	-	3,315	4,005	人	人	人	人

4 昭和47年度～平成18年度催物展（企画展）開催状況

年度	展覧会名	期 間	会 場	摘 要
S47	鳥取県の民俗年中行事写真展	S48. 3. 3～S48. 3.25	第2展示室	
48	博物館美術資料館蔵品展	S48. 7.31～S48. 8.19	第3展示室	
49	日 本 の 野 鳥 展	S49. 5.21～S49. 6. 9	〃	
	大 工 道 具 展	S50. 3.15～S50. 3.30	〃	
50	日 本 の 野 鳥 展	S50. 4.26～S50. 5. 9	〃	
	美 術 収 蔵 品 展	S50. 6.17～S50. 7.13	〃	
	空から見た郷土写真展	S50. 9.13～S50. 9.24	第2展示室	
	島 田 元 旦 展	S51. 2.24～S51. 3.21	第3展示室	
	因 伯 の 古 絵 図 展	S51. 3.27～S51. 4.11	〃	
51	郷土に伝わる仏画展	S51. 6.22～S51. 7.11	〃	
	博物館資料鉱物展	S51. 7.27～S51. 8.18	〃	
	発掘展因伯の古代を掘る	S51. 8.24～S51. 9.12	〃	
	失われた漁具展	S51.11.14～S51.11.28	〃	
	公募科学写真展	S52. 3.13～S52. 3.27	第2展示室	
52	日本列島の野鳥展	S52. 5.28～S52. 6.19	第3展示室	
	冬の民具展	S52.11.12～S52.11.27	〃	
53	山陰海岸の生物展	S53. 5.27～S53. 6.18	〃	
	美術資料館蔵品展	S53. 6.22～S53. 7. 9	第1展示室 第3展示室	
	秋のキノコ展	S53.11.11～S53.12. 3	第3展示室	
	民俗行事写真展	S54. 3.10～S54. 3.25	〃	
54	発掘資料展 一秋里遺跡を掘る一	S54. 6. 1～S54. 6.15	〃	
	古文書展と古地図展	S54. 6.23～S54. 7. 8	〃	
	石谷美術コレクション展	S55. 1. 8～S55. 1.27	第1展示室 第2展示室 第3展示室	
	空からみた郷土写真展	S55. 3. 1～S55. 3.16	第2展示室	
	アインシュタイン 生誕100年記念写真展	S55. 3. 1～S55. 3.16	第3展示室	京都ドイツ文化センター共 催、鳥取大学協賛
55	古文書展～因・伯の木綿～	S55. 7.13～S55. 7.20	〃	
	自然資料展	S55. 8. 2～S55. 8.31	〃	
	旧鳥取駅資料展	S56. 3. 7～S56. 3.22	〃	
56	シカゴ・ランドフォールプレス版画展 ～現代アメリカの版画～	S56. 6.16～S56. 6.28	〃	
57	自然資料展	S57. 7.17～S57. 7.31	〃	
	館蔵美術資料展	S57.11. 3～S57.11.23	第1展示室	
	鳥 取 城	S58. 3.20～S58. 4. 3	第3展示室	
58	前 田 寛 治 ～油彩と素描～	S58. 4. 9～S58. 6.26	〃	
	堀 家 資 料 ～儒家堀家をめぐる人々～	S58.11. 1～S58.11.20	〃	
59	生 駒 標 本 展	S59. 8. 7～S59. 8.30	〃	
	空から見た郷土写真展	S60. 3. 1～S60. 3.17	第2展示室	
60	近世のやきものとぬりもの展	S60. 6.18～S60. 6.30	第1展示室	
	中 島 菜 刀 展	S60. 9. 3～S60. 9.16	第1展示室 第3展示室	

年度	展覧会名	期 間	会 場	摘要
61	自 然 資 料 展	S61. 8. 1 ~ S61. 8.28	第2展示室	
62	因 伯 の 古 地 図 展	S62. 3.28 ~ S62. 4.19	第1展示室	
	考 古 資 料 展 ～発掘された古代の情報～	S62.10.21 ~ S62.11.15	第3展示室	
	尾 崎 悌 之 助 遺 作 展	S62.10.31 ~ S62.11.11	第1展示室 第2展示室	
63	自 然 標 本 展 ～夏休みに学ぶ自然のいろいろ～	S63. 7.27 ~ S63. 8.21	第2展示室	
	君 野 コ レ ク シ ョ ン 展	S63. 8. 7 ~ S63. 8.21	第1展示室 第3展示室	
	第31回日本伝統工芸中国支部展	S63. 9.18 ~ S63. 9.25	第3展示室	日本工芸会中国支部ほか 共催
	絵 馬 と 信 仰 ～鳥取県の絵馬～	S63.11.15 ~ S63.12. 4	〃	
H1	橋 本 興 家 版 画 展	H 1. 3.11 ~ H 1. 4.16	第1展示室 第3展示室	
	オ ラ ン ダ 現 代 美 術 展	H 1. 4.23 ~ H 1. 5. 7	第2展示室	オランダ・トットリ現代 美術交流展実行委員会ほ か共催
	因・伯と但馬の襖絵	H 1. 7. 8 ~ H 1. 7.30	第3展示室	
	空から見た郷土のすがた展	H 1.11.16 ~ H 1.12.13	第2展示室	
2	第33回日本伝統工芸中国支部展	H 2. 9.22 ~ H 2. 9.30	第3展示室	日本工芸会中国支部ほか 共催
	川と池の自然のくらし	H 2.11.23 ~ H 2.12.16	第2展示室	
3	山 地 の 自 然 の く ら し	H 3.12. 4 ~ H 4. 1.19	〃	
4	身 近 な 鳥・珍 しい 鳥	H 4. 5. 2 ~ H 4. 5.17	第1展示室	
	池 田 光 伸 展	H 4. 7. 1 ~ H 4. 7.12	第3展示室	
	第35回日本伝統工芸中国支部展	H 4. 7. 2 ~ H 4. 7. 8	第1展示室	日本工芸会中国支部ほか 共催
	海 岸 地 域 の 自 然 と く ら し	H 4.11.19 ~ H 4.12.13	第3展示室	
	安 富 コ レ ク シ ョ ン 展 I ～江戸時代の絵画～	H 5. 2.13 ~ H 5. 3. 7	〃	
5	夭折の画家・前田寛治と 異色の彫刻家・辻晋堂	H 5. 4.25 ~ H 5. 5.30	第1展示室 第2展示室	
	画 家 伊 谷 賢 蔵 と 尾 崎 悌 之 助	H 5.12.16 ~ H 6. 1.23	第1展示室	
	安 富 コ レ ク シ ョ ン 展 II ～考古資料・工芸資料の美～	H 6. 2.15 ~ H 6. 3.13	〃	
6	空から見た郷土のすがた	H 6. 6.14 ~ H 6. 7. 3	第2展示室	
	鳥 た ち の 世 界	H 6. 7.22 ~ H 6. 8.21	第1展示室	
	山 本 兼 文 遺 作 展 ～描き・彫り・刻み続けた半世紀～	H 6. 8. 2 ~ H 6. 8.15	第2展示室 第3展示室	
	安 富 コ レ ク シ ョ ン 展 III ～書と人物～	H 7. 2.14 ~ H 7. 3.12	第1展示室	
7	～信仰の造形～郷土に伝わる仏画展～	H 7. 4.22 ~ H 7. 5.21	第3展示室	
	因 伯 の 古 地 図	H 7. 4.28 ~ H 7. 5.21	第1展示室	
	戦 後 5 0 年・戦 争 と 美 術	H 7. 7.20 ~ H 7. 8.20	第3展示室	
	安 富 コ レ ク シ ョ ン 総 合 展	H 8. 2.10 ~ H 8. 3.10	第1展示室	
8	山 陰 海 岸 と カ ニ ～カニと一緒に記念写真～	H 8. 7.19 ~ H 8. 8.25	第3展示室	

年度	展覧会名	期 間	会 場	摘 要
9	鳥取東照宮の宝物	H 9. 3.27～H 9. 4.20	第1展示室	
	絵図と郷土でみる鳥取城	H10. 2.13～H10. 3.15	〃	
10	岡村吉右衛門コレクション展 — アジアの染織 —	H10. 4.18～H10. 5.17	〃	
	ロストワールド 太古の生きもの	H10. 7. 2～H10. 8. 1	〃	
11	空から見た郷土のすがた	H11. 4.16～H11. 5.16	第2展示室	
	鳥取県民の明治・大正・昭和	H11.11.12～H11.12.23	第1展示室	
	河北省の文物と人々の暮らし	H12. 3.10～H12. 4.16	〃	
12	河北省の文物と人々の暮らし	H12. 3.10～H12. 4.16	〃	
	ふしぎ大陸 南極展	H12. 4.21～H12. 5.21	第2展示室	
	城下町鳥取の絵図	H12. 9. 9～H12.10.26	第3展示室	
13	絵はがきで綴る鳥取	H13. 4.27～H13. 5.27	第2展示室	入場者数 15,089 名
	ピカソ銅版画展	H13.11.16～H13.12. 9	〃	
14	すばる望遠鏡 — 宇宙を探る新しい眼 —	H14. 4.20～H14. 5.19	第3展示室	入場者数 4,270 名
	数学と遊ぼう — 形の数のワンダーランド —	H14.12.12～H15. 1.19	第2展示室	入場者数 4,754 名
	高知県立美術館ベストセレクション シャガール版画展～愛の賛歌～	H15. 3.15～H15. 4.13	第1展示室 第2展示室	入場者数 5,409 名
15	因伯の古代寺院	H15. 4.26～H15. 5.25	第1展示室	入場者数 4,532 名
	現代の表現 鳥取 vol.1 4Rooms — 4つの同時代的感性 —	H15.12.17～H16. 1.11	第2展示室	入場者数 1,173 名
	富山県立近代美術館 所蔵ルオー版画展	H16. 2.28～H16. 3.28	第1展示室 第2展示室	入場者数 3,018 名
16	発見しよう！自然のふしぎ	H16. 7.17～H16. 8.25	第1展示室	入場者数 5,794 名
	空から見た郷土のすがた	H16. 7.17～H16. 8.25	第2展示室	〃
	現代の表現 鳥取 vol.2 平久弥・池本喜巳	H16.11.21～H16.12.19	〃	入場者数 3,967 名
	郷土作家展 版画の誌 長谷川富三郎	H16.12.23～H17. 1.23	〃	入場者数 2,513 名
	共同企画展 三重奏 鳥取県立博物館・倉吉博物館・ 米子市美術館のコレクションで つくる展覧会	H17. 2. 5～H17. 2.27	第1展示室	入場者数 1,364 名
	丸沼芸術の森所蔵 アンドリュウ・ワイエス水彩素描展	H17. 3.12～H17. 4.17	第1展示室 第2展示室	入場者数 8,216 名
17	鳥取の山岳信仰	H17.10. 7～H17.11. 6	第1展示室	入場者数 5,432 名
	現代の表現 鳥取 vol.3 嶋田悦子・福井貞子	H17.10. 8～H17.11. 6	第2展示室	入場者数 5,379 名
	郷土作家展 異景 — 八橋誠滋／渡里彰造の世界 —	H18. 2. 7～H18. 2.26	第1展示室	入場者数 915 名
18	遠い海	H18. 7.15～H18. 8.27	〃	入場者数 20,378 名
	郷土作家展 海と空と 角護・石谷孝二	H19. 3. 3～H19. 3.18	第2展示室	入場者数 1,072 名

※1 平成15年度から「企画展」に名称変更

※2 平成19年度から従前の「企画展」を廃止

5 条例・規則

○鳥取県立博物館の設置及び管理に関する条例（昭和47年7月7日鳥取県条例第29号）

（目的）

第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項及び博物館法（昭和26年法律第285号）第18条の規定に基づき、鳥取県立博物館の設置及びその管理に関する事項について定めることを目的とする。

（設置）

第2条 県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、鳥取県立博物館（以下「博物館」という。）を鳥取市に設置する。

（開館時間）

第3条 博物館の開館時間は、午前9時から午後5時まで（教育委員会があらかじめ指定する日においては、午前9時から午後7時まで）とする。

2 教育委員会は、前項の規定により指定した日を掲示その他適当な方法により公表しなければならない。

3 教育委員会は、特に必要があると認めるときは、臨時に第1項の開館時間を変更することができる。

4 教育委員会は、前項の規定により開館時間を変更するときは、あらかじめその旨を掲示しなければならない。

（休館日）

第4条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

（1）月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）である場合は、その翌日（その日が休日でない場合に限る。））

（2）休日の翌日（その日が日曜日、土曜日又は休日でない場合に限る。）

（3）12月29日から翌年の1月3日までの日

2 教育委員会は、特に必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に休館し、又は休館日に開館することができる。

3 教育委員会は、前項の規定により臨時に休館し、又は休館日に開館するときは、あらかじめその旨を掲示しなければならない。

（利用の許可）

第5条 博物館を利用しようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、その利用（展示室、講堂又は会議室に係るものに限る。）が次の各号のいずれかに該当する場合は、前項の許可をしないことができる。

（1）公の秩序を乱し、又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。

（2）博物館の施設又は博物館資料を毀損し、若しくは汚損し、又はそのおそれがあると認められるとき。

（3）暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団の利益になると認められるとき。

（行為の制限等）

第6条 博物館においては、次の行為をしてはならない。

（1）博物館の施設又は博物館資料を毀損し、若しくは汚損し、又はそのおそれのある行為をすること。

（2）許可を受けないで博物館資料を模写し、又は撮影すること。

（3）所定の場所以外の場所において喫煙し、又は飲食をすること。

- (4) 許可を受けないで物品を販売すること。
 - (5) 他人に迷惑を及ぼし、又はそのおそれのある行為をすること。
 - (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が定める行為
- 2 教育委員会は、前項の規定に違反し、又はそのおそれのある者に対しては、博物館への入館を拒み、又は博物館からの退去を命ずることができる。

(措置命令)

第7条 教育委員会は、博物館の適正な管理を図るため必要があると認めるときは、博物館の利用の許可を受けた者（以下「利用者」という。）その他の博物館を使用する者に対し、必要な措置を命ずることができる。

(許可の取消し)

第8条 教育委員会は、利用者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、第5条第1項又は第6条第1項第2号若しくは第4号の許可を取り消すことができる。

- (1) この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則又はこれらの規定に基づく処分に違反したとき。
- (2) 前条の命令に従わないとき。
- (3) 許可の条件に違反したとき。
- (4) 詐欺その他不正の行為により許可を受けたとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、博物館の管理上支障がある行為をし、又はそのおそれのあるとき。

(使用料の徴収)

第9条 博物館の利用については、別表に定めるところにより、使用料を徴収する。

(使用料の減免)

第10条 知事は、特別の理由があるときは、規則で定めるところにより、使用料を減免することができる。

(教育委員会規則への委任)

第11条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理に関する事項は、教育委員会規則で定める。

(以下附則省略)

別表(第9条関係)

1 通常展示の入館料

区 分	金 額
個人（一般人に限る。）	1人1回につき 180円
団体（一般人の団体であって20人以上のものに限る。）	1人1回につき 150円

2 特別展示（博物館が主催して行う特別の企画による展示をいう。）の入館料

展示に要する経費を勘案して教育委員会が別に定める額

3 展示室等使用料

区 分	金 額
第1展示室	1日につき 13,300円 半日につき 6,650円
第2展示室	1日につき 13,300円 半日につき 6,650円
第3展示室	1日につき 10,380円 半日につき 5,190円
講 堂	1日につき 5,320円 半日につき 2,660円
会 議 室	1時間につき 270円

備考

- 1 この表中「1日」とは午前9時から午後5時までをいい、「半日」とは午前9時から午後1時まで又は午後1時から午後5時までをいう。
- 2 午後5時を超えて展示室又は講堂を利用するときは、この表に定める使用料の額に、1時間につき次の表の左欄に掲げる区分に応じてそれぞれ同表の右欄に掲げる額の使用料を加算する。この場合において、利用時間が1時間未満であるとき、又は利用時間に1時間未満の端数があるときは、1時間として計算するものとする。

区 分	金 額
第1展示室	1時間につき 1,660円
第2展示室	1時間につき 1,660円
第3展示室	1時間につき 1,300円
講 堂	1時間につき 660円

- 3 暖房又は冷房をしたときは、この表に定める使用料（備考2により加算した使用料を含む。）の額に当該額の2割に相当する額を加算する。

○鳥取県立博物館協議会に関する条例（昭和33年4月1日鳥取県条例第16号）

（設置）

第1条 博物館法（昭和26年法律第285号）第22条の規定に基き、鳥取県立博物館に鳥取県立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

（定数）

第2条 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。

（任命の基準）

第3条 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命する。

（任期）

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（雑則）

第5条 この条例に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、協議会が定める。

（以下附則省略）

○鳥取県立博物館の管理運営に関する規則（昭和47年9月29日鳥取県教育委員会規則第7号）

（趣旨）

第1条 この規則は、鳥取県立博物館の設置及び管理に関する条例（昭和47年鳥取県条例第29号。以下「条例」という。）第2条の規定により設置された鳥取県立博物館（以下「博物館」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（内部組織及び分掌事務）

第2条 博物館に、総務課、美術館整備準備室、学芸課及び美術振興課を置く。

2 各課の分掌事務は、次のとおりとする。

総務課

- （1）博物館の施設の管理に関すること。
- （2）博物館協議会に関すること。

- (3) 庶務に関すること。
- (4) その他他課の所掌に属しないこと。

美術館整備準備室

- 県立美術館の整備に関すること。

学芸課

- (1) 博物館資料（美術関係の資料を除く。次号及び第3号において同じ。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 博物館資料の利用の指導、助言及び普及に関すること。
- (3) 博物館資料の調査研究に関すること。
- (4) その他博物館の事業に関すること（美術振興課の所掌に属するものを除く。）。

美術振興課

- (1) 県立美術館の整備に係る調査に関すること。
- (2) 美術関係の資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (3) 美術関係の資料の利用の指導、助言及び普及に関すること。
- (4) 美術関係の資料の調査研究に関すること。
- (5) その他美術関係の博物館の事業に関すること。

(職制)

第3条 博物館に館長を、課に課長を、室に室長を置く。

- 2 館長又は課長の職務を補佐し、これらの者に事故があるときにその職務を代行させるため必要があると認めるときは、博物館に副館長を、課に課長補佐を置くことができる。

(職員の種類)

第4条 博物館の職員（臨時的任用職員及び非常勤職員を除く。以下同じ。）の種類は、事務職員及び技術職員とする。

(職員の職)

第5条 博物館の職員の職は、別表のとおりとする。

(職員の分担事務)

第6条 職員の分担事務は、館長が定め、教育長に報告しなければならない。

(利用の申込み等)

第7条 博物館の展示室、講堂及び会議室（以下「展示室等」という。）を利用しようとする者は、様式第1号による利用申込書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 博物館に入館して博物館資料を観覧しようとする者の利用の申込みについては、教育委員会が別に定めるところによる。
- 3 教育委員会は、博物館の利用の許可をしたときは、展示室等を利用する者に対しては様式第2号により通知し、博物館に入館して博物館資料を観覧する者（一般人に限る。）に対しては様式第3号による入館券を交付するものとする。

(許可申請)

第8条 条例第6条第1項第2号の許可を受けようとする者は、様式第4号による許可申請書を教育委員会に提出しなければならない。

- 2 条例第6条第1項第4号の許可を受けようとする者は、様式第5号による許可申請書を教育委員会に提出しなければならない。

(使用料の減免)

第9条 博物館の使用料の減免を受けようとする者は、様式第6号による減免申請書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が別に定める場合は、この限りでない。

(委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理運営に関し必要な事項は、教育委員会の承認を得て、館長が別に定める。

(以下附則及び様式省略)

別表 (第5条関係)

- 1 事務職員又は技術職員をもって充てる職
館長・副館長・課長・室長・課長補佐・係長
- 2 事務職員をもって充てる職
主事
- 3 技術職員をもって充てる職
主幹学芸員・主任学芸員・学芸員・学芸員補・専門員・機械技師・電気技師・自動車整備士・運転士

○県立学校の授業料等及び社会教育施設の使用料の減免に関する規則 (抄)

(昭和52年3月30日鳥取県規則第15号)

(目的)

第1条 この規則は、鳥取県立学校(以下「県立学校」という。)の授業料(通信制の課程にあっては、受講料。以下同じ。)、入学金及び入学選抜手数料(以下「授業料等」という。)並びに鳥取県立博物館及び鳥取県立青少年社会教育施設(以下「社会教育施設」という。)の使用料の減免に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(授業料等及び使用料の減免)

第2条 県立学校の授業料等及び社会教育施設の使用料の減免は、次の表の中欄に掲げる授業料等又は使用料について行うものとし、当該授業料等又は使用料の減免を行うことができる場合は、それぞれ同表の右欄に定める事由に該当する場合とする。

区 分	授業料等又は使用料	減 免 事 由
鳥取県立博物館	通常展示の入館料及び特別展示の入館料	1 幼児、児童、生徒又は学生(以下「学生等」という。)の引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧するとき。 2 身体障害者手帳の交付を受けた者、療育手帳の交付を受けた者、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者、障害福祉サービス受給者証の交付を受けた者その他知事が定める基準に該当する心身に障がい有する者(以下「障がい者」という。)及びその介護者が観覧するとき。 3 難病の患者に対する医療等に関する法律(平成26年法律第50号)第7条第4項の規定による医療受給者証の交付を受けた者(以下「難病患者」という。)及びその介護者が観覧するとき。 4 70歳以上の者が観覧するとき。 5 介護保険法(平成9年法律第123号)の規定による要介護認定又は要支援認定を受けた者(以下「要介護者等」という。)及びその介護者が観覧するとき。 6 その他教育、学術及び文化の振興を図るため知事が特に必要があると認めるとき。
	通常展示の入館料	特別展示その他入場料又はこれに類するものを徴収する展示を観覧する者が当該利用の日に通常展示を観覧するとき。

鳥取県立博物館	展示室等使用料 (冷房若しくは暖房をしたとき、又は照明をしたときに加算すべき部分を除く。)	<ol style="list-style-type: none"> 1 芸術文化団体が芸術又は文化の振興のために行う公演、展示、講演、講習等のための催し(実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないものに限る。)のために利用するとき。 2 社会教育団体が社会教育活動として行う講習会、講演会、展示会その他の集会等(実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないものに限る。)のために利用するとき。 3 障がい者の社会参加を促進すると認められるとき。 4 難病患者の社会参加を促進すると認められるとき。 5 70歳以上の者の社会参加を促進すると認められるとき。 6 要介護者等の社会参加を促進すると認められるとき。 7 その他教育、学術及び文化の振興を図るため知事が特に必要があると認めたととき。
	展示室等使用料	<p>学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校、同法第124条に規定する専修学校、同法第55条第1項の規定により指定された技能教育のための施設若しくは児童福祉法(昭和22年法律第164号)第7条第1項に規定する保育所若しくは幼保連携型認定こども園又は教育に関する活動を行う団体であって知事が別に定める基準に該当するもの(以下「学校等」という。)が、学生等が行う公演、学生等の作品の展示等の文化芸術に関する行事(学年(これに相当するものとして知事が別に定めるものを含む。)単位以上の規模で行うこと、実費を超える額の入場料又はこれに類するものを徴収しないことその他の知事が別に定める要件に該当するものに限る。)のために利用するとき。</p>

(減免の申請手続等)

第3条 県立学校の授業料等及び社会教育施設の使用料の減免の申請手続その他必要な事項は、別に定める。

(以下附則省略)

鳥取県立博物館年報

令和2年度 No. 49

令和4年1月 発行

鳥取県立博物館

〒680-0011 鳥取市東町二丁目124

TEL (0857) 26-8042

FAX (0857) 26-8041

印刷 有限会社 螢光社
